
姫路市

高齢者実態意向調査
在宅介護実態調査
介護人材実態調査

調査結果報告書

—概要版—

令和 8 年 3 月

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の対象	1
3.	調査の方法	1
4.	調査期間	1
5.	調査票の回収状況	1
6.	留意点	2
II	高齢者実態意向調査 調査結果	3
問1	あなたのご家族や生活状況について	7
問2	からだを動かすことについて	10
問3	食べることについて	19
問4	「聞こえ」（聴覚機能）について	22
問5	毎日の生活について	25
問6	あなたの考え方について	32
問7	地域での活動について	42
問8	就労について	51
問9	たすけあいについて	53
問10	健康について	56
問11	認知症について	62
問12	介護予防への取組について	71
問13	自宅での介護及び今後の生活場所について	73
問14	ボランティアについて	75
問15	地域包括ケアシステムについて	77
III	在宅介護実態調査 調査結果	79
	回答者の基本属性	79
A 票	基本調査項目	82
B 票	主な介護者の方について	90
IV	介護人材実態調査 調査結果	93

I 調査概要

1. 調査の目的

本市の高齢者の皆様の日常生活の状況や必要な社会資源を把握し、効果的かつ効率的な支援等を可能にすることを目的に「高齢者実態意向調査」、「在宅介護実態調査」を実施しました。また、本市における介護人材の確保・定着に向けた支援策を検討するために、市内の介護事業所の雇用実態などを把握することを目的に「介護人材実態調査」を実施しました。これらの調査結果を踏まえ、本市が策定する第10期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画（令和9年度～11年度）における対応策の検討を進めます。

2. 調査の対象

- ・ 高齢者実態意向調査：令和7年12月1日時点で市内に住所を有し、要介護認定を受けていない65歳以上の市民及び要支援1・2の認定を受けている又は介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者となっている65歳以上の市民の中から無作為に抽出した8,965名
- ・ 在宅介護実態調査：在宅の要支援・要介護認定者で、更新又は区分変更の申請をしている人550名
- ・ 介護人材実態調査：姫路市内に所在する、介護保険サービスを提供する施設・事業所（福祉用具貸与、特定福祉用具販売を除く）401事業所

3. 調査の方法

- ・ 高齢者実態意向調査：郵送による配布・郵送による回収およびWebによる回答
- ・ 在宅介護実態調査：認定調査員による聞き取り調査
- ・ 介護人材実態調査：電子メールによる配布・回収

4. 調査期間

- ・ 高齢者実態意向調査：令和7年12月8日から12月26日まで
- ・ 在宅介護実態調査：令和7年10月9日から12月26日まで
- ・ 介護人材実態調査：令和7年12月10日から12月26日まで

5. 調査票の回収状況

高齢者実態意向調査	回収数	5,421件（紙：4,907件、Web：514件）
	有効回答数	5,418件（紙：4,904件、Web：514件）
在宅介護実態調査		550件
介護人材実態調査		401件

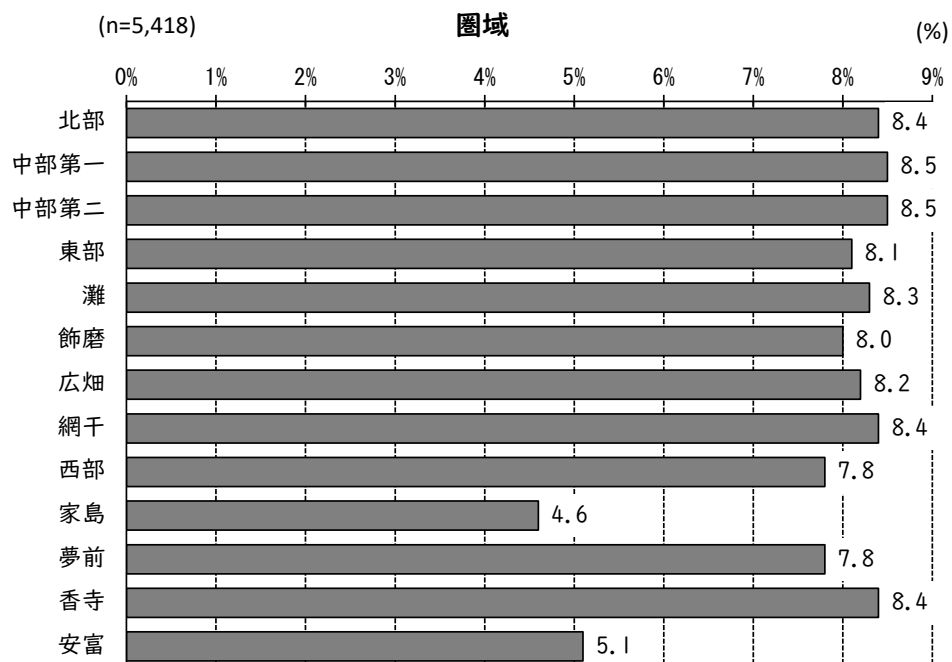
6. 留意点

- ・ 設問ごとの集計母数は、グラフ中に「n=***」（前回調査の集計母数は「N=***」）と図表記しています。
- ・ 集計結果の百分率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した値を図表記しています。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めています。そのため、構成比の合計は通常100.0%にはなりません。
- ・ クロス集計のグラフ・数図表では、集計区分ごとの集計母数を「n=***」と図表記しています。
- ・ 一部の設問では、無回答であったことにより、全体回答数と内訳の合計数が一致していない場合があります。・ 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer = いくつでも）と記載しています。
- ・ 100 歳以上は回答数が少ないため、年齢別のクロス集計では100 歳未満の各年代の回答傾向に着目しコメントしています。

Ⅱ 高齢者実態意向調査 調査結果

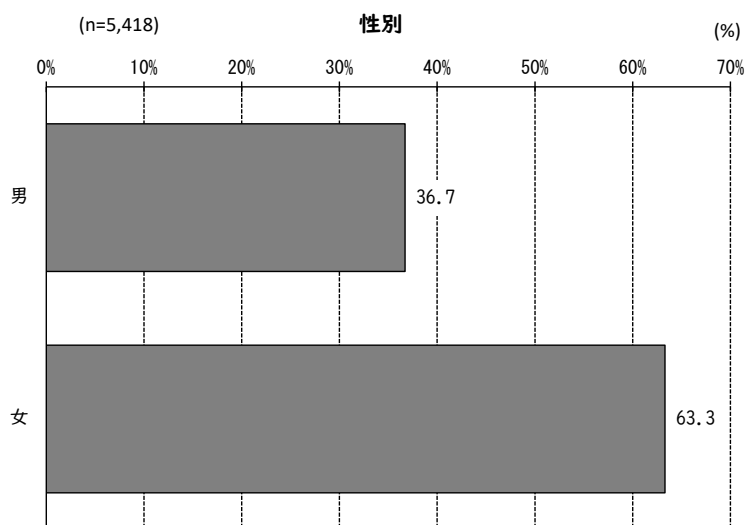
圏域

圏域についてみると、「中部第一」「中部第二」が 8.5%で最も多く、次いで「北部」「網干」「香寺」が 8.4%、「灘」が 8.3%となっています。



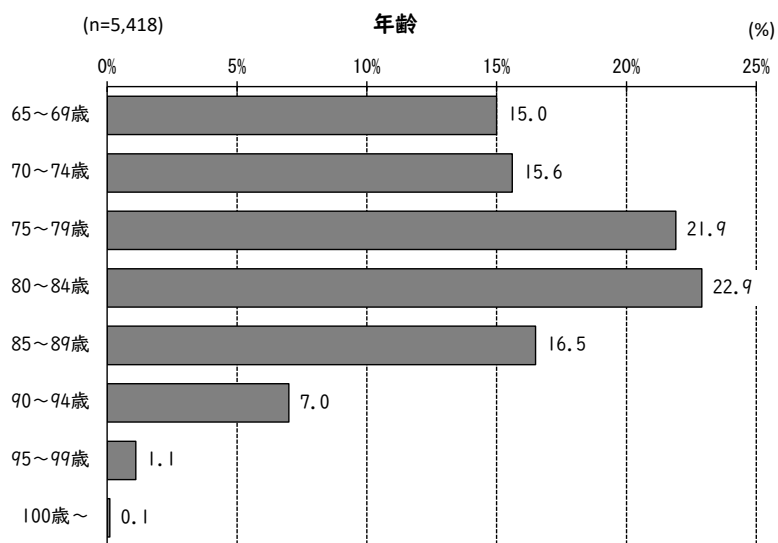
性別

性別についてみると、「男」が36.7%、「女」が63.3%となっています。



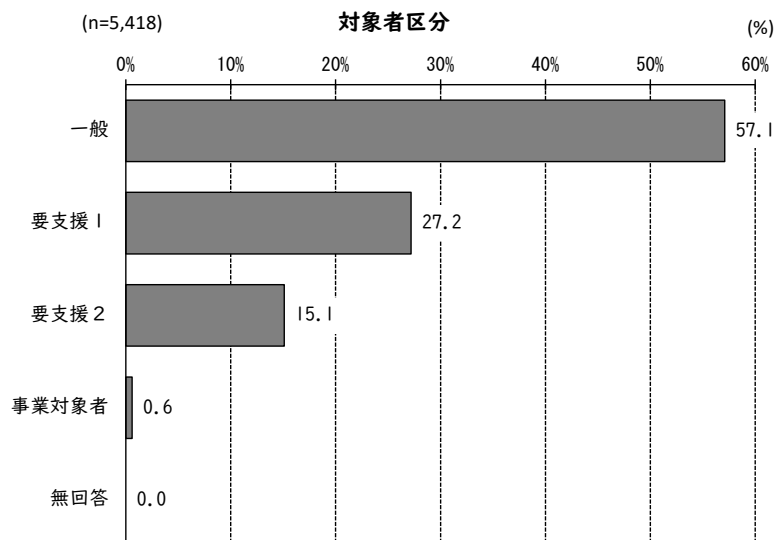
年齢

年齢についてみると、「80～84 歳」が 22.9%で最も多く、次いで「75～79 歳」が 21.9%、「85～89 歳」が 16.5%となっています。



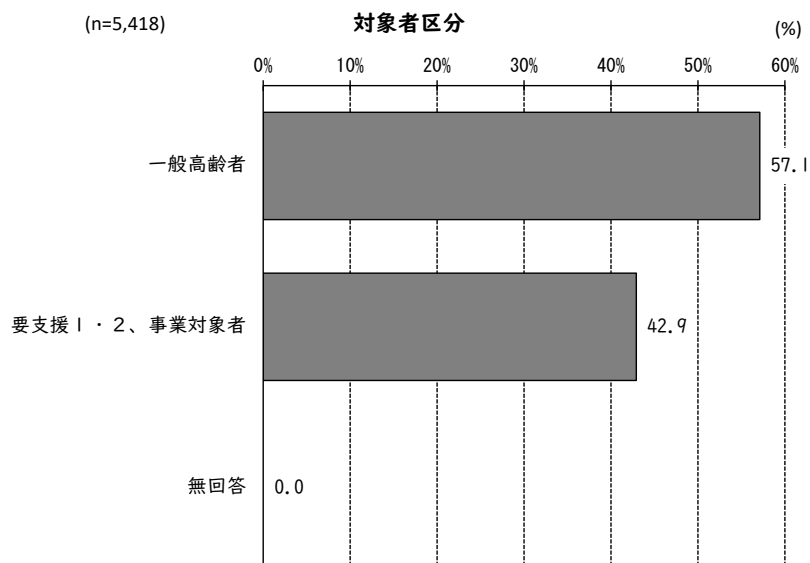
対象者区分（詳細）

対象者区分についてみると、「一般」が 57.1%で最も多く、次いで「要支援 1」が 27.2%、「要支援 2」が 15.1%となっています。



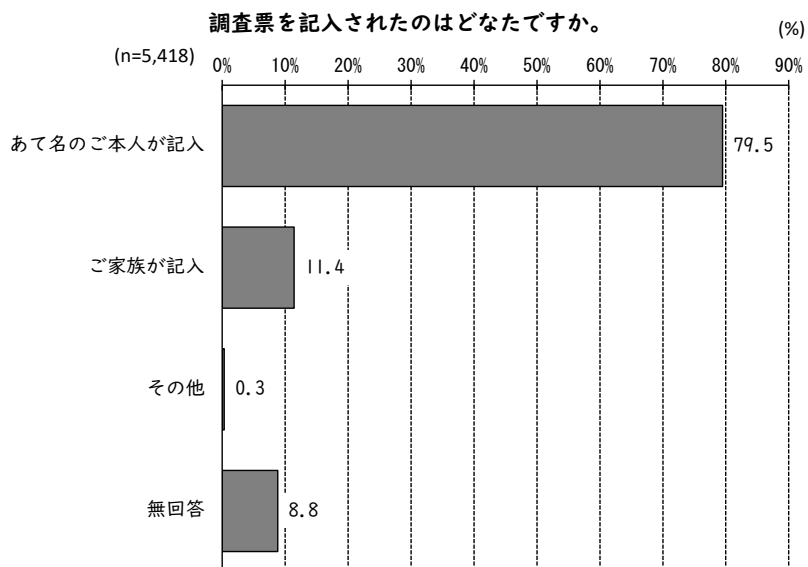
対象者区分（2区分）

対象者区分を 2 区分でみると、「一般高齢者」が 57.1%、「要支援 1・2、事業対象者」が 42.9%となっています。



調査票を記入されたのはどなたですか。

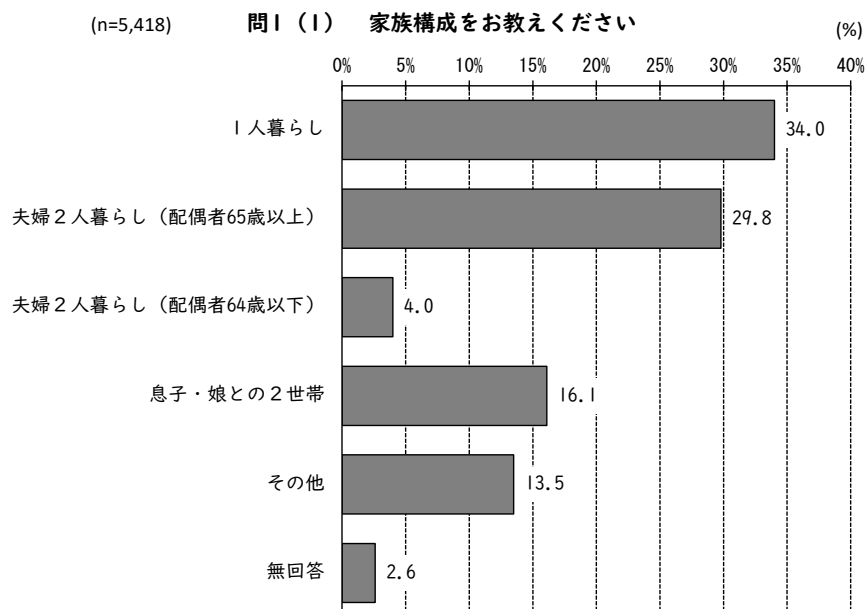
調査票を誰が記入したかについてみると、「あて名のご本人が記入」が 79.5%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が 11.4%となっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

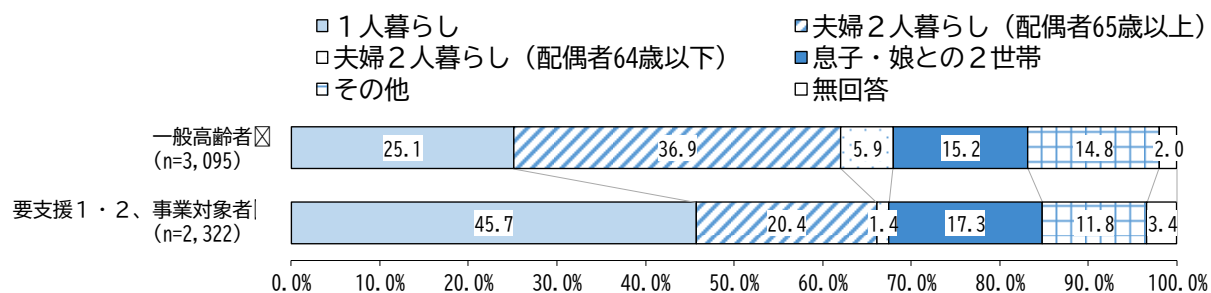
問1（1） 家族構成をお教えてください

家族構成についてみると、「1人暮らし」が34.0%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし」が33.8%となっています。



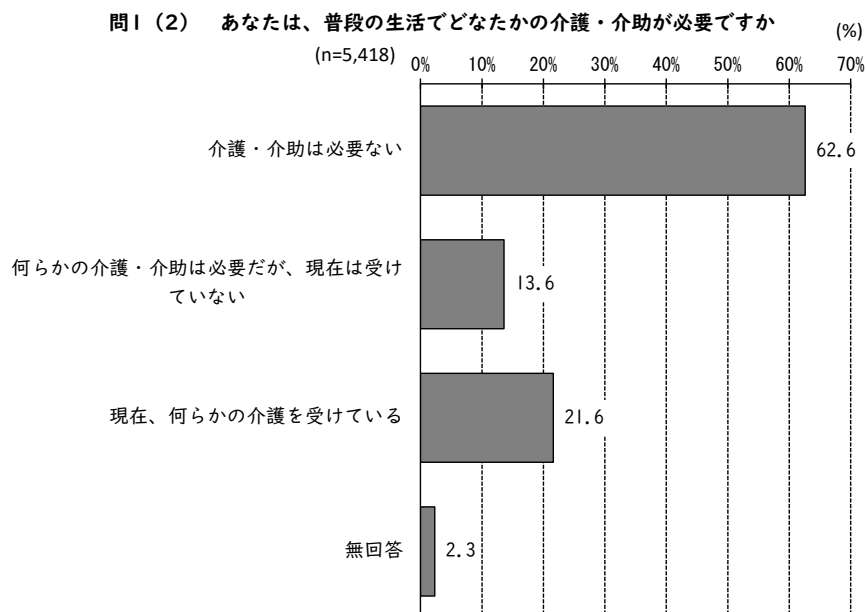
●対象者区分別

対象者区分別で見ると、要支援1・2等の層では「1人暮らし」が45.7%で、一般高齢者（25.1%）を大きく上回っています。



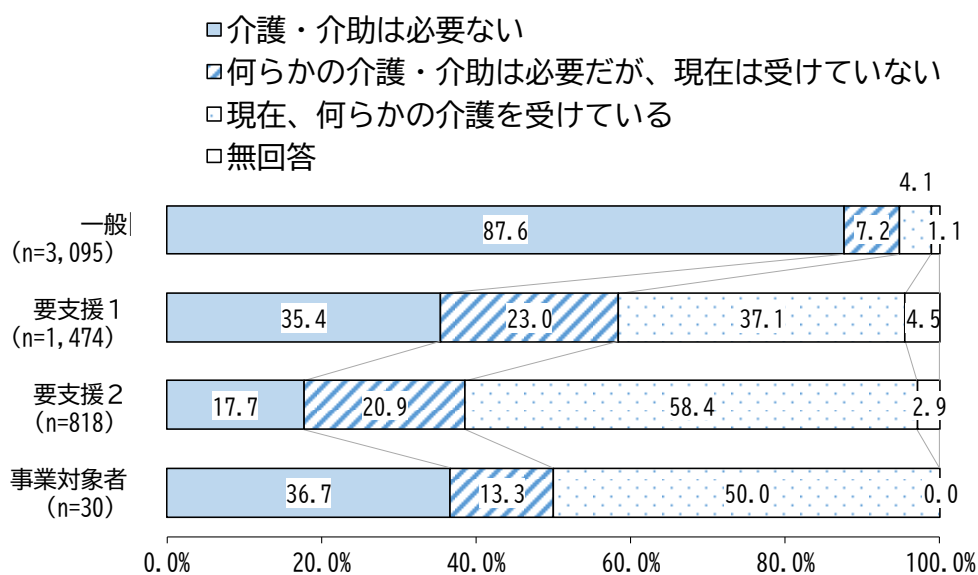
問1（2） あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

普段の生活における介護・介助の必要性についてみると、「介護・介助は必要ない」が 62.6%と6割を超える一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は13.6%となっています。



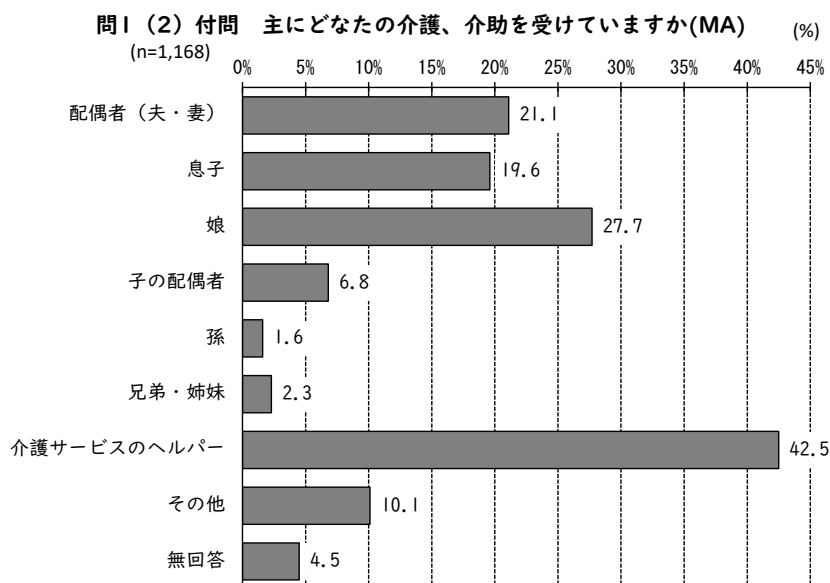
●対象者区分（詳細）別

対象者区分別では、「介護・介助は必要ない」について、一般では 87.6%と高くなっていますが、要支援2では2割を下回っています。



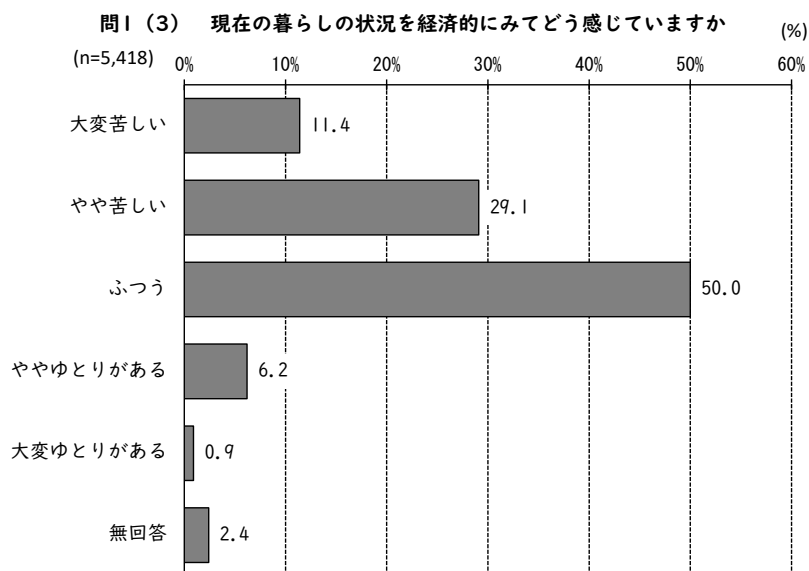
**問1（2）付問 【（2）において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
主にどなたの介護、介助を受けていますか（複数回答）**

現在介護を受けている方の主な介護者（介助者）では、介護サービスのヘルパーが 42.5%と最も多くなっています。家族では、娘が 27.7%で、配偶者が 21.1%、息子が 19.6%となっています。



問1（3） 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

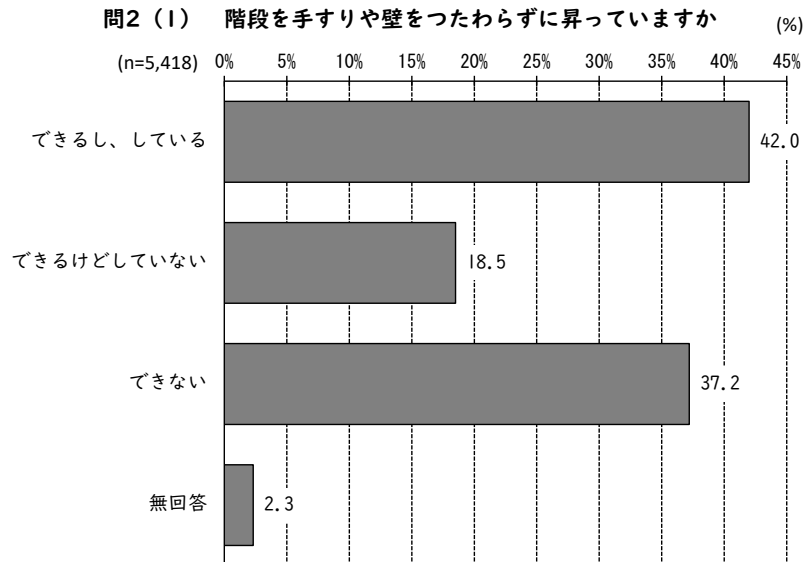
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについてみると、「ふつう」が 50.0%で半数となっています。ただ、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると 40.5%になります。



問2 からだを動かすことについて

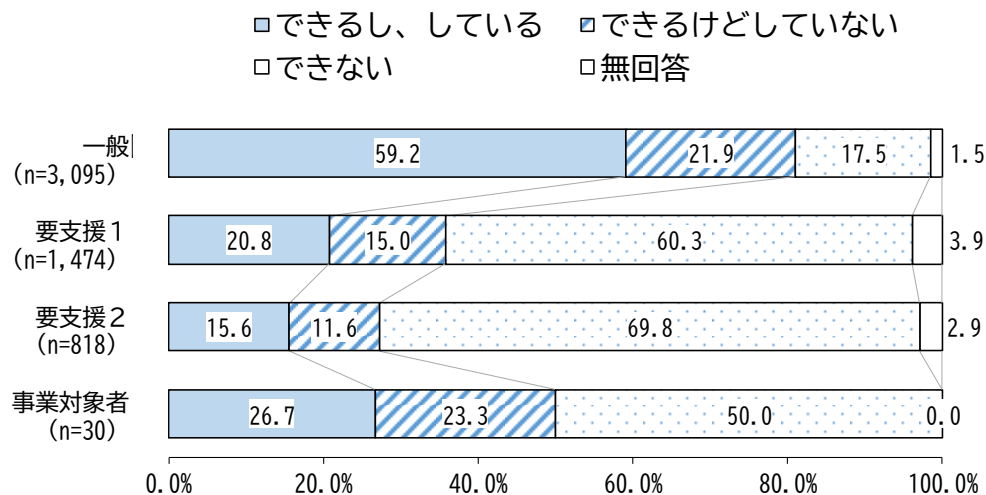
問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段の昇降動作についてみると、「できるし、している」が 42.0%で最も多く、次いで「できない」が 37.2%、「できるけどしていない」が 18.5%となっています。



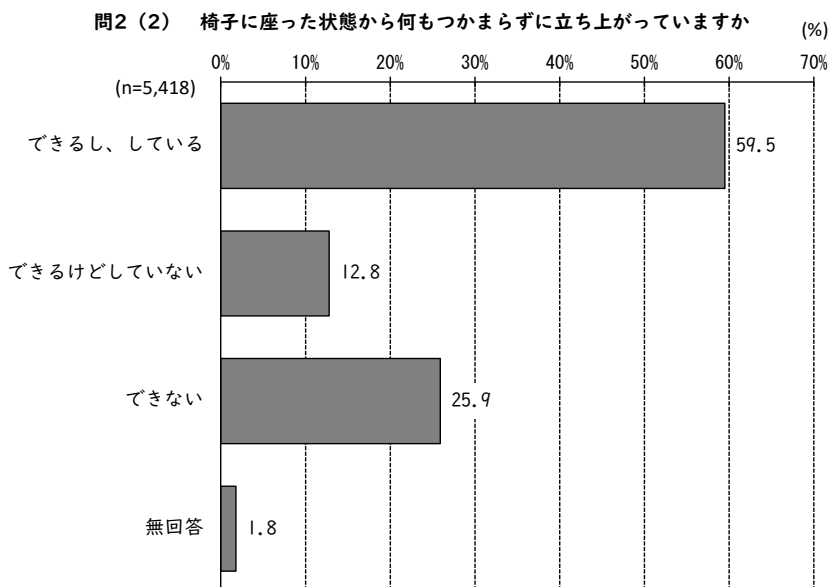
●対象者区分（詳細）別

対象者区分別では、一般では「できるし、している」が半数を超えています。要支援1・要支援2・事業対象者とも「できない」が50%以上となっています。



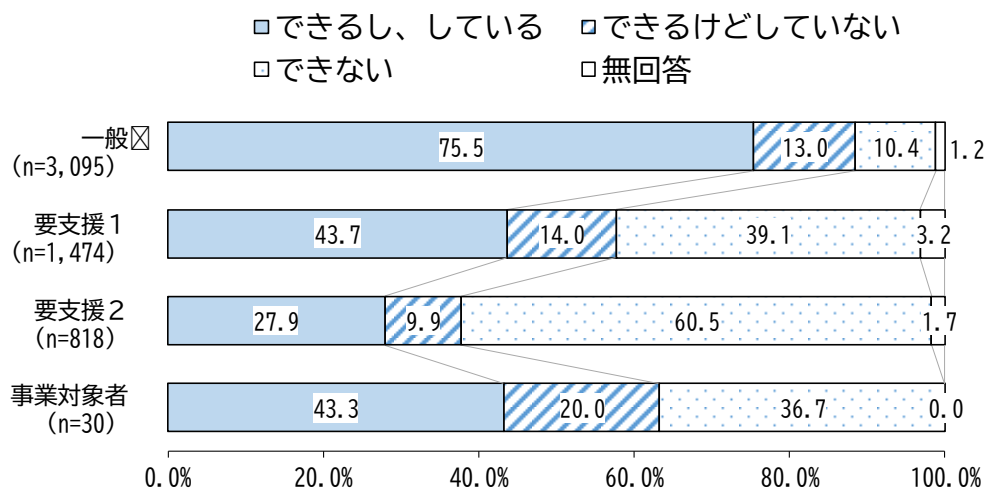
問２（２） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子からの立ち上がり動作についてみると、「できるし、している」が59.5%で最も多く、次いで「できない」が25.9%、「できるけどしていない」が12.8%となっています。



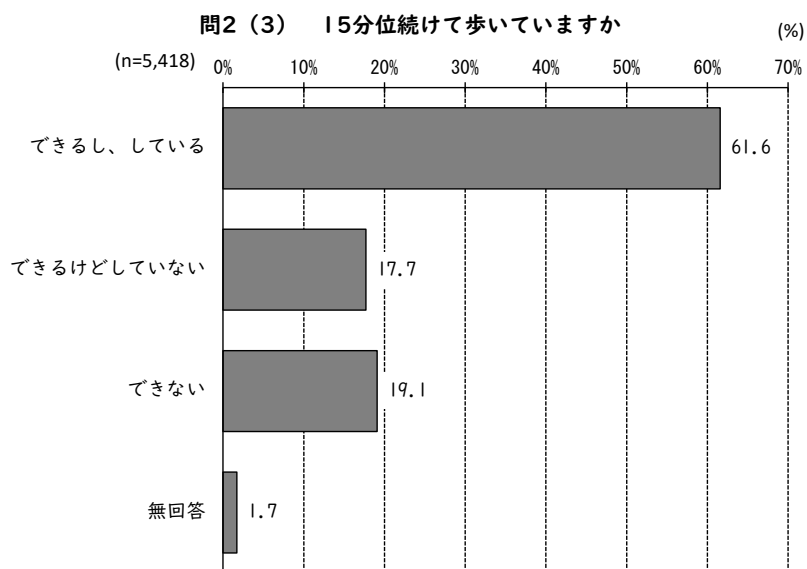
●対象者区分（詳細）別

対象者区分別では、一般では「できるし、している」が75.5%ですが、要支援1・要支援2・事業対象者とも「できるし、している」が半数以下となっています。

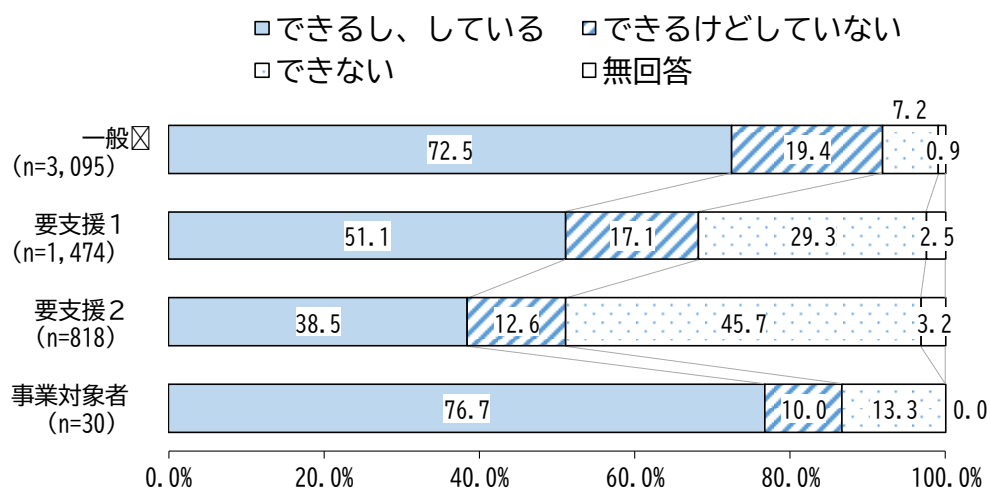


問2（3） 15分位続けて歩いていますか

継続的な歩行についてみると、「できるし、している」が 61.6%で最も多く、次いで「できない」が 19.1%、「できるけどしていない」が 17.7%となっています。

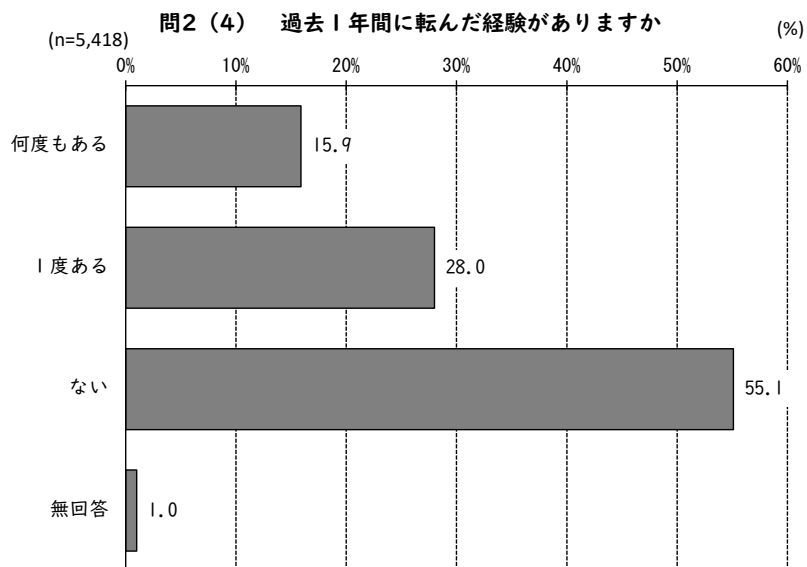


●対象者区分（詳細）別

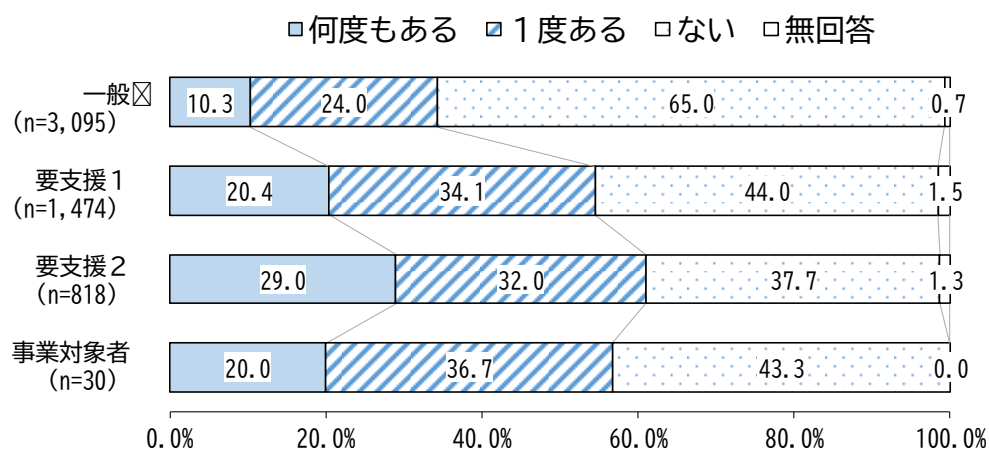


問2（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間の転倒経験では、「ない」が55.1%で最も多く、次いで「1度ある」が28.0%、「何度もある」が15.9%となっています。

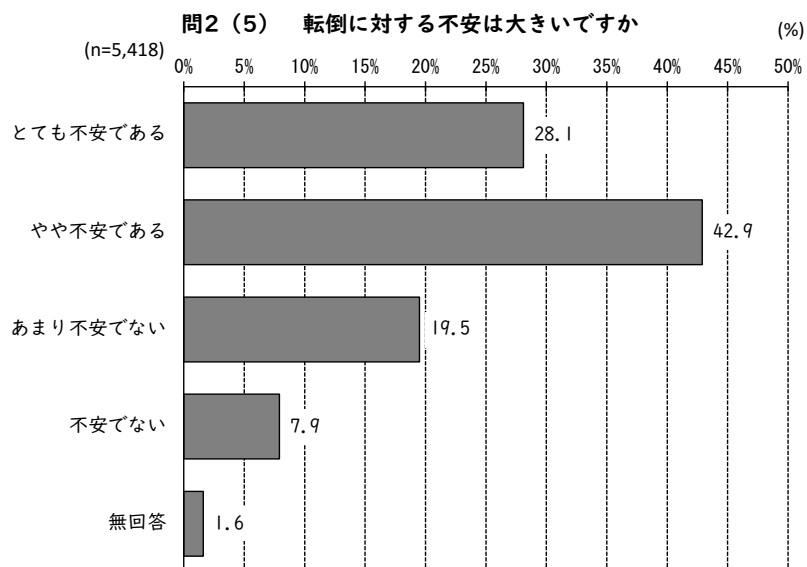


●対象者区分（詳細）別

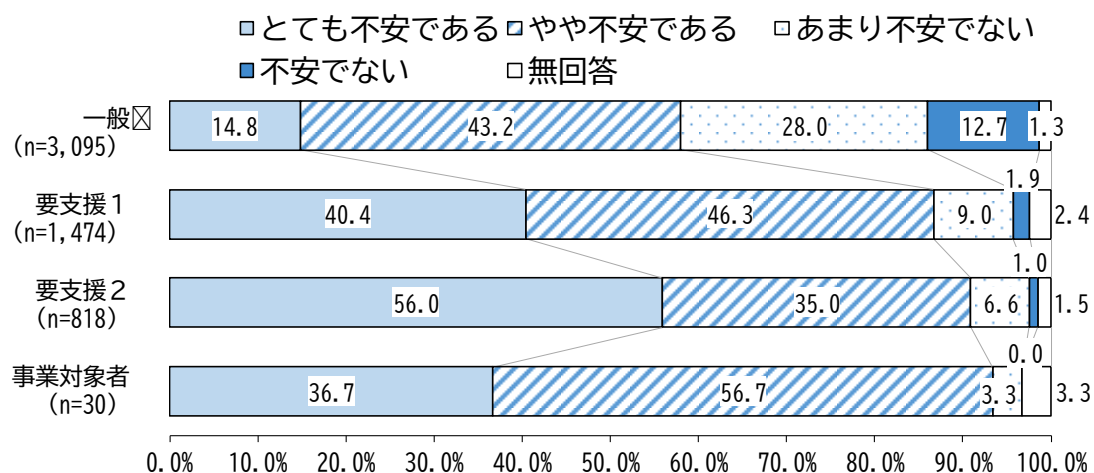


問2（5） 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安では、「やや不安である」が 42.9%で最も多く、次いで「とても不安である」が 28.1%、「あまり不安でない」が 19.5%となっています。

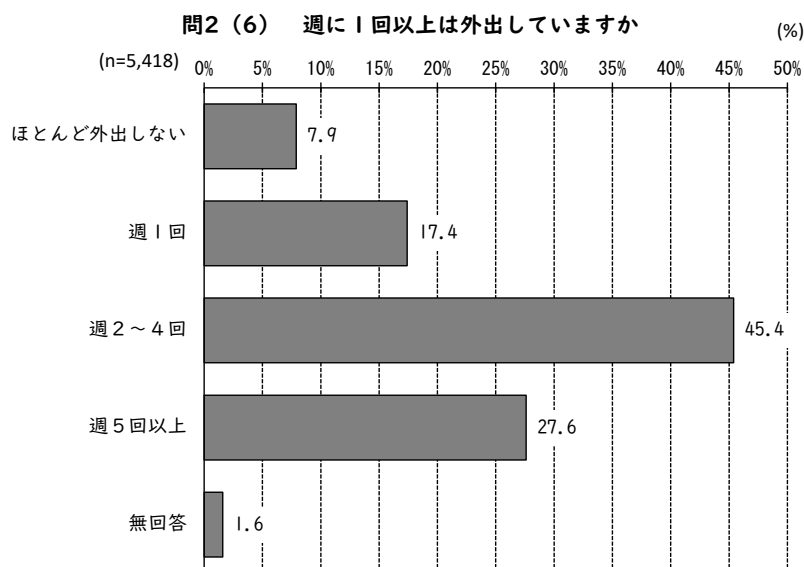


●対象者区分（詳細）別

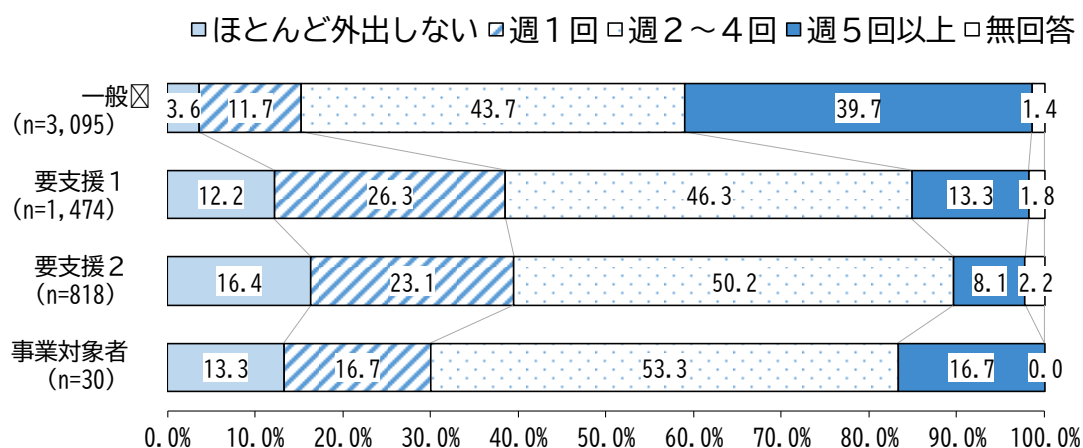


問2（6） 週に1回以上は外出していますか

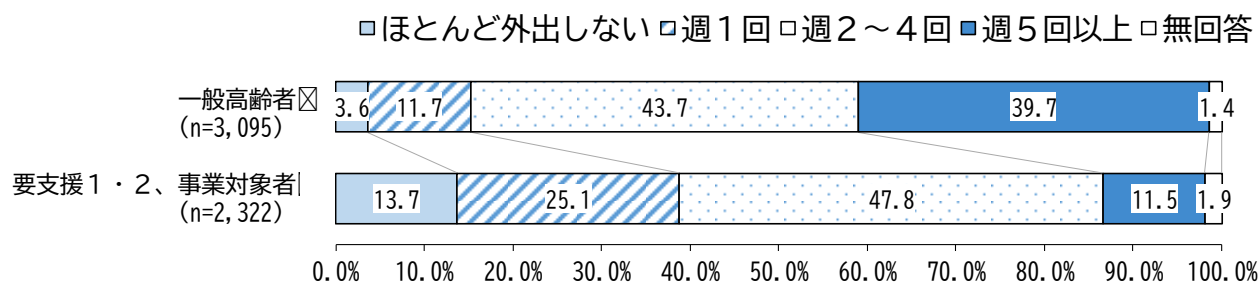
外出頻度については、「週に2～4回」が45.4%で最も多く、「週5回以上」も27.6%でした。一方で、「ほとんど外出しない」も7.9%となっていました。



●対象者区分（詳細）別

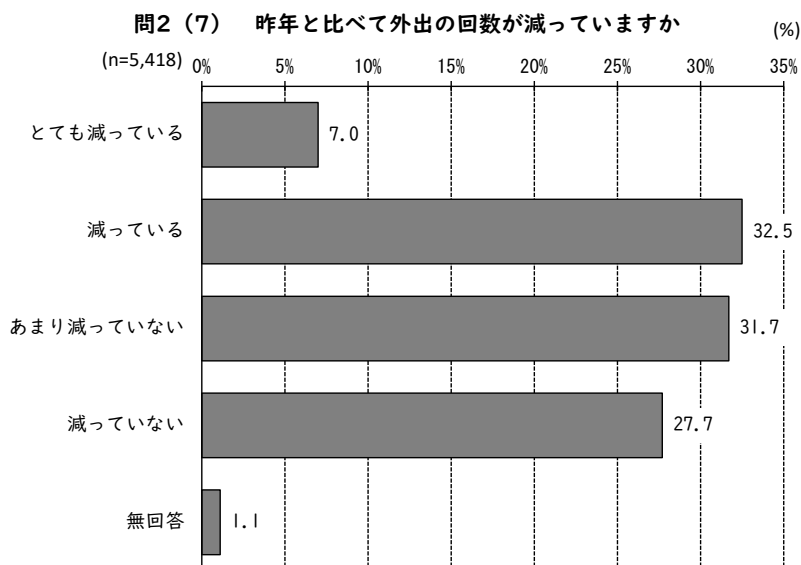


●対象者区分別

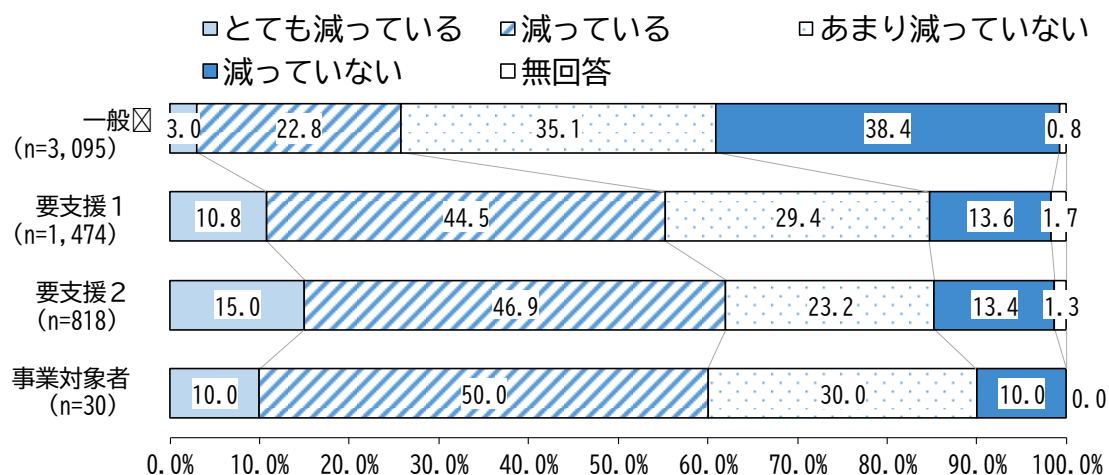


問2（7） 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

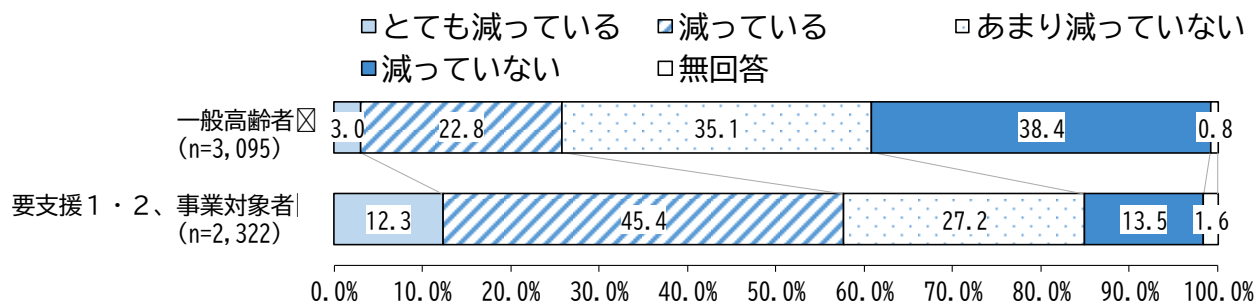
昨年と比べて外出頻度では、「減っている」が32.5%と最も多く、「あまり減っていない」が31.7%、「減っていない」は27.7%となっています。



●対象者区分（詳細）別

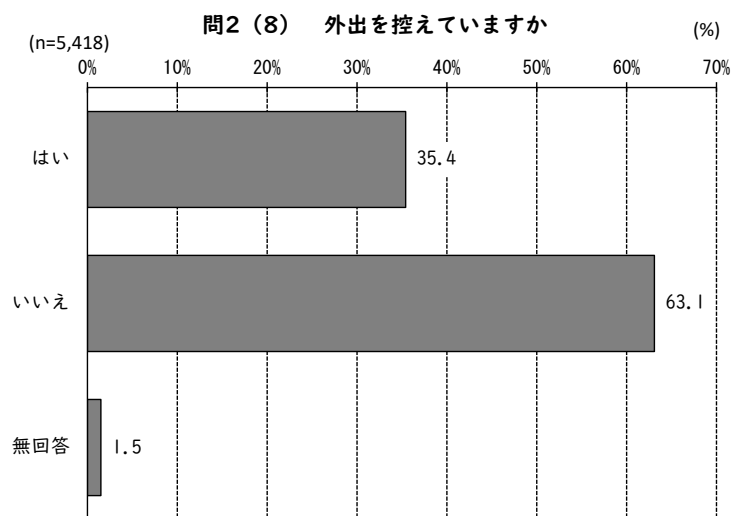


●対象者区分別

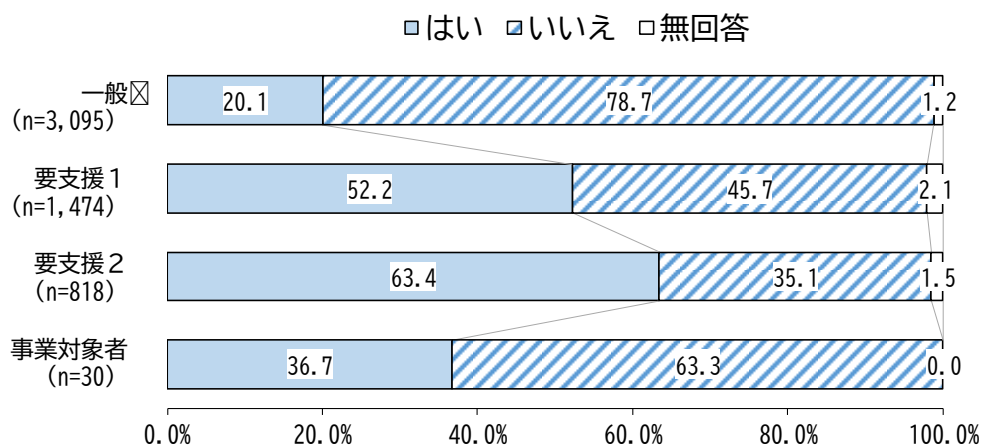


問2（8） 外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「いいえ」が63.1%で6割を超えています。

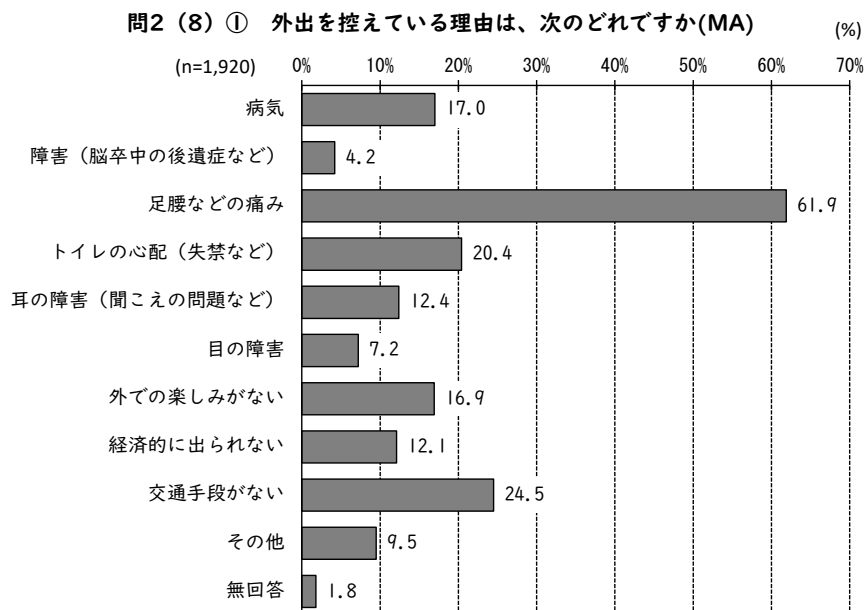


●対象者区分（詳細）別



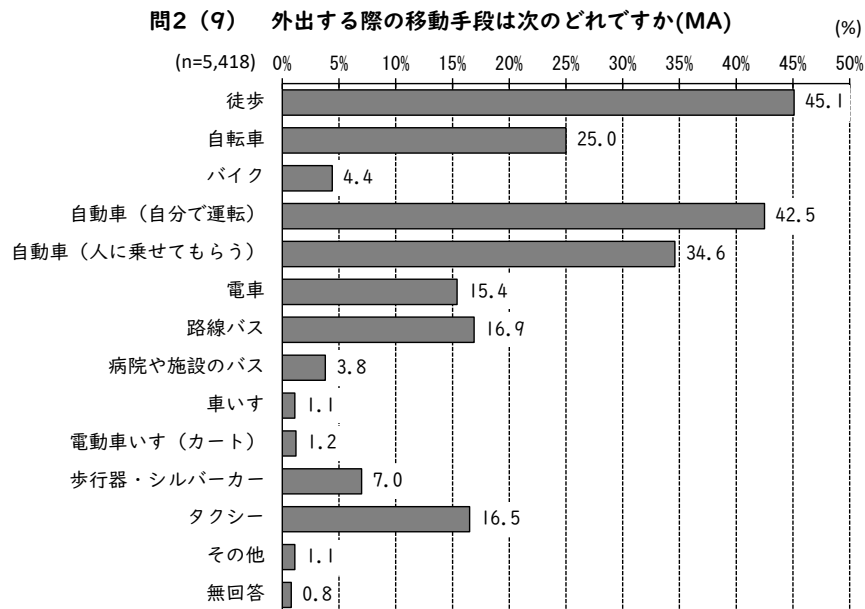
問2（8）① 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数回答）

外出を控えている理由では、「足腰などの痛み」が 61.9%で最も多く、次いで「交通手段がない」が 24.5%、「トイレの心配（失禁など）」が 20.4%となっています。



問2（9） 外出する際の移動手段は次のどれですか（複数回答）

外出する際の移動手段は、「徒歩」が 45.1%で最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」が 42.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 34.6%となっています。



問3 食べることについて

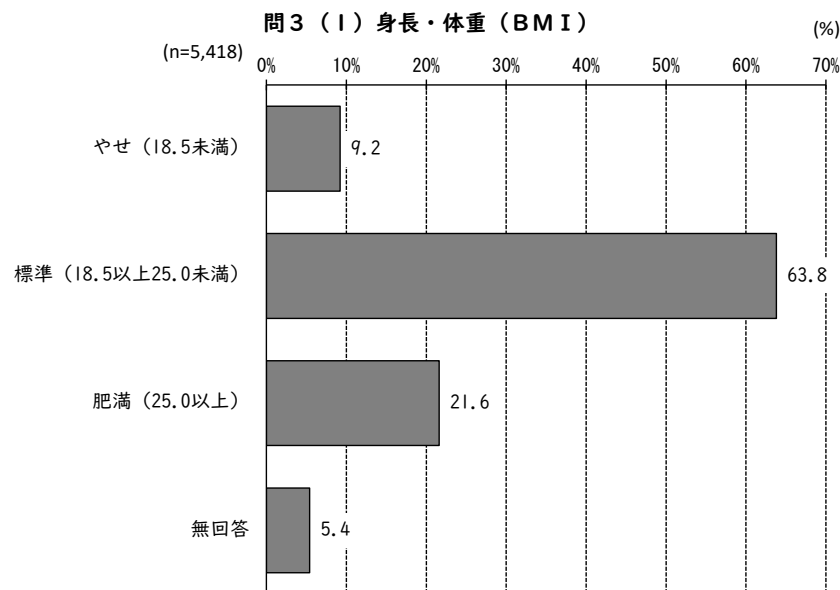
問3（1） 身長・体重を教えてください（BMI）

身長と体重から算出する BMI では、「標準（18.5 以上 25.0 未満）」が 63.8%で最も多く、次いで「肥満（25.0 以上）」が 21.6%、「やせ（18.5 未満）」が 9.2%となっています。

BMI は、身長と体重から算出される肥満度を表す体格指数です。

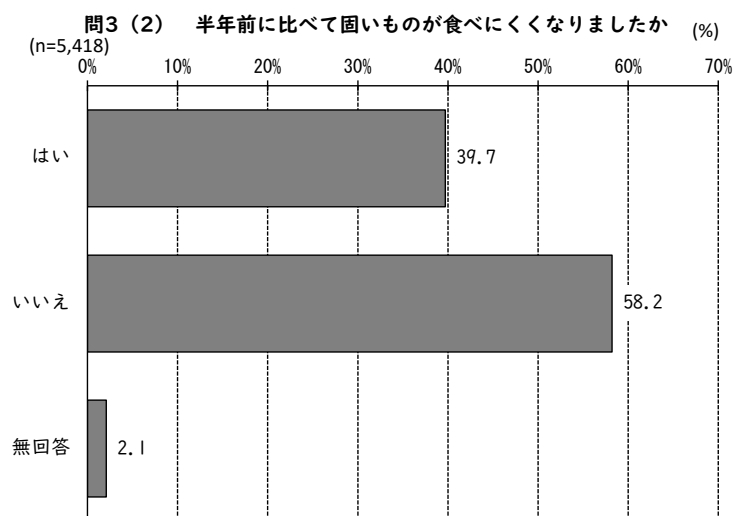
$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

例：身長 160cm、体重 70kg の方 = $70\text{kg} \div (1.6 \times 1.6) = 27.3$ (肥満)

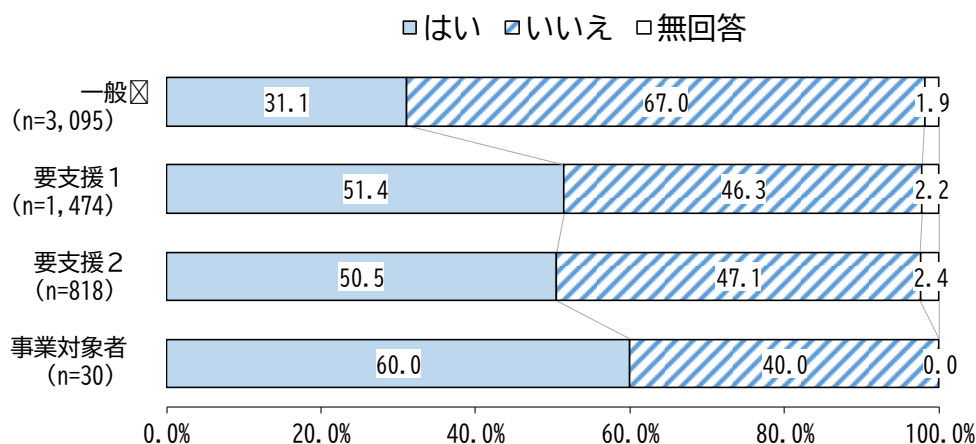


問3（2） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたかについて、「はい」が 39.7%、「いいえ」が 58.2%となっています。

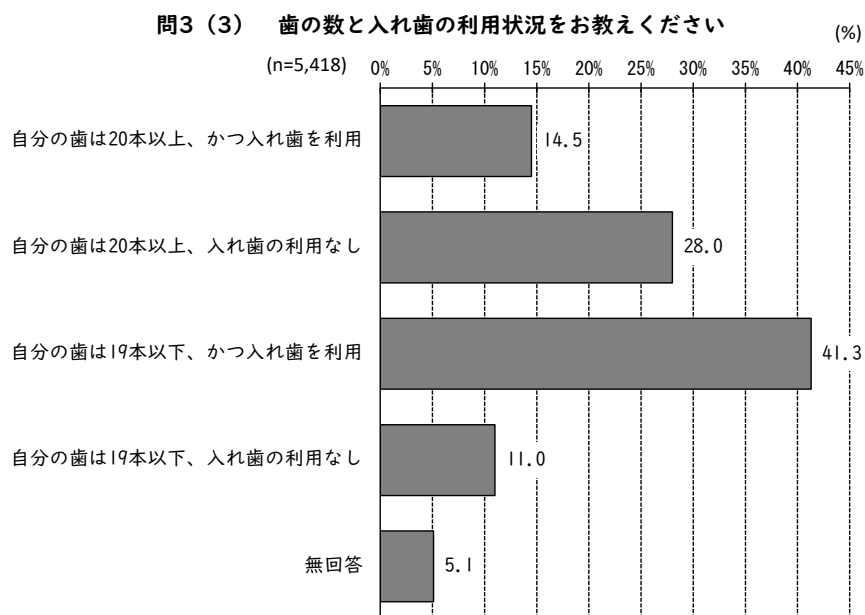


●対象者区分（詳細）別

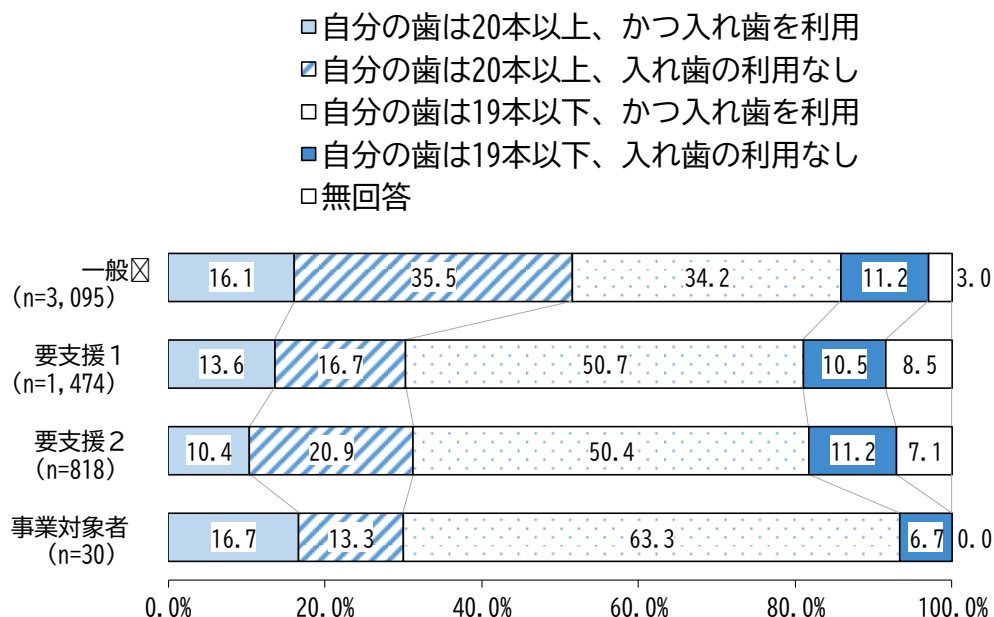


問3（3） 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.3%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.5%となっています。

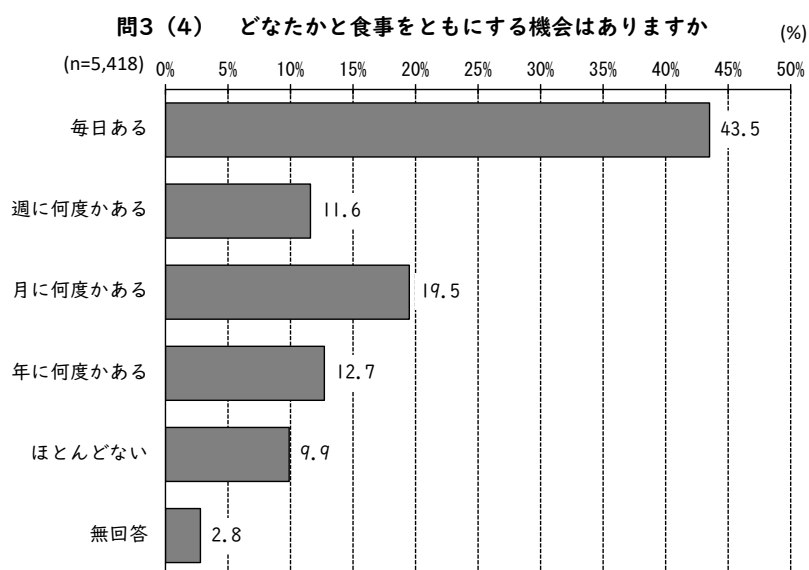


●対象者区分（詳細）別

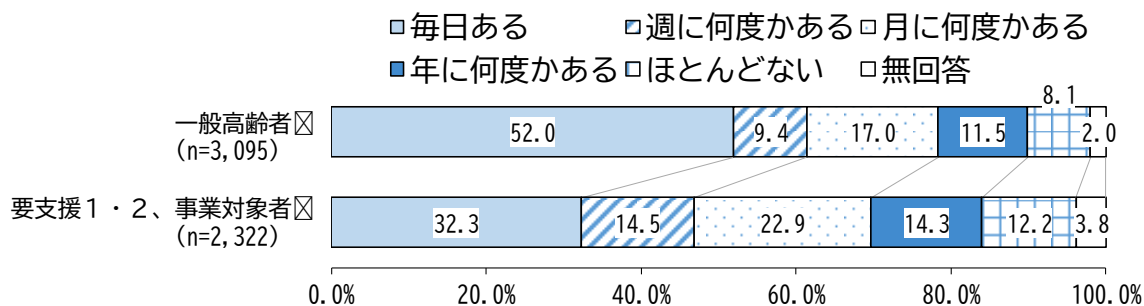


問3（４） どなたかと食事をとる機会がありますか

どなたかと食事をとる機会では、「毎日ある」が43.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が19.5%、「年に何度かある」が12.7%となっています。「ほとんどない」は9.9%となっています。



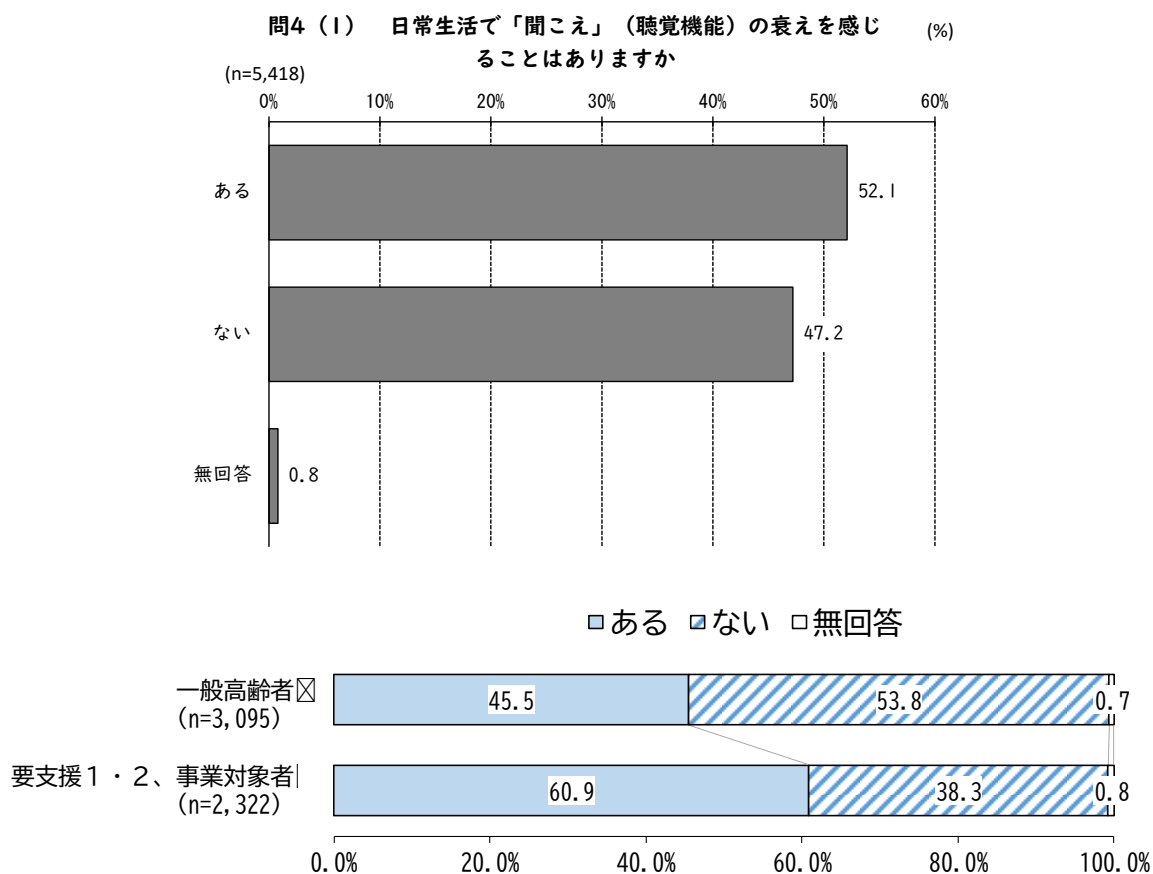
●対象者区分別



問4 「聞こえ」（聴覚機能）について

問4（1） 日常生活で「聞こえ」（聴覚機能）の衰えを感じることはありますか

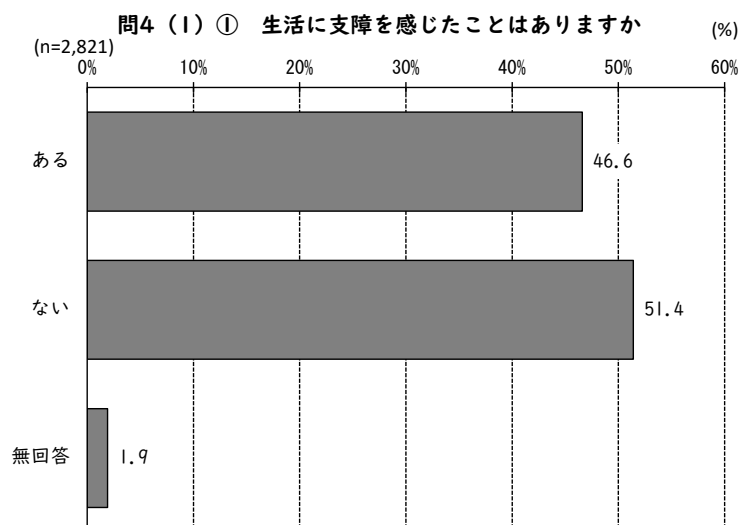
日常生活で聞こえ（聴覚機能）の衰えを感じる人が52.1%、ない人は47.2%となっています。



【(1) で「1. ある」の方のみ】

問4（1）① 生活に支障を感じたことはありますか

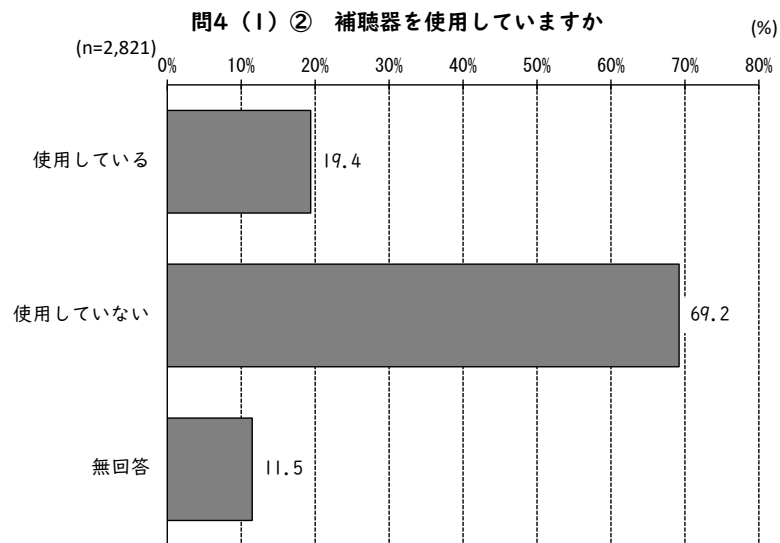
聴覚機能の衰えで生活に支障を感じている人は46.6%、感じていない人は51.4%で、半数以上の人は支障を感じていないとの回答となっています。



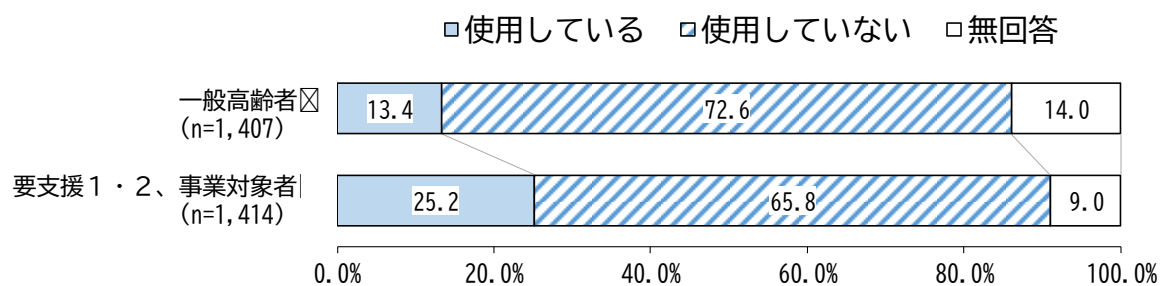
【(1) で「1. ある」の方のみ】

問4 (1) ② 補聴器を使用していますか

補聴器の使用については、使用していない人が 69.2%と 7 割近くとなっています。

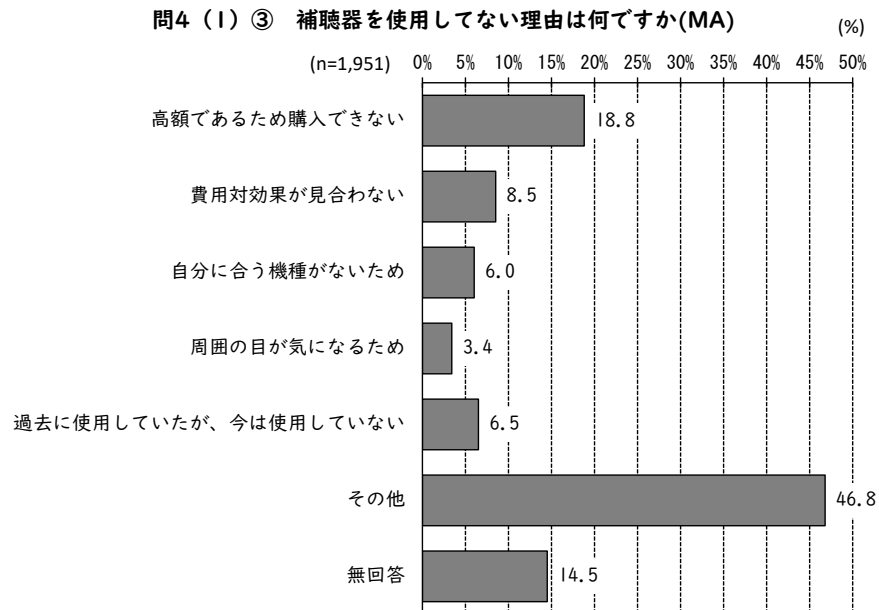


●対象者区分別



問4（1）③ 補聴器を使用していない理由は何ですか（複数回答）

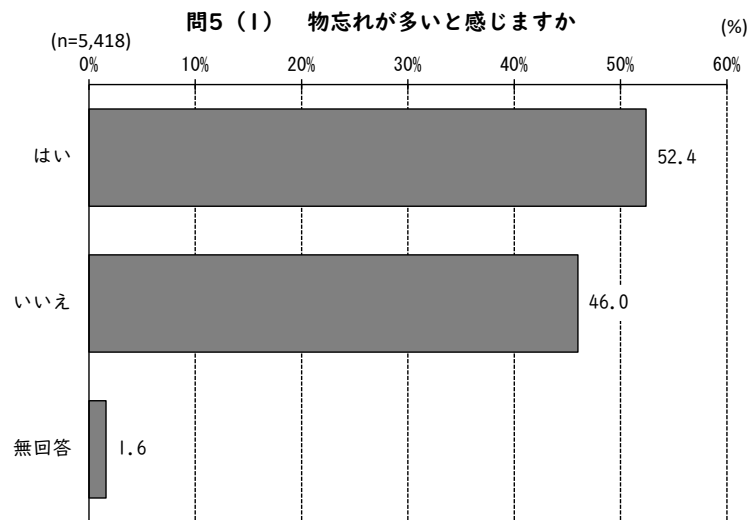
補聴器を使用していない理由は「その他」が最も多く、「高額であるため購入できない」が 18.8%、「費用対効果が見合わない」が 8.5%となっています。



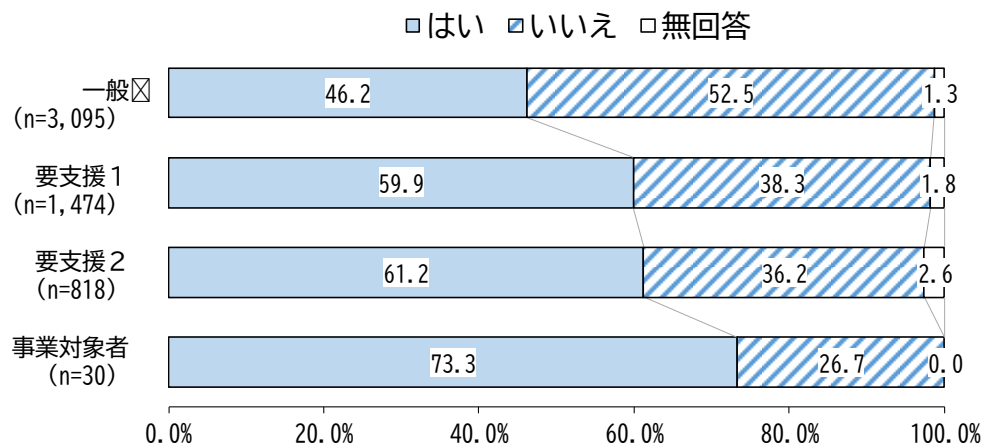
問5 毎日の生活について

問5（1） 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が52.4%、「いいえ」が46.0%となっています。

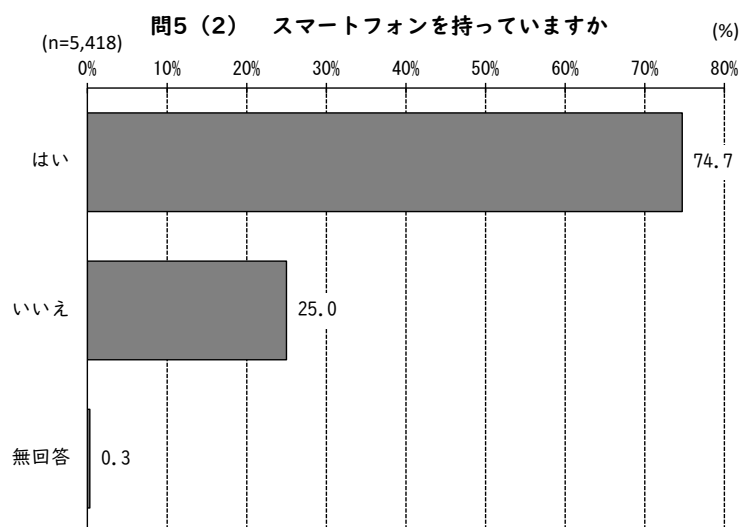


●対象者区分（詳細）別



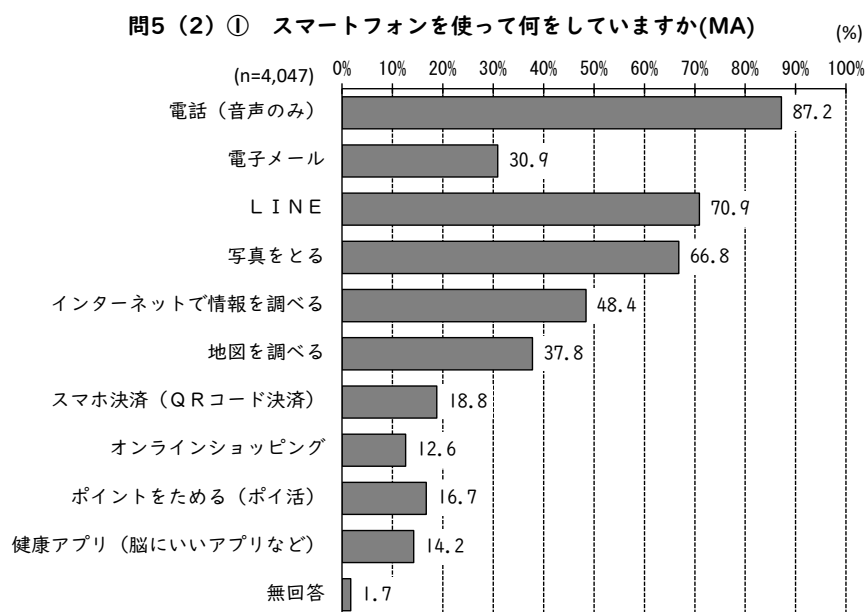
問5（2） スマートフォンを持っていますか

スマートフォンの所有状況については、所有している人が74.7%となっています。



問5（2）① スマートフォンを使って何をしていますか（複数回答）

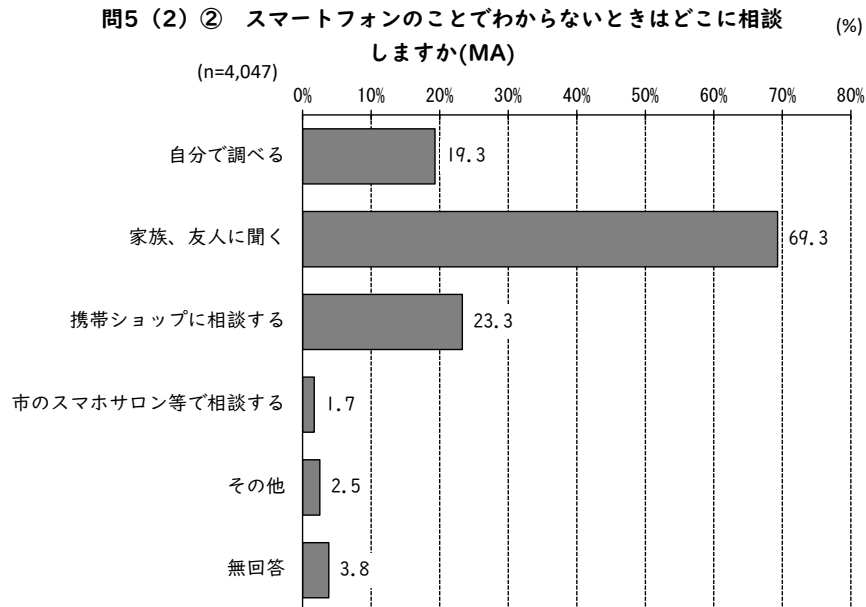
スマートフォンを使ってしていることでは、「電話（音声のみ）」が87.2%で最も多く、次いで「LINE」が70.9%、「写真をとる」が66.8%となっています。



【(2)で「1. はい」の方のみ】

問5 (2) ② スマートフォンのことでわからないときはどこに相談しますか（複数回答）

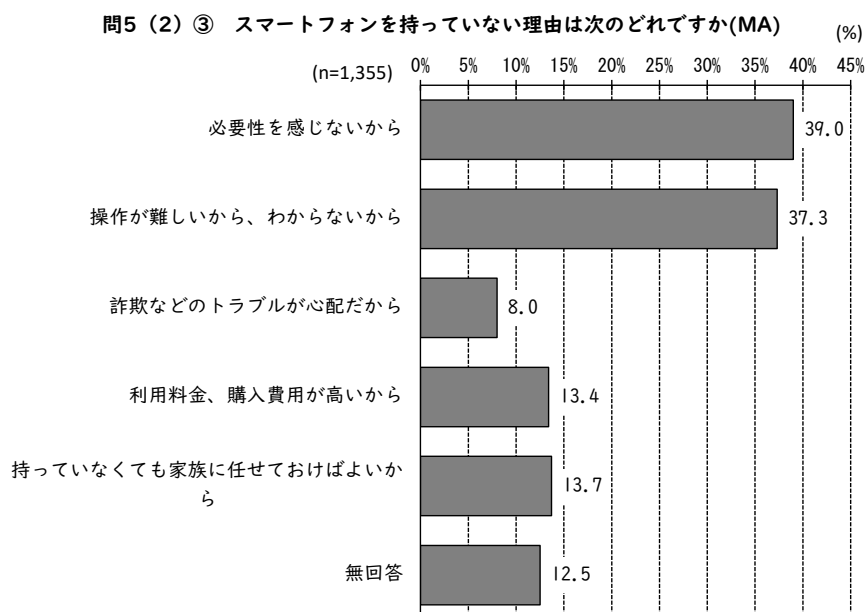
スマートフォンのことでわからないときの相談先では、「家族、友人に聞く」が 69.3%と最も多く、携帯ショップに相談する人は 23.3%となっています。



【(2)で「2. いいえ」の方のみ】

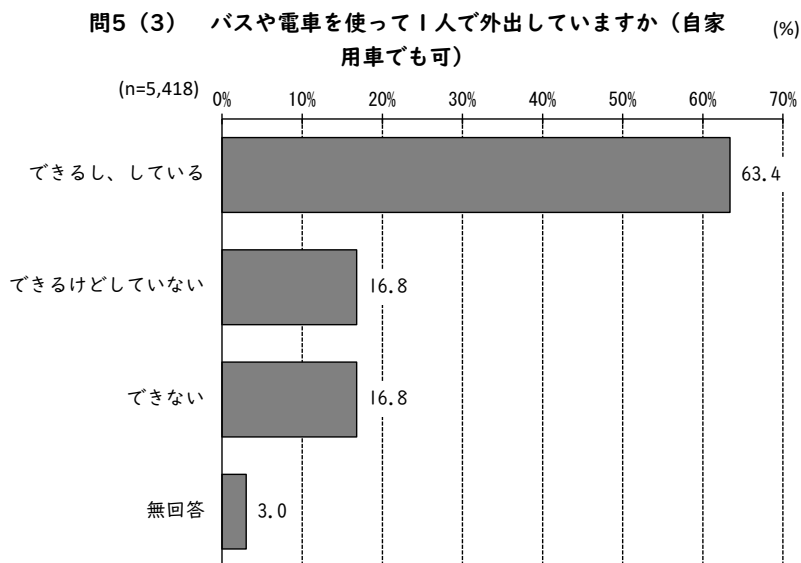
問5 (2) ③ スマートフォンを持っていない理由は次のどれですか（複数回答）

スマートフォンを持っていない理由では、「必要性を感じないから」が 39.0%で最も多く、次いで「操作が難しいから、わからないから」が 37.3%、「持っていないくても家族に任せておけばよいから」が 13.7%となっています。



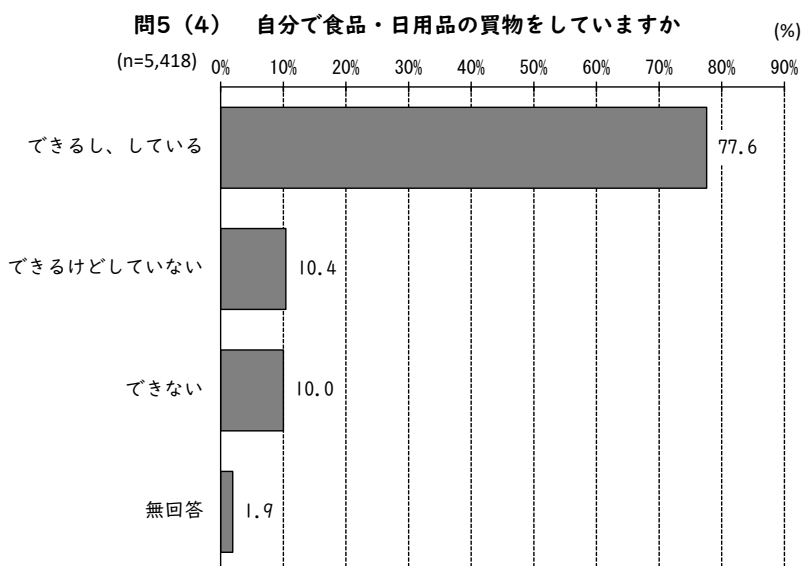
問5（3） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が 63.4%となっています。「できるけどしていない」及び「できない」との回答は 16.8%となっています。



問5（4） 自分で食品・日用品の買物をしていますか

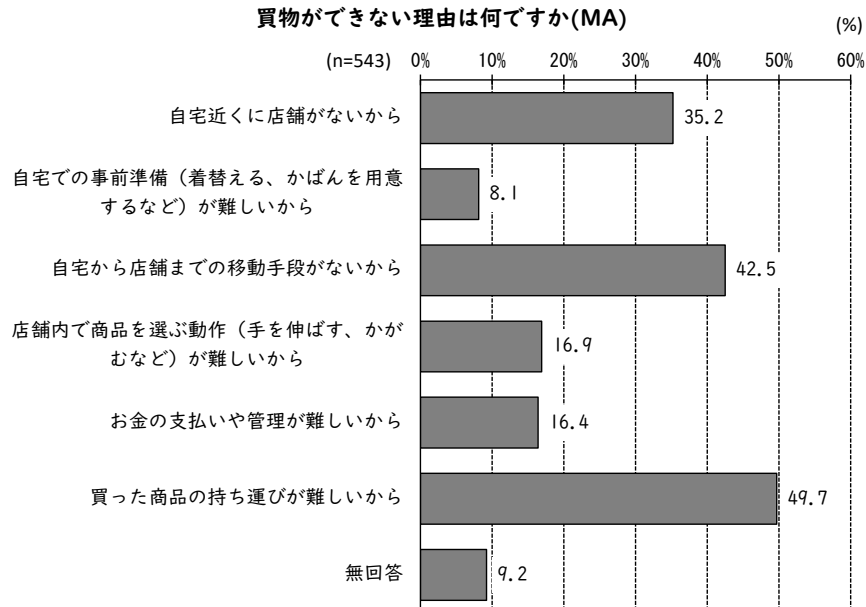
自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が 77.6%で最も多く、「できない」との回答は 10.0%となっています。



【(4)で「3. できない」の方のみ】

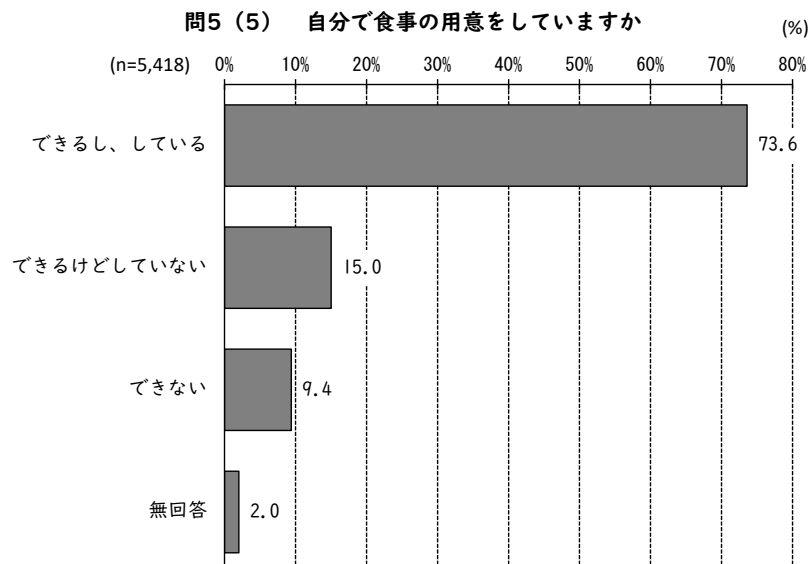
問5 (4) 付問 買物ができない理由は何ですか（複数回答）

買物ができない理由では、「買った商品の持ち運びが難しいから」が 49.7%で最も多く、次いで「自宅から店舗までの移動手段がないから」が 42.5%、「自宅近くに店舗がないから」が 35.2%となっています。

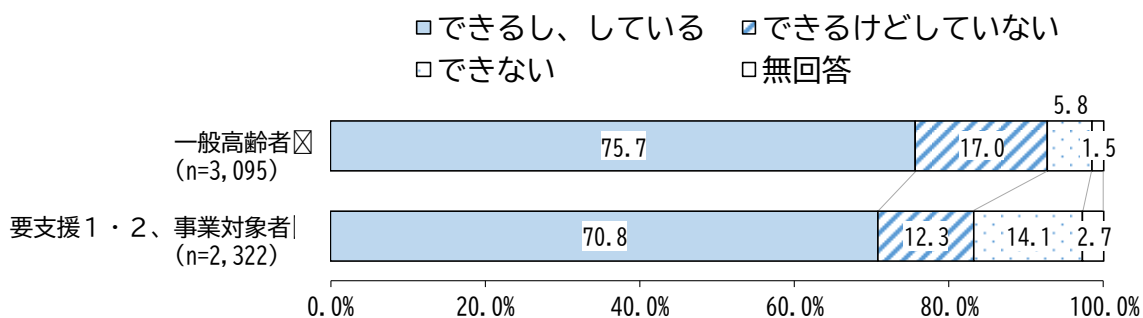


問5 (5) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事を用意しているかについては、「できるし、している」が 73.6%で最も多く、「できない」との回答は 9.4%となっています。

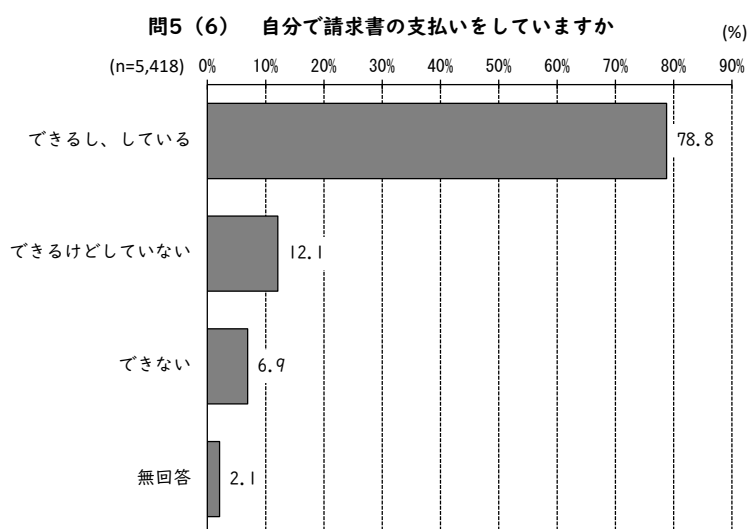


●対象者区分別



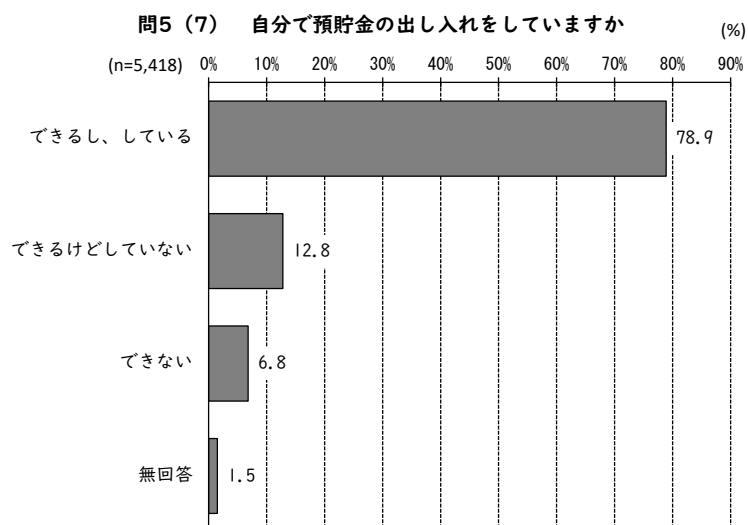
問5（6） 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 78.8%で最も多く、「できない」との回答は 6.9%となっています。

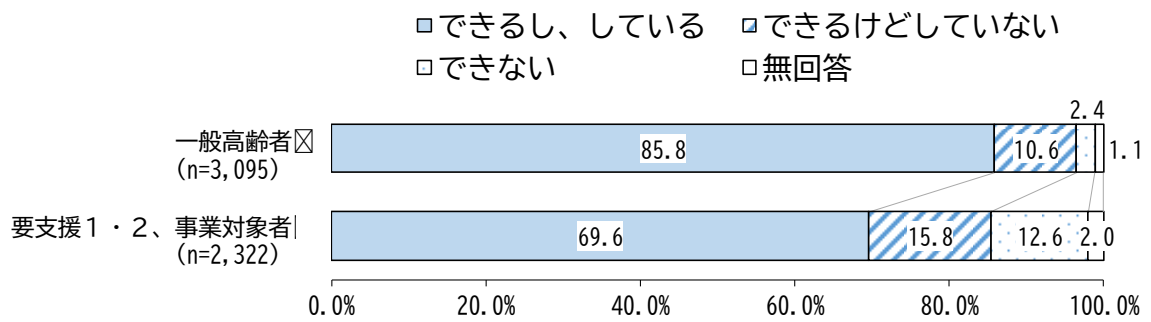


問5（7） 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 78.9%で最も多く、「できない」との回答は 6.8%となっています。

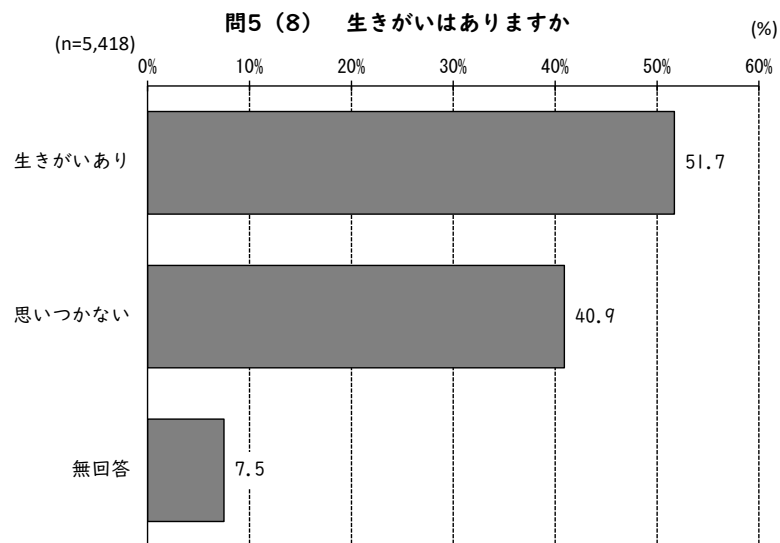


●対象者区分別

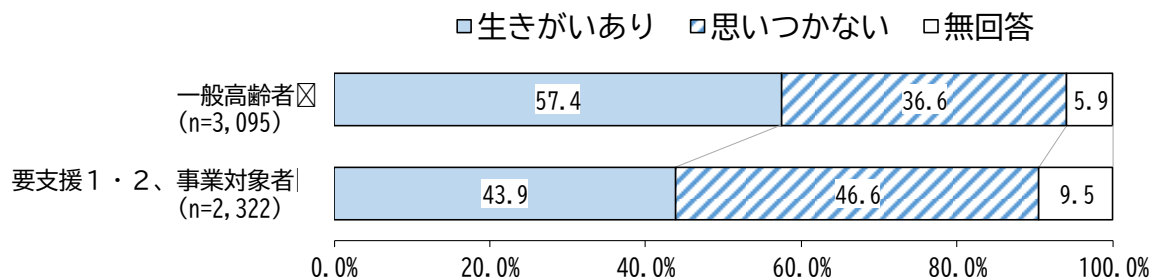


問5（8） 生きがいがありますか

生きがいについては、「生きがいあり」が51.7%、「思いつかない」が40.9%となっています。



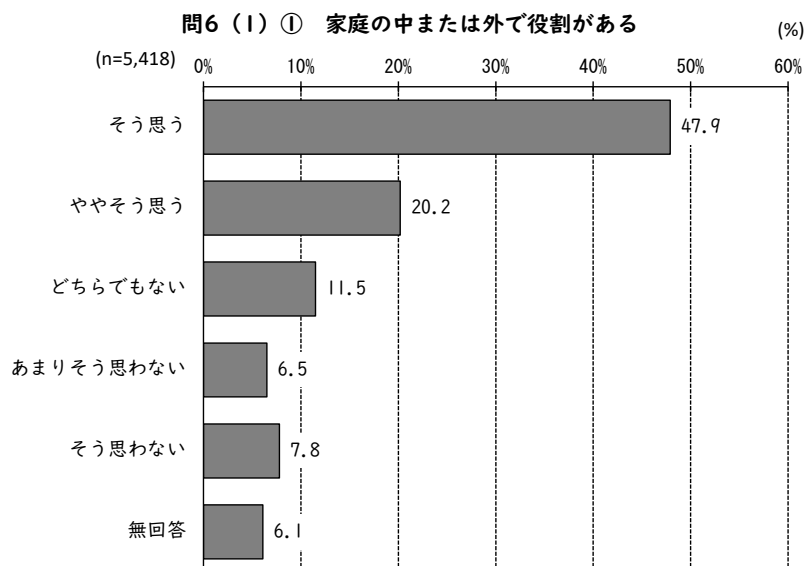
●対象者区分別



問6 あなたの考え方について

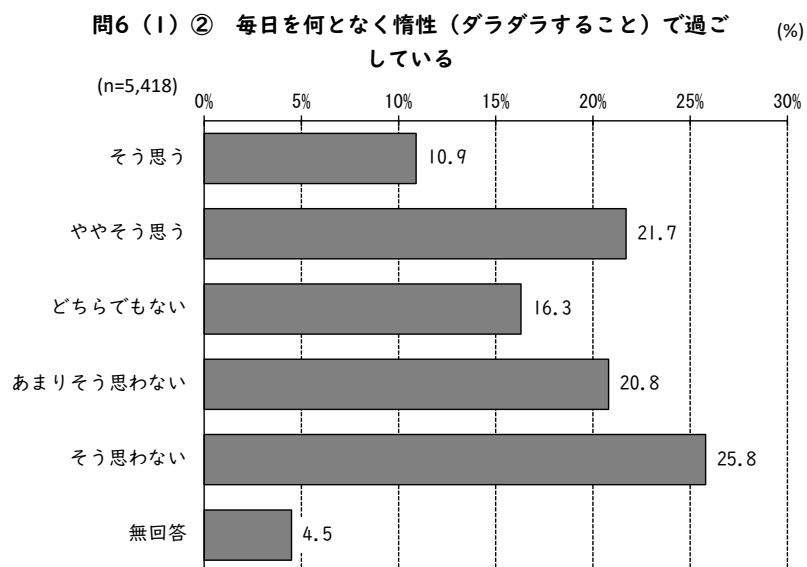
問6（1）① 家庭の中または外で役割がある

家庭の中または外で役割があるかについて、「そう思う」が 47.9%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 20.2%、「どちらでもない」が 11.5%となっています。



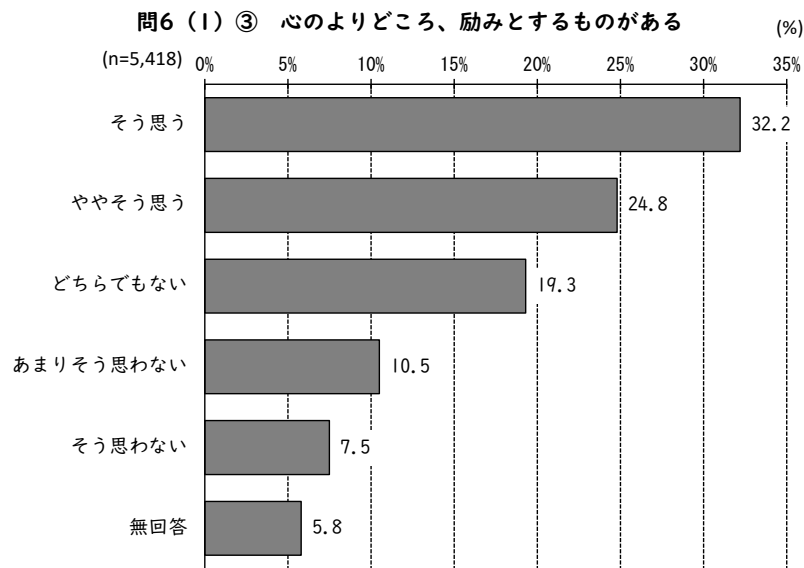
問6（1）② 毎日を何となく惰性（ダラダラすること）で過ごしている

毎日を何となく惰性で過ごしているかについて、「そう思わない」が 25.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 21.7%、「あまりそう思わない」が 20.8%となっています。



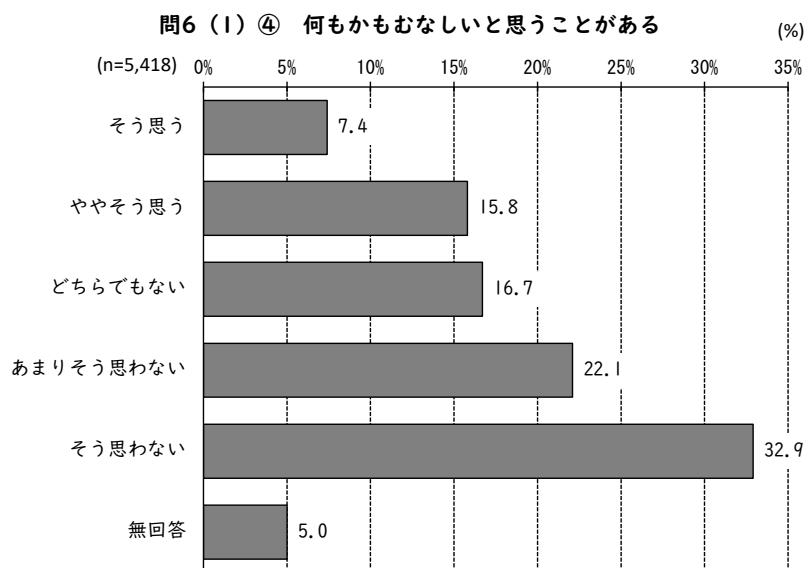
問6（1）③ 心のよりどころ、励みとするものがある

心のよりどころ、励みとするものがあるかについては、「そう思う」が 32.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 24.8%、「どちらでもない」が 19.3%となっています。



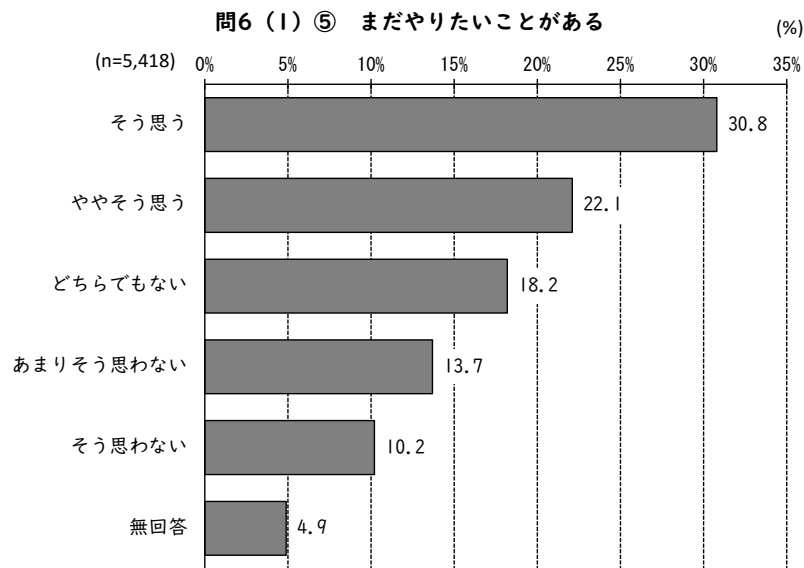
問6（1）④ 何もかもむなしと思うことがある

何もかもむなしとおもうことがあるかについては、「そう思わない」が 32.9%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 22.1%、「どちらでもない」が 16.7%となっています。



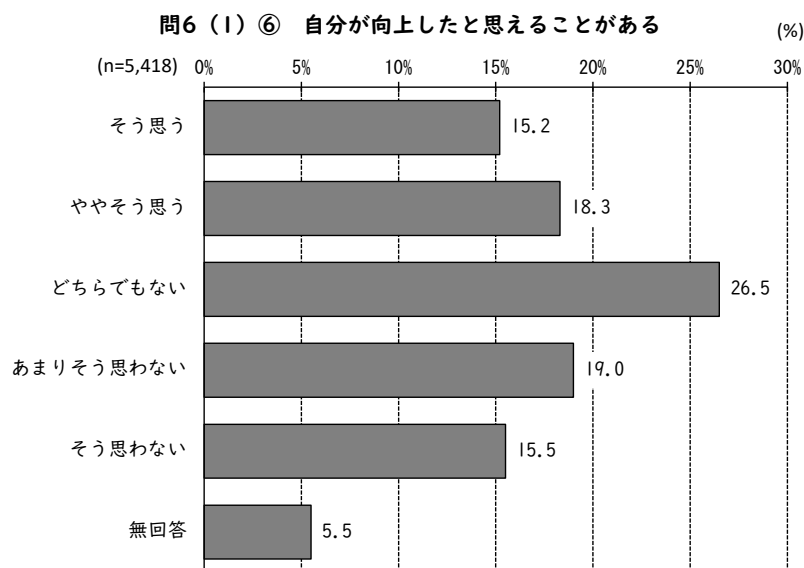
問6（1）⑤ まだやりたいことがある

まだやりたいことがあるかについては、「そう思う」が 30.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 22.1%、「どちらでもない」が 18.2%となっています。



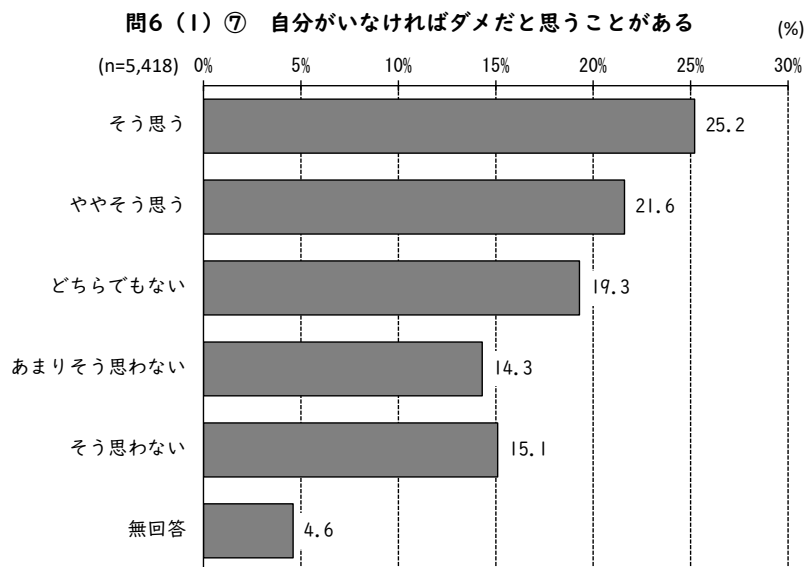
問6（1）⑥ 自分が向上したと思えることがある

自分が向上したと思えることがあるかについては、「どちらでもない」が 26.5%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 19.0%、「ややそう思う」が 18.3%となっています。



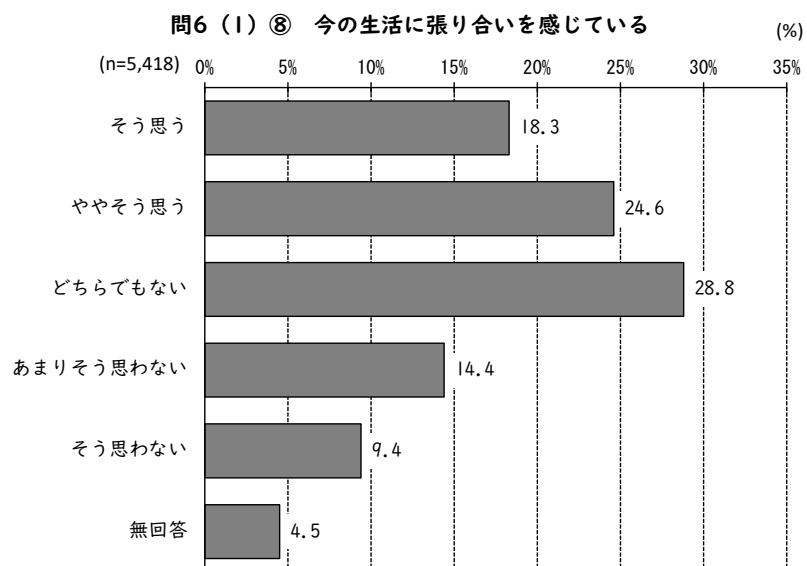
問6（1）⑦ 自分がいなければダメだと思うことがある

自分がいなければダメだと思うことがあるかについては、「そう思う」が 25.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 21.6%、「どちらでもない」が 19.3%となっています。



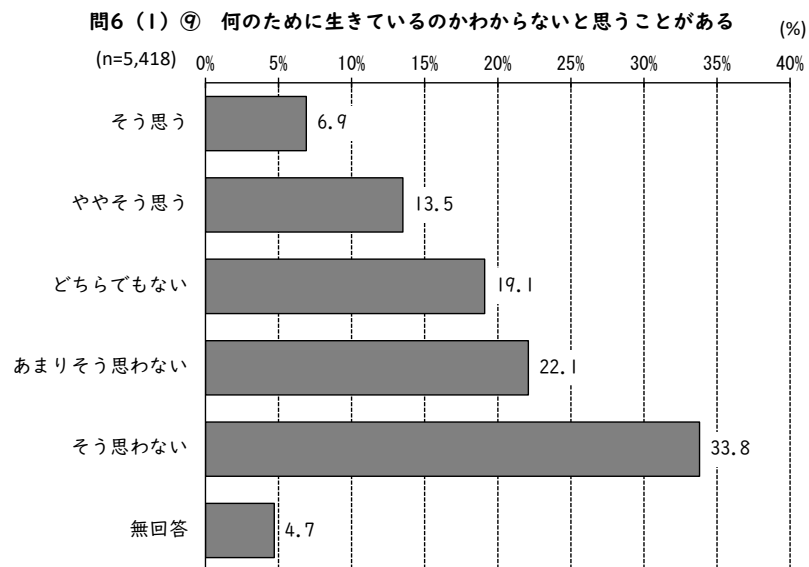
問6（1）⑧ 今の生活に張り合いを感じている

今の生活に張り合いを感じているかについては、「どちらでもない」が 28.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 24.6%、「そう思う」が 18.3%となっています。



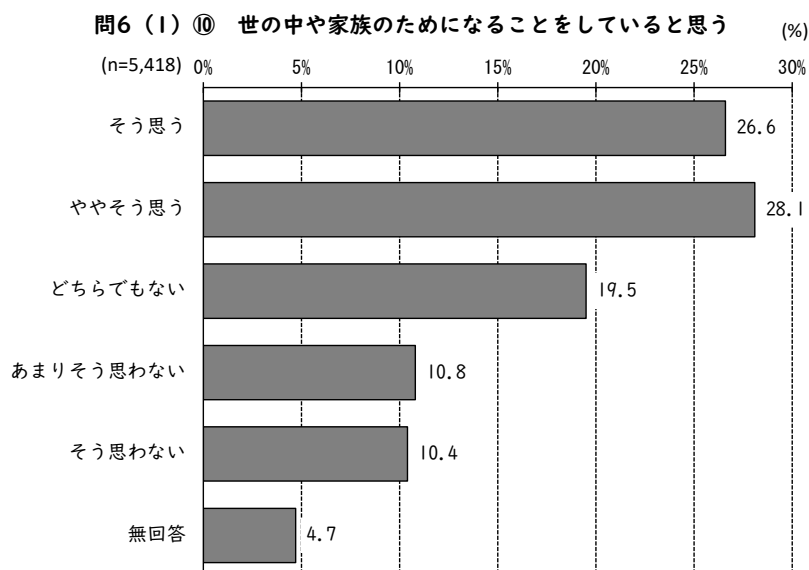
問6（1）⑨ 何のために生きているのかわからないと思うことがある

何のために生きているのかわからないと思うことがあるかについては、「そう思わない」が 33.8%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 22.1%、「どちらでもない」が 19.1%となっています。



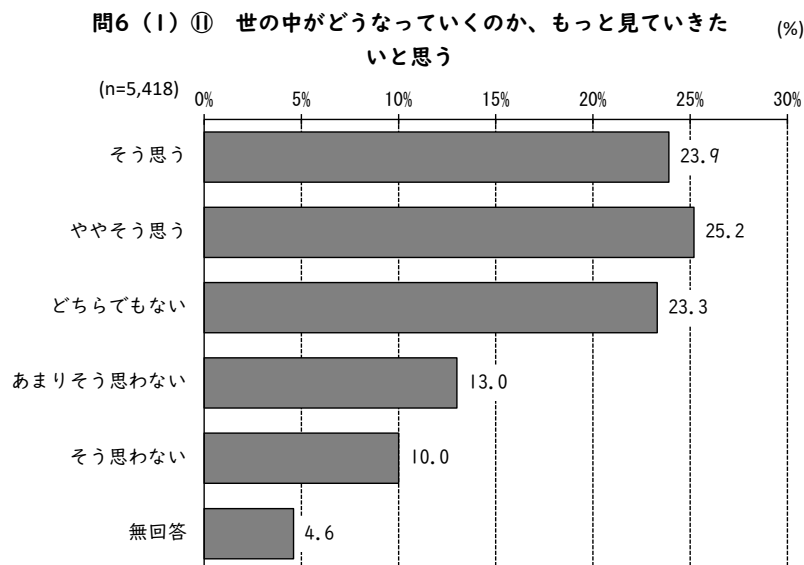
問6（1）⑩ 世の中や家族のためになることをしていると思う

世の中や家族のためになることをしていると思うかについては、「ややそう思う」が 28.1%で最も多く、次いで「そう思う」が 26.6%、「どちらでもない」が 19.5%となっています。



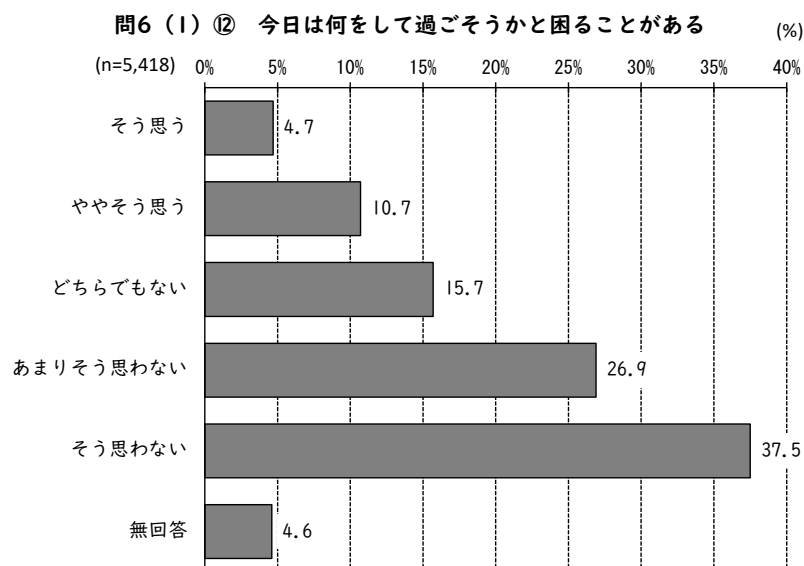
問6（1）⑪ 世の中がどうなっていくのか、もっと見ていきたいと思う

世の中がどうなっていくのか、もっと見ていきたいと思うかについては、「ややそう思う」が 25.2%で最も多く、次いで「そう思う」が 23.9%、「どちらでもない」が 23.3%となっています。



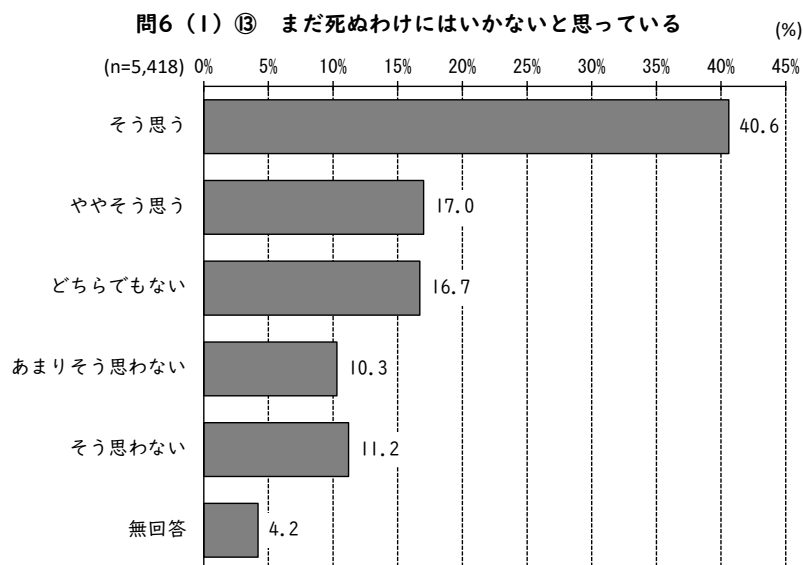
問6（1）⑫ 今日は何をして過ごそうかと困ることがある

今日は何をして過ごそうかと困ることがあるかについては、「そう思わない」が 37.5%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 26.9%、「どちらでもない」が 15.7%となっています。



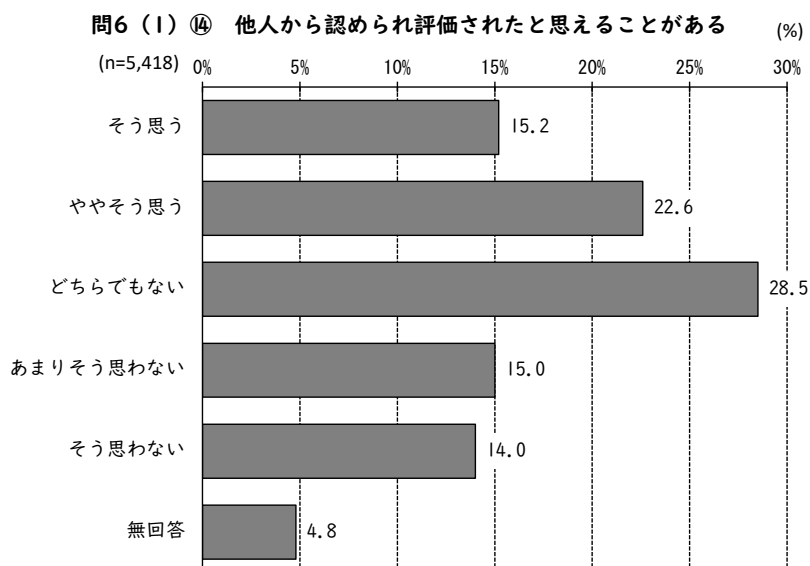
問6（1）⑬ まだ死ぬわけにはいかないと思っている

まだ死ぬわけにはいかないと思っているかについては、「そう思う」が 40.6%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 17.0%、「どちらでもない」が 16.7%となっています。



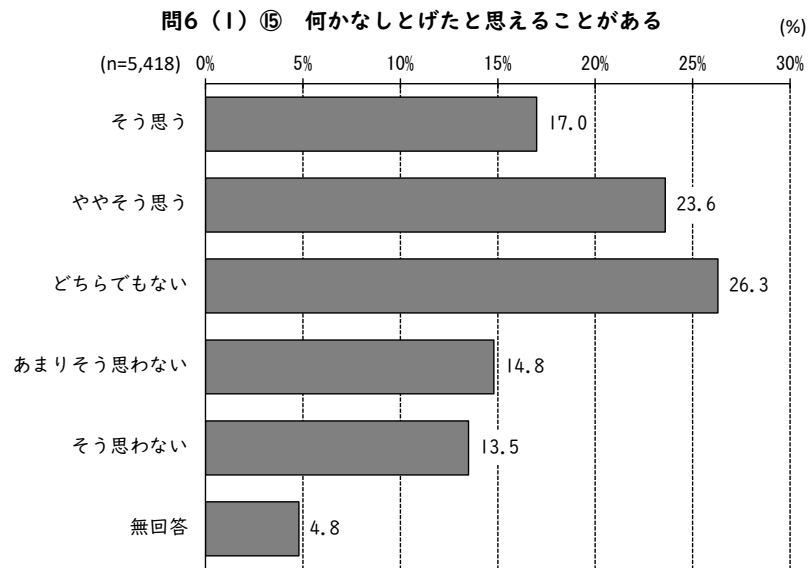
問6（1）⑭ 他人から認められ評価されたと思えることがある

他人から認められ評価されたと思えることがあるかについては、「どちらでもない」が 28.5%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 22.6%、「そう思う」が 15.2%となっています。



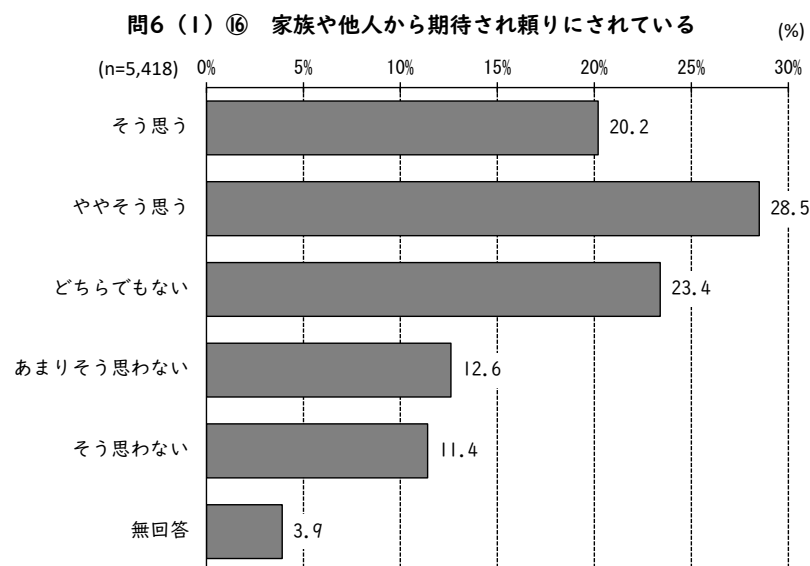
問6（1）⑮ 何かなしとげたと思えることがある

何かなしとげたと思えることがあるかについては、「どちらでもない」が26.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」が23.6%、「そう思う」が17.0%となっています。



問6（1）⑯ 家族や他人から期待され頼りにされている

家族や他人から期待され頼りにされているかについては、「ややそう思う」が28.5%で最も多く、次いで「どちらでもない」が23.4%、「そう思う」が20.2%となっています。



生きがい感点数

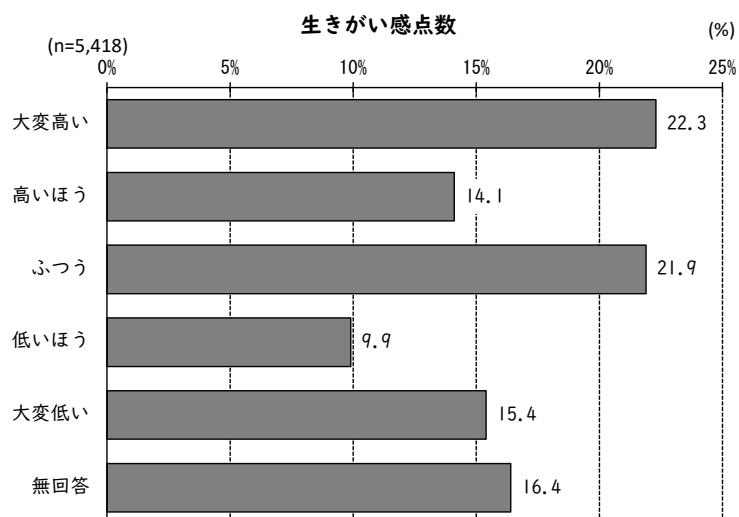
「生きがい感点数」は、生きがい感をはかる項目で、高齢者向け生きがい感スケール（K-1 式）を使用しています。

高齢者向け生きがい感スケール（K-1 式）とは、近藤勉氏（近畿医療福祉大学福祉学部教授）が作成した高齢者の生きがい感を測る尺度¹で、高齢者の生きがい感を「なにごとにも目的をもって意欲的であり、人の役に立つ存在との自覚をもって生きていく張り合い意識。またなにか向上した、人に認めてもらっていると思えるときにも感じられる意識」と定義し、「私には家庭の内または外で役割がある」、「私は家族や他人から期待され、頼りにされている」など計 16 項目の質問に対する回答を点数化して、その合計で生きがい感の高低を測ります。

本調査では、問 6 の 16 問を上記 16 項目の質問として設計しています。16 問の設問項目に対して、「そう思う」「ややそう思う」を 2 点、「どちらでもない」を 1 点、「あまりそう思わない」「そう思わない」を 0 点と点数化し、各項目の点数を合計した結果、32～28 点を「大変高い」、27～24 点を「高いほう」、23～17 点を「ふつう」、16～13 点を「低いほう」、12 点～0 点を「大変低い」としています。なお、「② 毎日を何となく惰性（ダラダラすること）で過ごしている」「④ 何もかもむなしと思うことがある」「⑨ 何のために生きているのかわからないと思うことがある」「⑫ 今日は何をして過ごそうかと困ることがある」の 4 項目は逆転項目となっており、「そう思う」「ややそう思う」を 0 点、「どちらでもない」を 1 点、「あまりそう思わない」「そう思わない」を 2 点としています。

本項目では、問 6 の 16 項目を生きがい感点数として集計した結果となります。

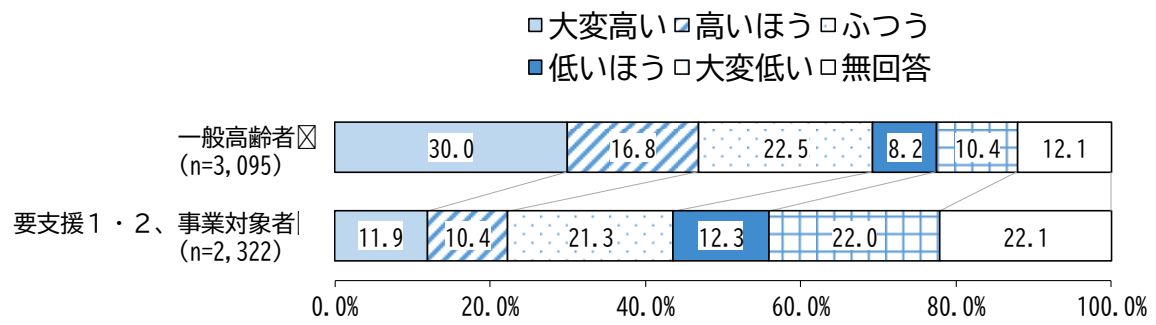
生きがい感点数について、「大変高い」が 22.3%で最も多く、次いで「ふつう」が 21.9%、「大変低い」が 15.4%となっています。



¹（参考文献）

「高齢者向け生きがい感スケール（K-1 式）の作成および生きがい感の定義」, 社会福祉学第 43 巻第 2 号 93-101（2003 年）, 近藤勉・鎌田次郎

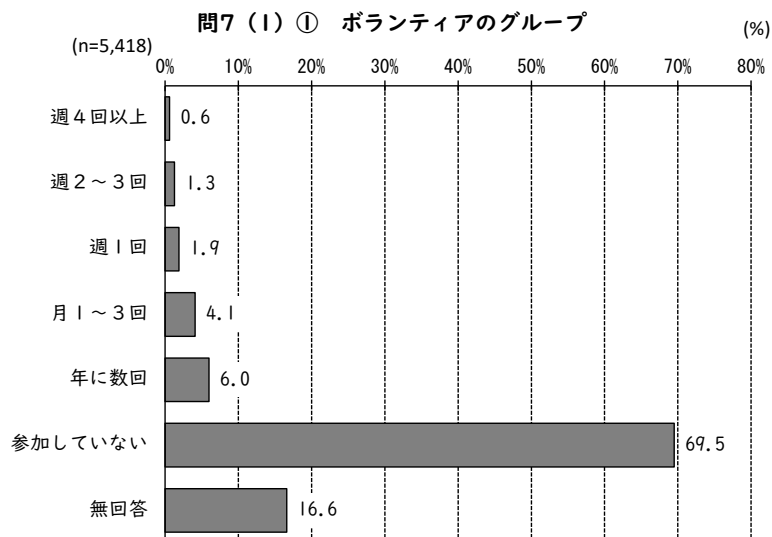
●対象者区分別



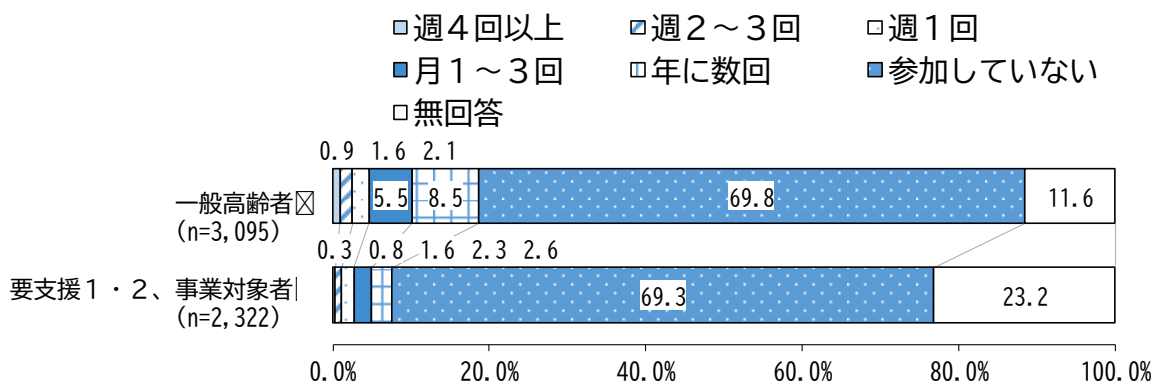
問7 地域での活動について

問7（1）① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加頻度は、「参加していない」が69.5%で最も多く、次いで「年に数回」が6.0%、「月1～3回」が4.1%となっています。

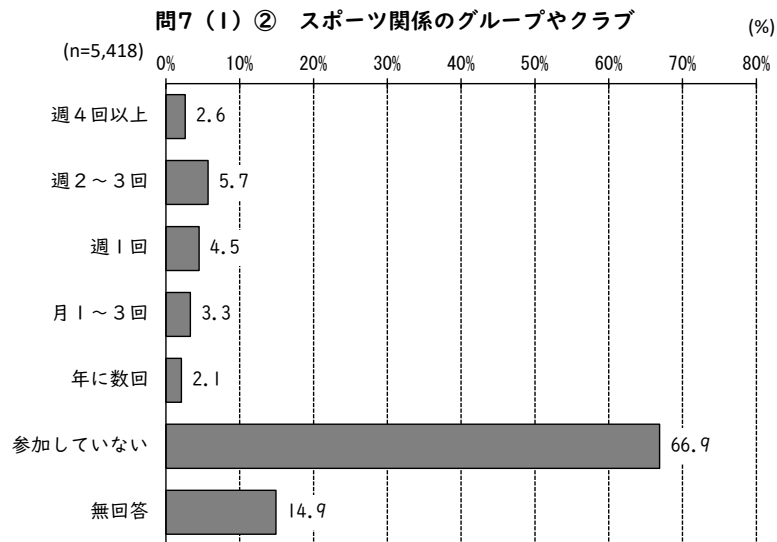


●対象者区分別

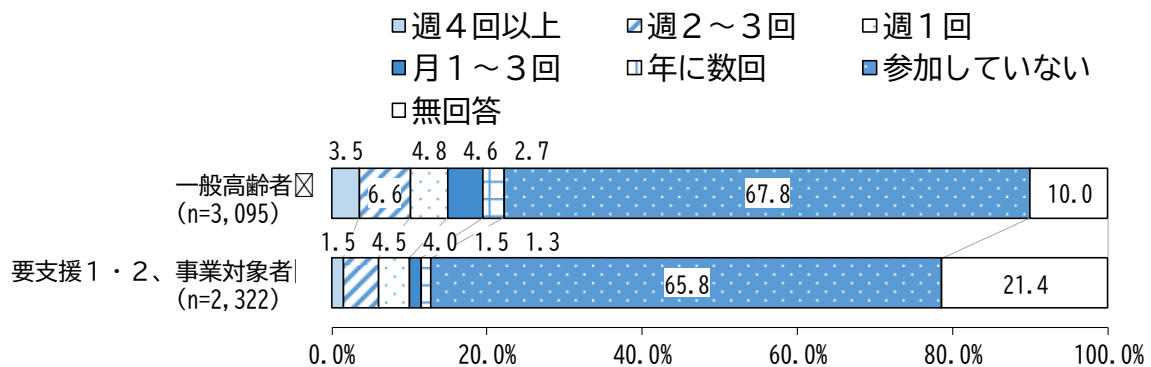


問7（1）② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度は、「参加していない」が66.9%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.7%、「週1回」が4.5%となっています。

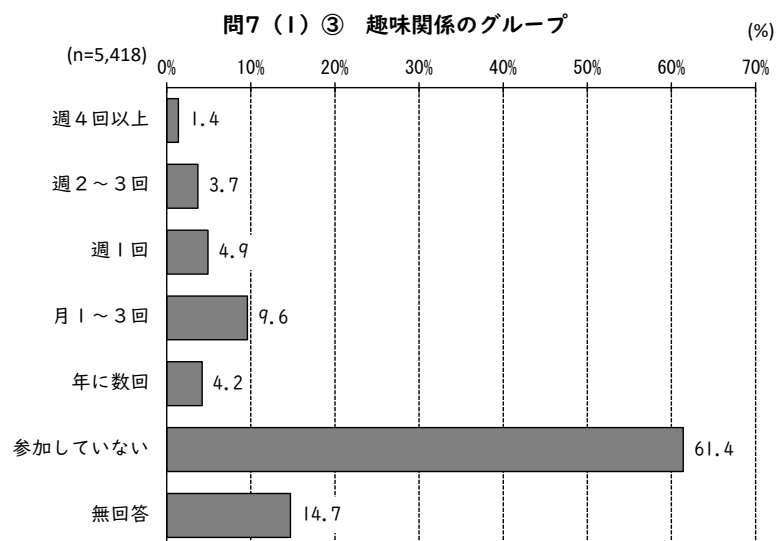


●対象者区分別

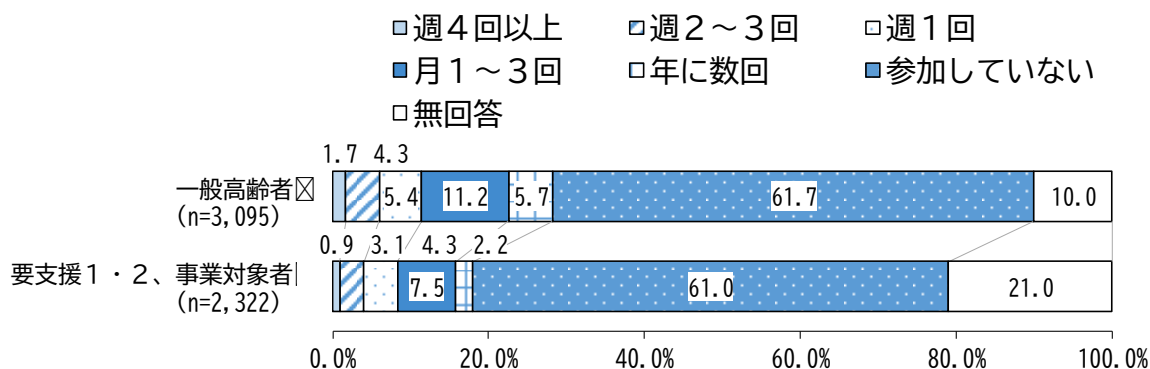


問7(1)③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度は、「参加していない」が61.4%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.6%、「週1回」が4.9%となっています。

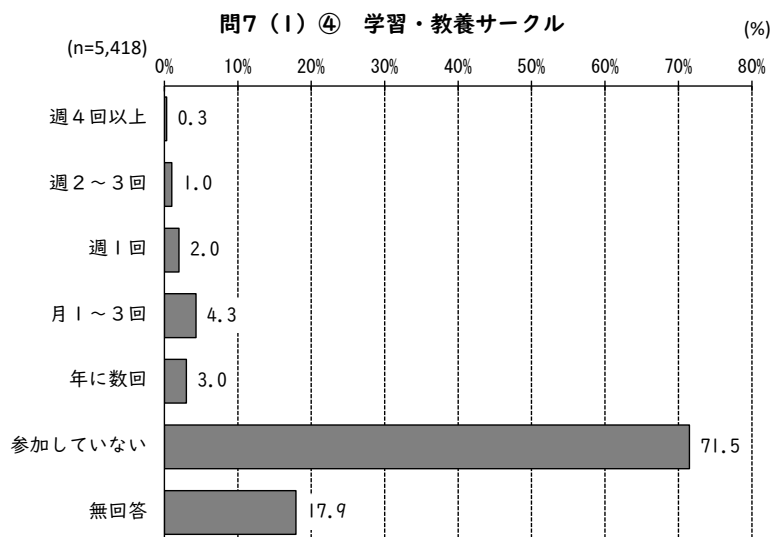


●対象者区分別

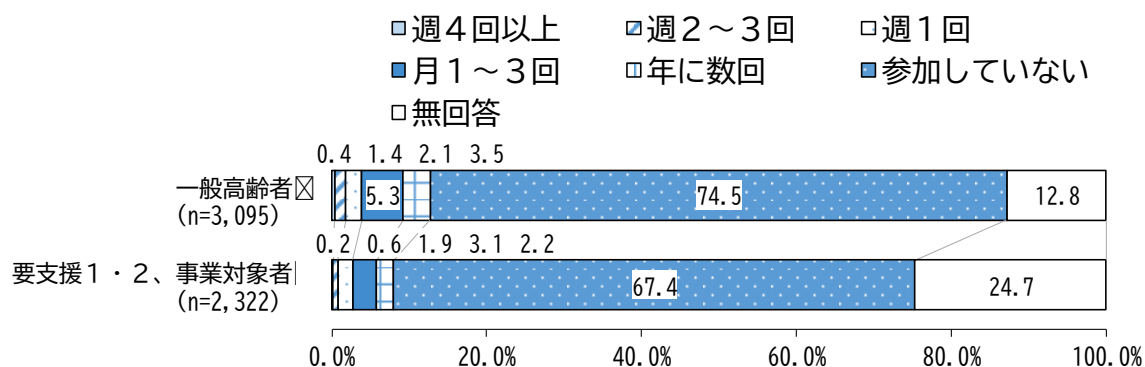


問7(1)④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加頻度は、「参加していない」が71.5%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.3%、「年に数回」が3.0%となっています。

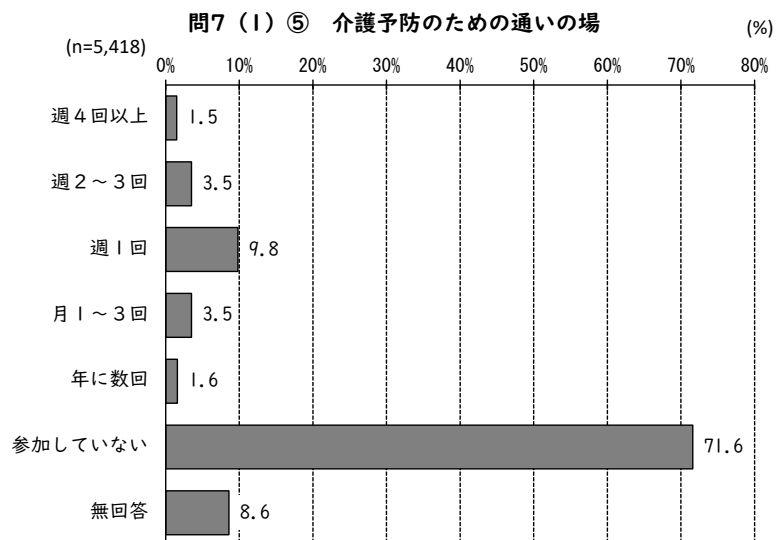


●対象者区分別

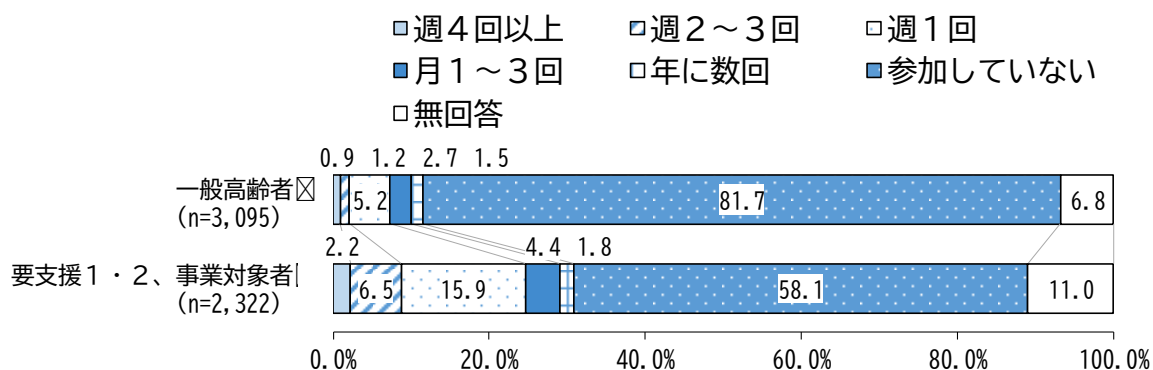


問7（1）⑤ 介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場への参加頻度は、「参加していない」が71.6%で最も多く、次いで「週1回」が9.8%、「週2～3回」「月1～3回」が3.5%となっています。

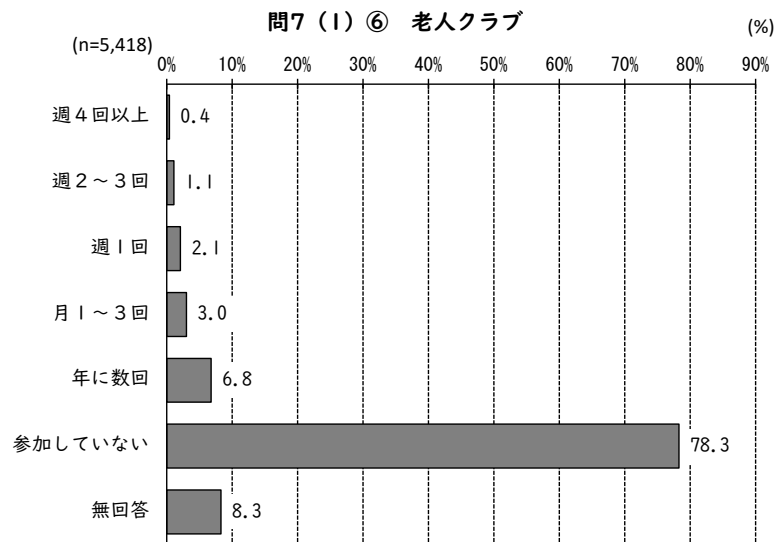


●対象者区分別

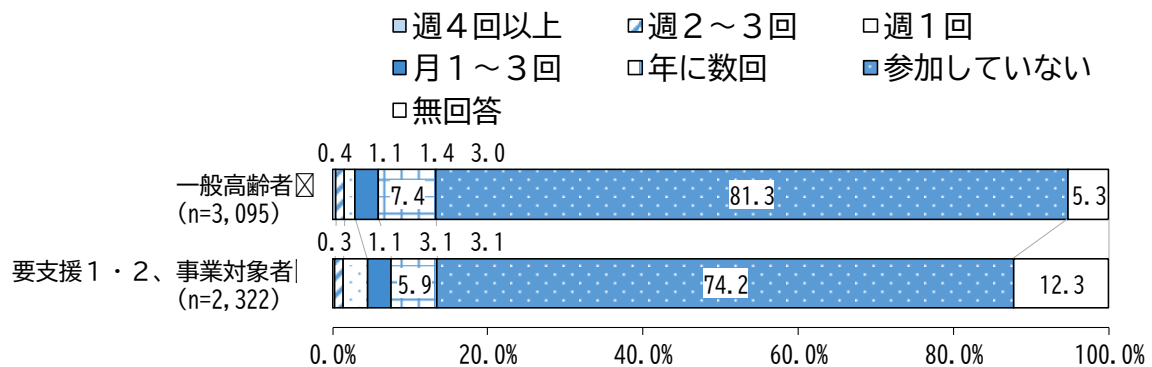


問7（1）⑥ 老人クラブ

老人クラブへの参加頻度は、「参加していない」が78.3%で最も多く、次いで「年に数回」が6.8%、「月1～3回」が3.0%となっています。

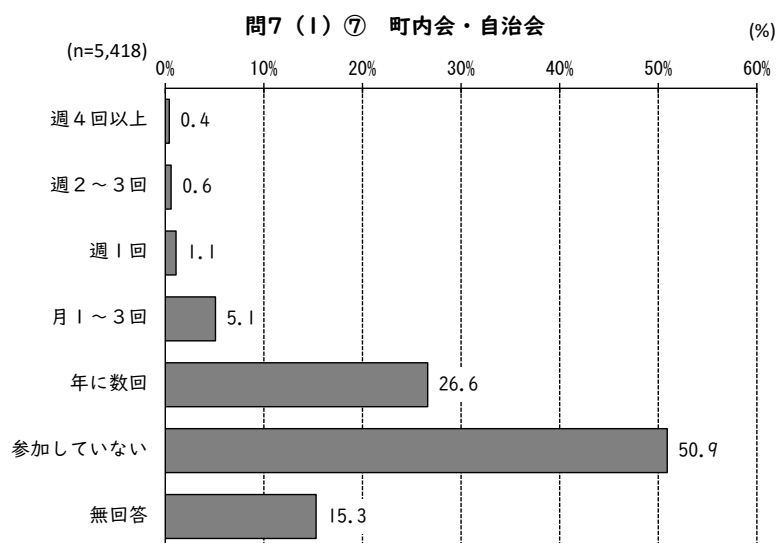


●対象者区分別

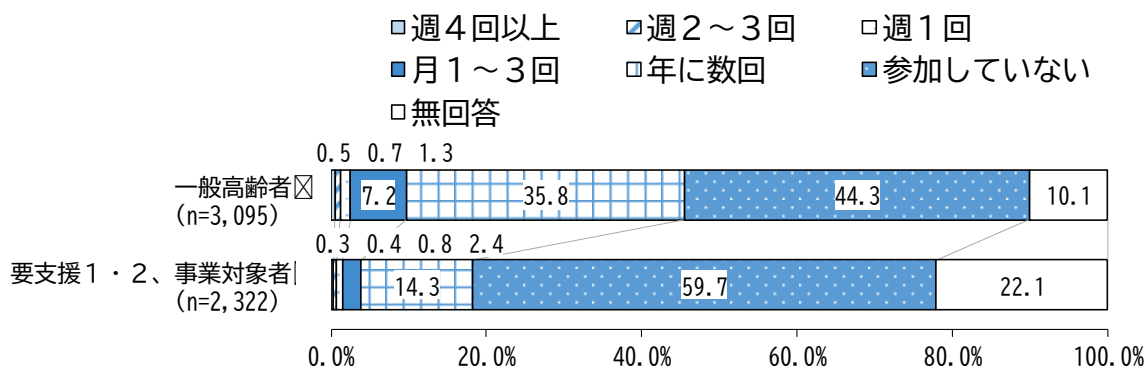


問7(1)⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会への参加頻度は、「参加していない」が50.9%で最も多く、次いで「年に数回」が26.6%、「月1～3回」が5.1%となっています。

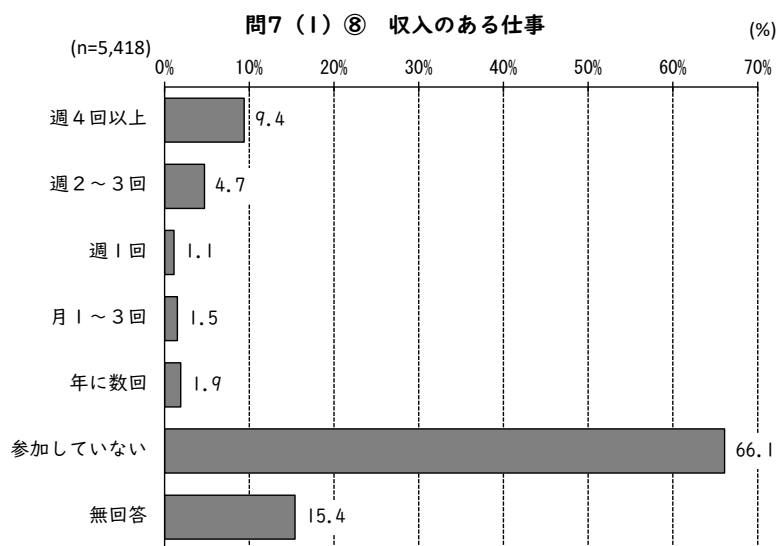


●対象者区分別

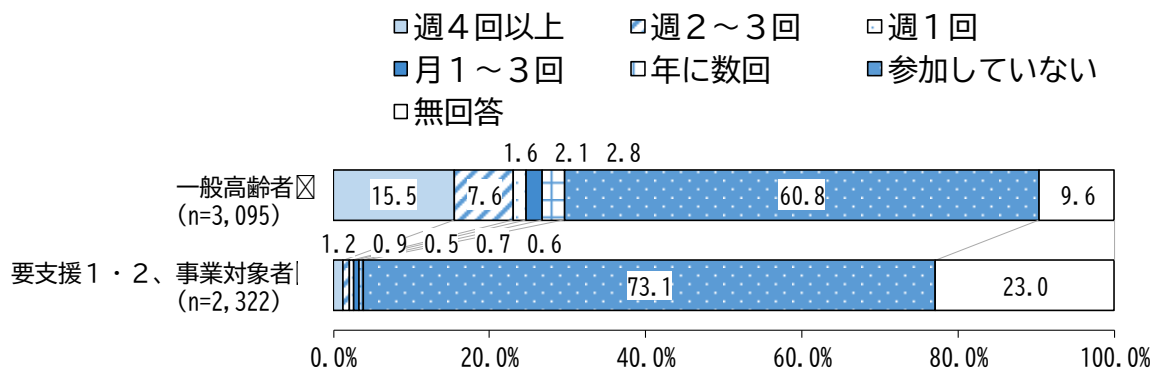


問7(1)⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加頻度は、「参加していない」が66.1%で最も多く、次いで「週4回以上」が9.4%、「週2～3回」が4.7%となっています。



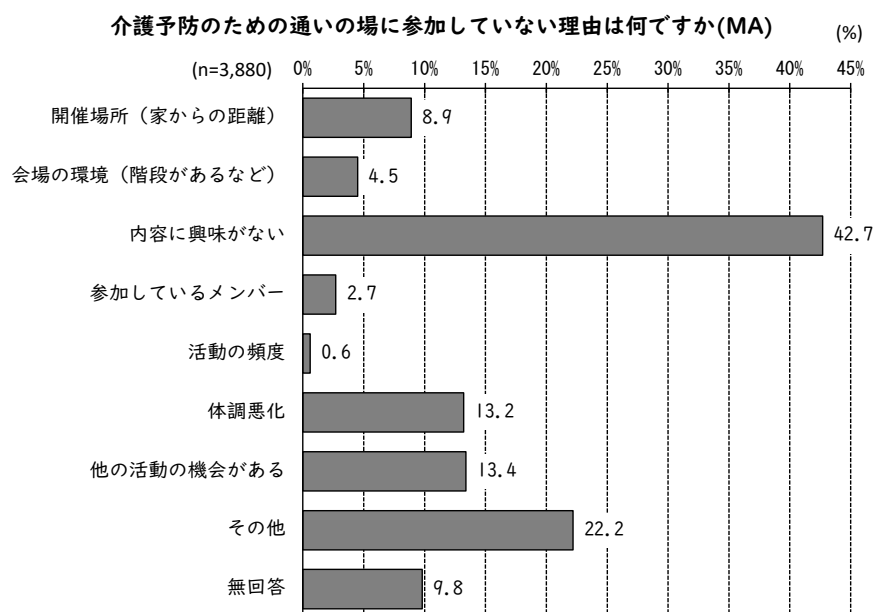
●対象者区分別



【問7（1）付問 ⑤介護予防のための通いの場に「6 参加していない」方のみ】

介護予防のための通いの場に参加していない理由は何ですか（複数回答）

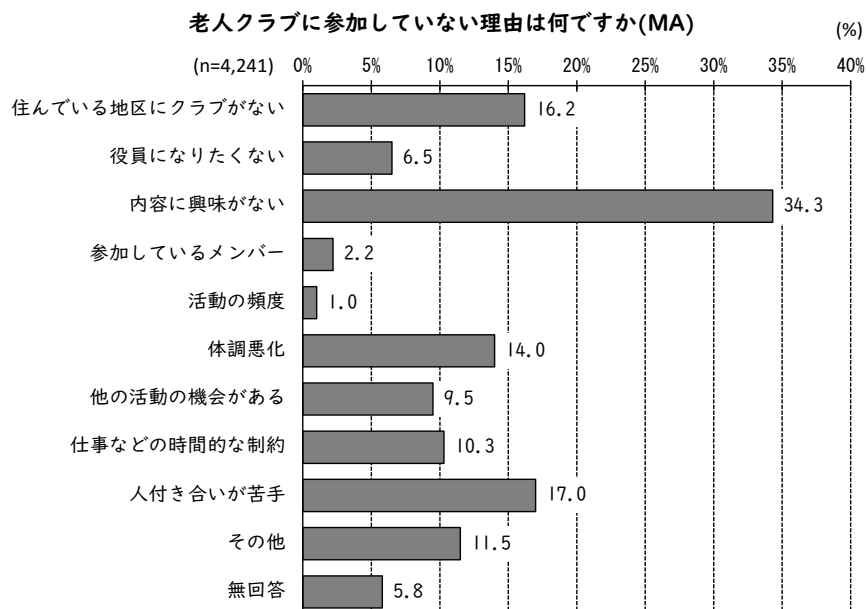
介護予防のための通いの場に参加していない理由は、「内容に興味が無い」が 42.7%で最も多く、次いで「他の活動の機会がある」が 13.4%となっています。



【問7（1）付問 ⑥老人クラブに「6 参加していない」方のみ】

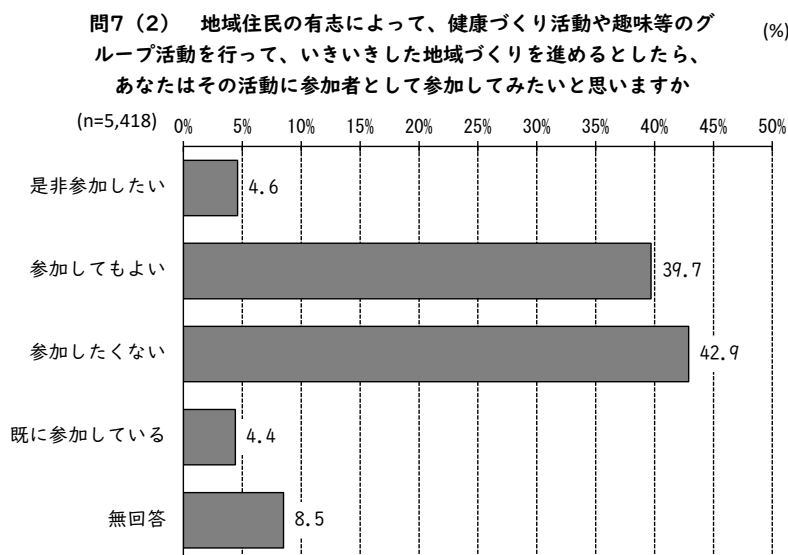
老人クラブに参加していない理由は何ですか（複数回答）

老人クラブに参加していない理由は、「内容に興味が無い」が 34.3%で最も多く、次いで「人付き合いが苦手」が 17.0%、「住んでいる地区にクラブがない」が 16.2%となっています。

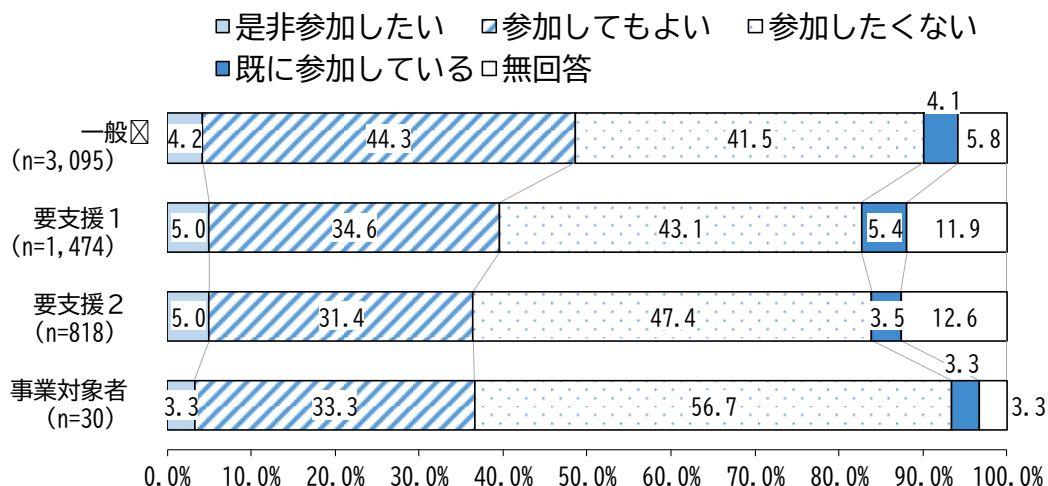


問7（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

地域住民の有志によって健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかについて、「参加したくない」が 42.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 39.7%、「是非参加したい」が 4.6%となっています。

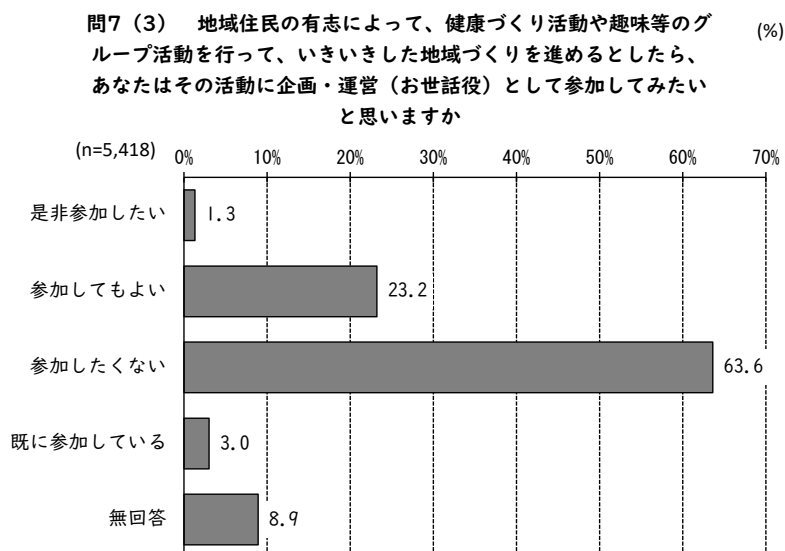


●対象者区分（詳細）別

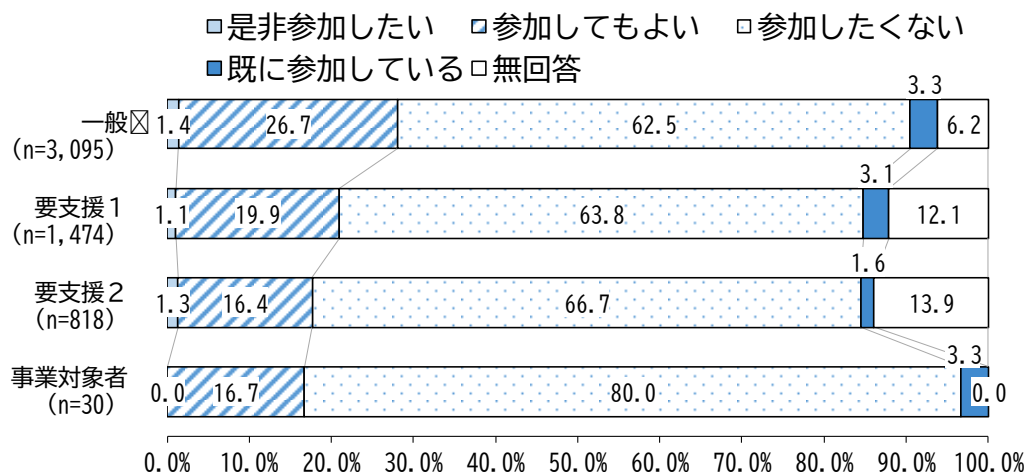


問7（3） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいかについて、「参加したくない」が 63.6%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 23.2%、「既に参加している」が 3.0%となっています。



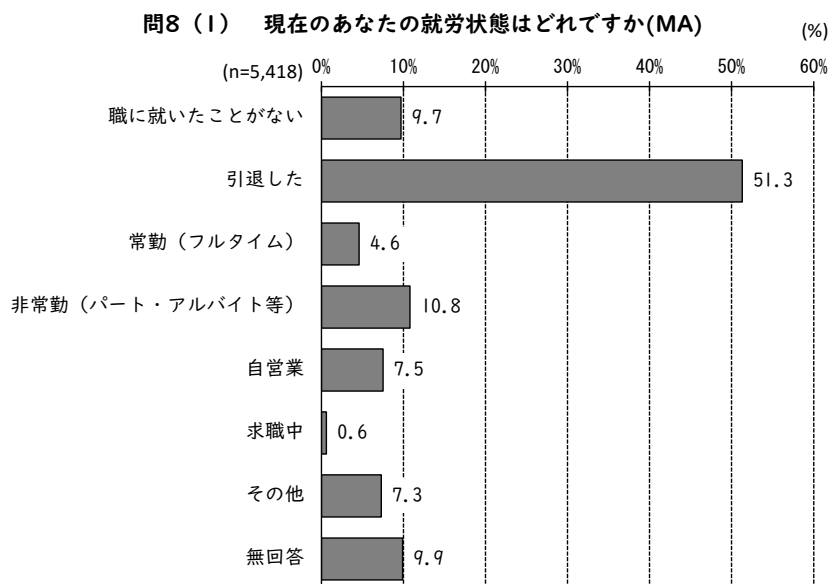
●対象者区分（詳細）別



問8 就労について

問8（1） 現在のあなたの就労状態はどれですか（複数回答）

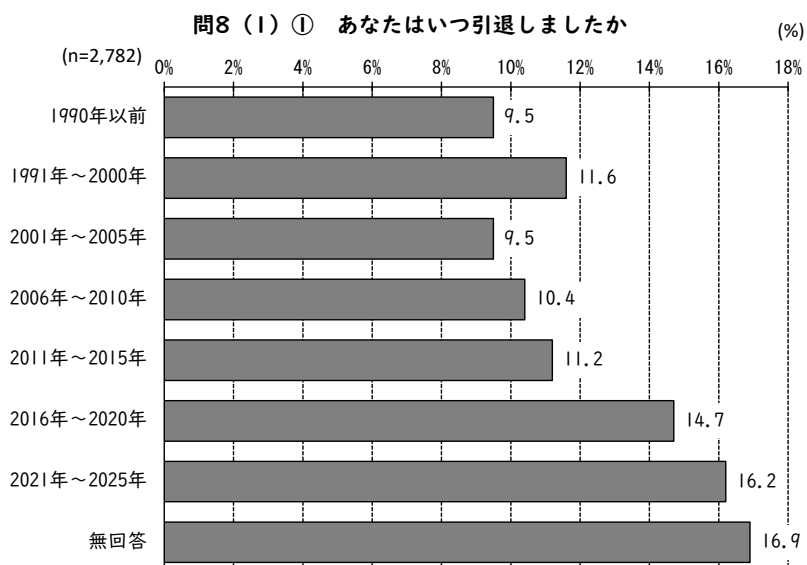
現在の就労状態として、「引退した」が 51.3%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 10.8%、「職に就いたことがない」が 9.7%となっています。



【（1）において「2. 引退した」の方のみ】

問8（1）① あなたはいつ引退しましたか

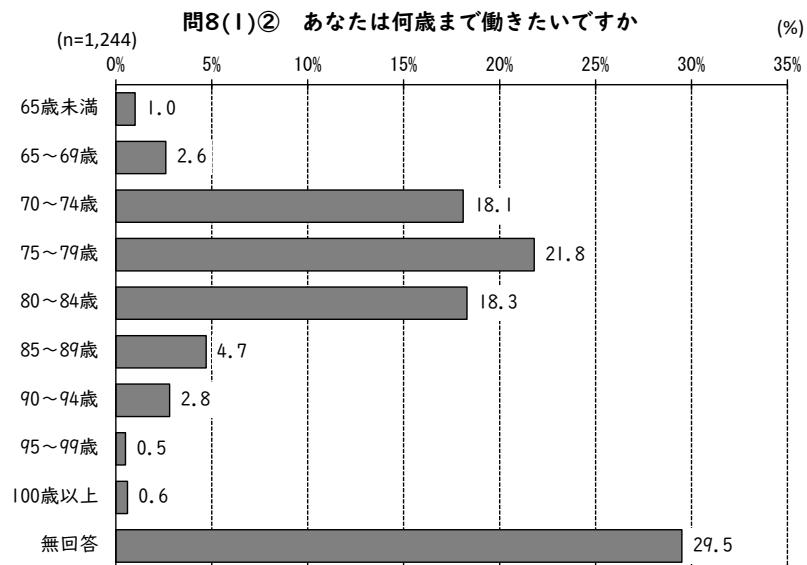
引退した時期について、「2021年～2025年」が 16.2%と最も多く、「2016年～2020年」が 14.7%となっています。



【(1) において「3. 常勤」、「4. 非常勤」、「5. 自営業」、「6. 休職中」の方】

問8(1)② あなたは何歳まで働きたいですか

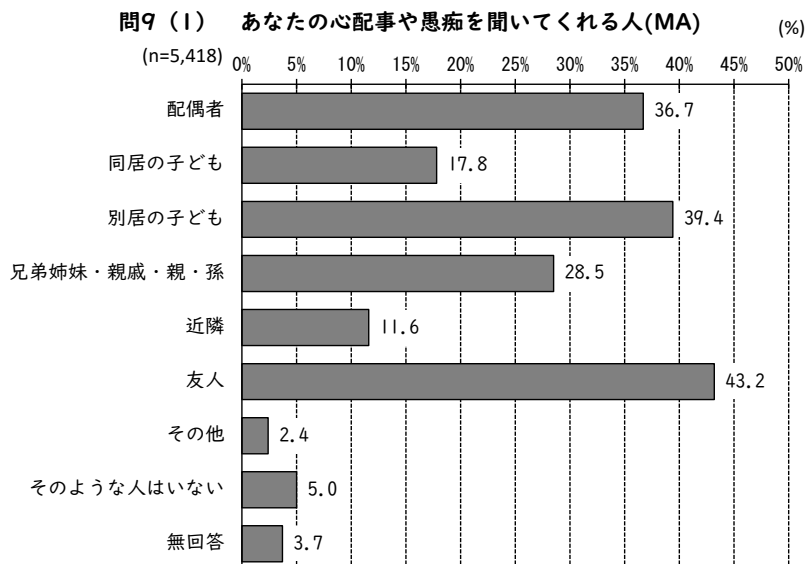
何歳まで働きたいかについて、「75～79 歳」が 21.8%で最も多く、次いで「80～84 歳」が 18.3%、「70～74 歳」が 18.1%となっています。



問9 たすけあいについて

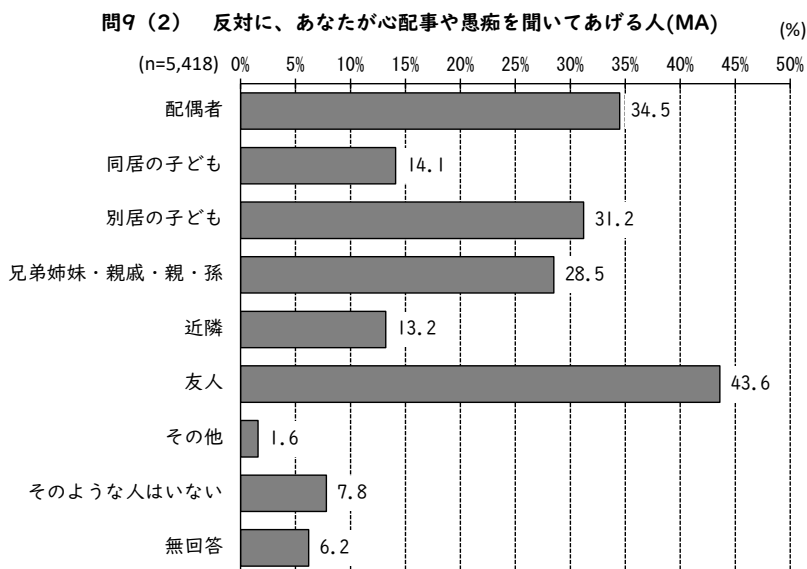
問9（1） あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「友人」が 43.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 39.4%、「配偶者」が 36.7%となっています。



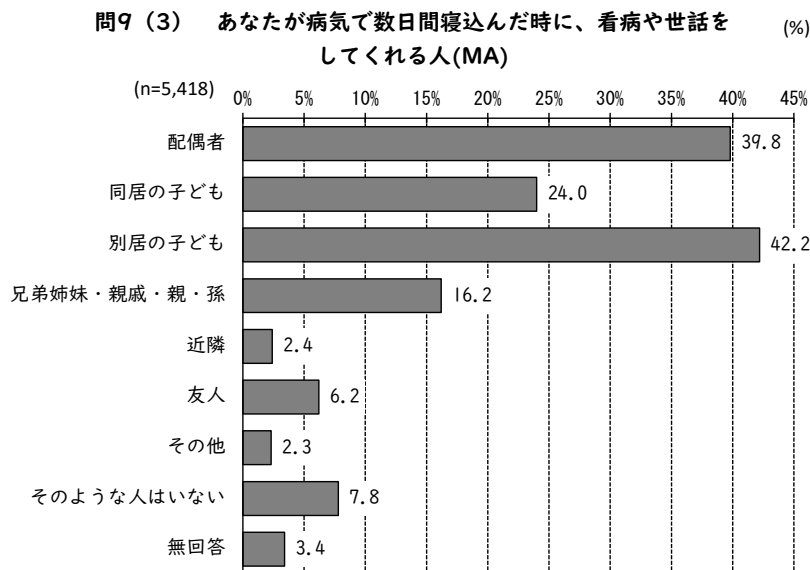
問9（2） 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が 43.6%で最も多く、次いで「配偶者」が 34.5%、「別居の子ども」が 31.2%となっています。



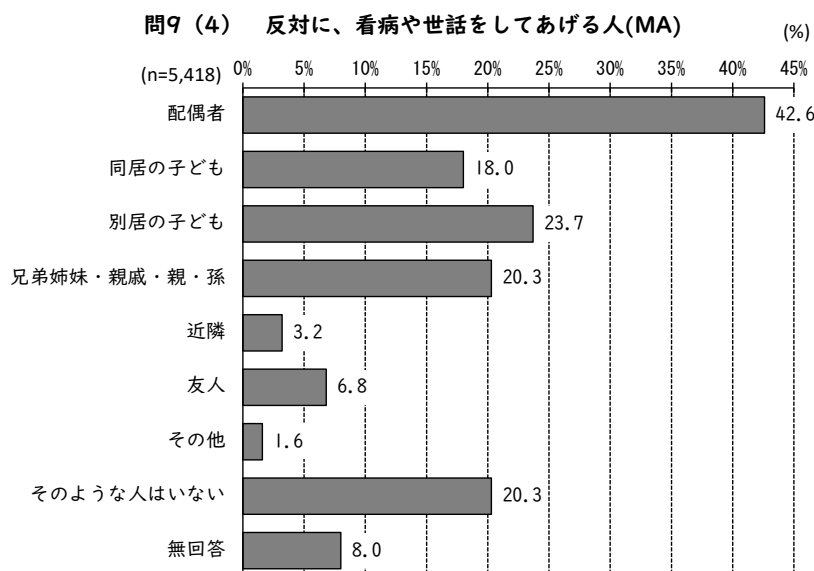
問9（3） あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人について、「別居の子ども」が42.2%で最も多く、次いで「配偶者」が39.8%、「同居の子ども」が24.0%となっています。



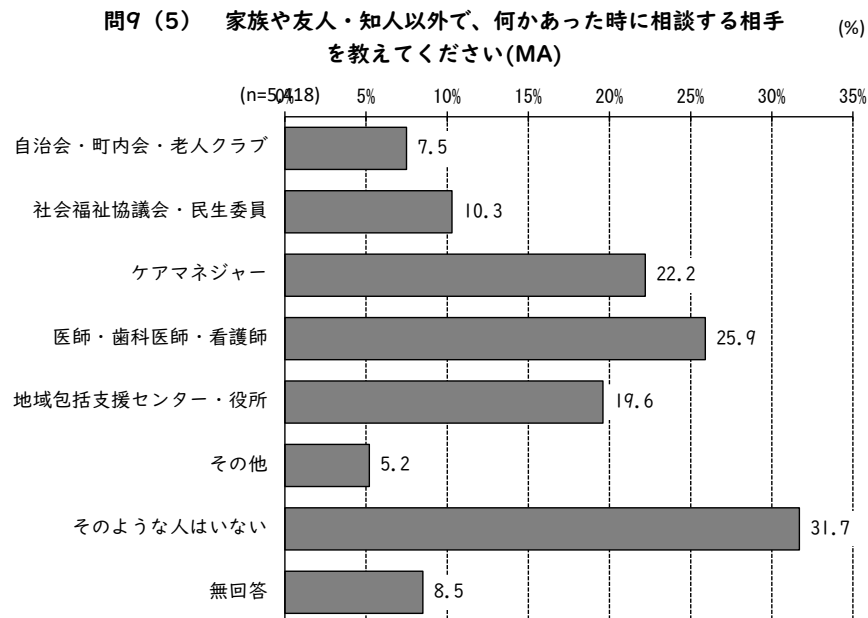
問9（4） 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数回答）

反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が42.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が23.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「そのような人はいない」が20.3%となっています。



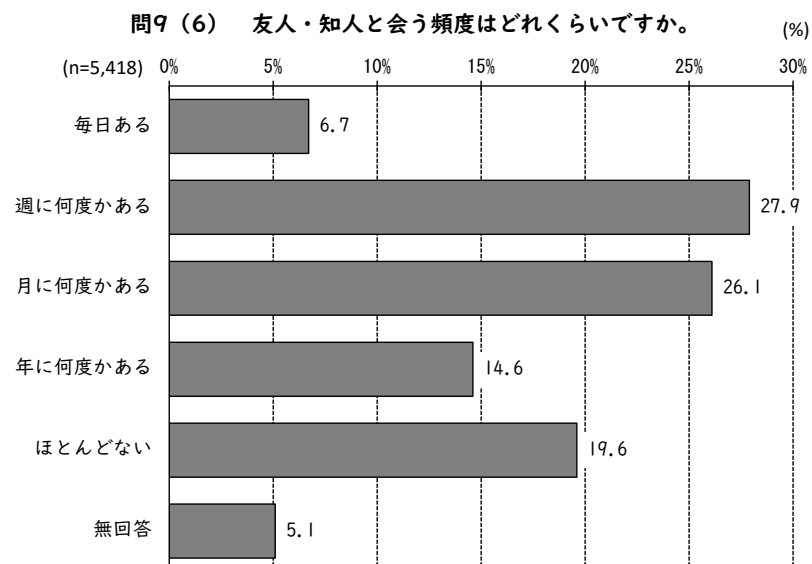
問9（5） 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください （複数回答）

家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手について、「そのような人はいない」が31.7%で最も多くなっています。相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が25.9%、「ケアマネジャー」が22.2%、「地域包括支援センター・役所」が19.6%となっています。



問9（6） 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

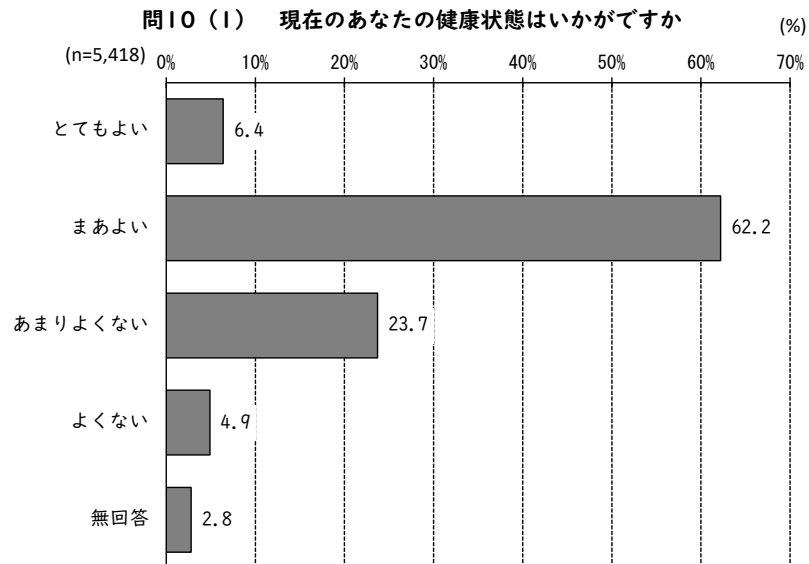
友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が27.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が26.1%、「ほとんどない」が19.6%となっています。



問10 健康について

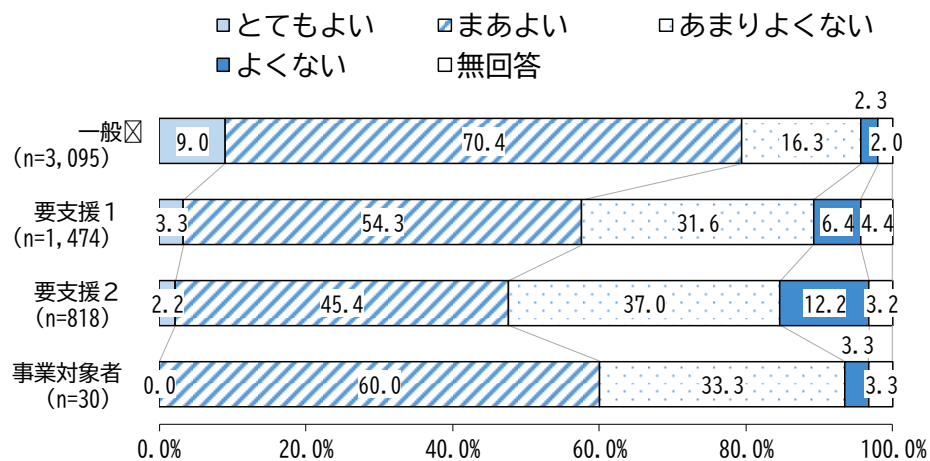
問10（1） 現在のあなたの健康状態はいかがですか

健康状態について、「まあよい」が62.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が23.7%、「とてもよい」が6.4%となっています。



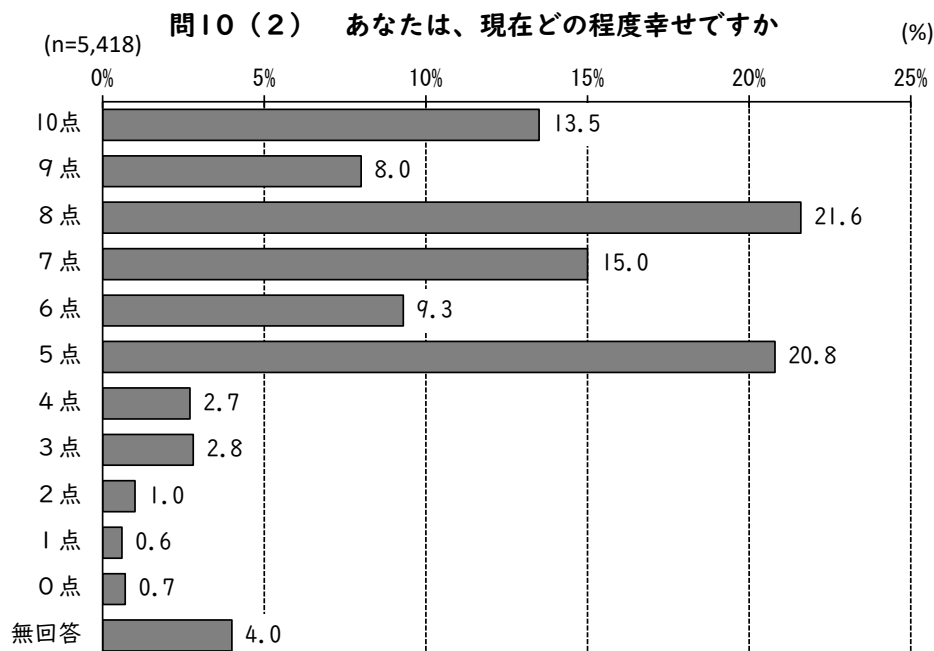
●対象者区分（詳細）別

一般では、「とてもよい」が9.0%、「まあよい」が70.4%と、他と比べてよい傾向でした。



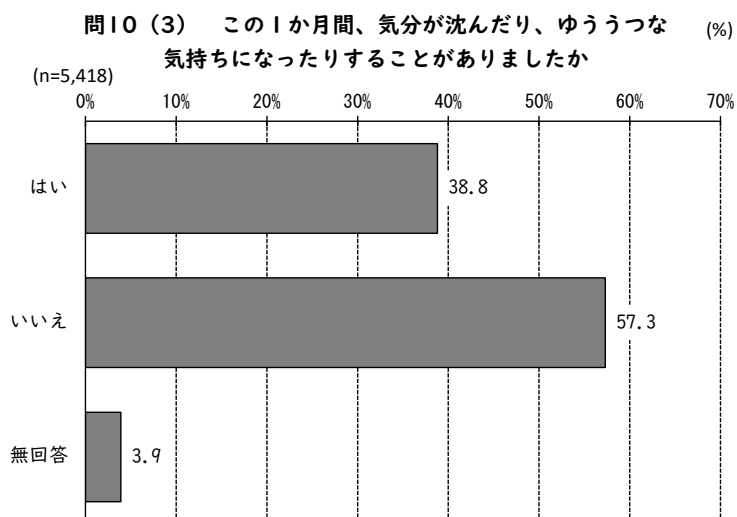
問10（2） あなたは、現在どの程度幸せですか（幸福度）

幸福度について、「8点」が21.6%で最も多く、次いで「5点」が20.8%、「7点」が15.0%となっています。



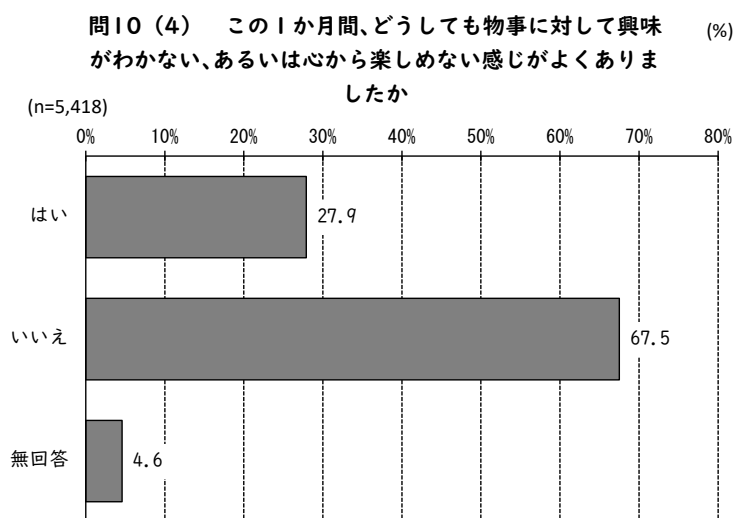
問10（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたかについて、「はい」が38.8%、「いいえ」が57.3%となっています。



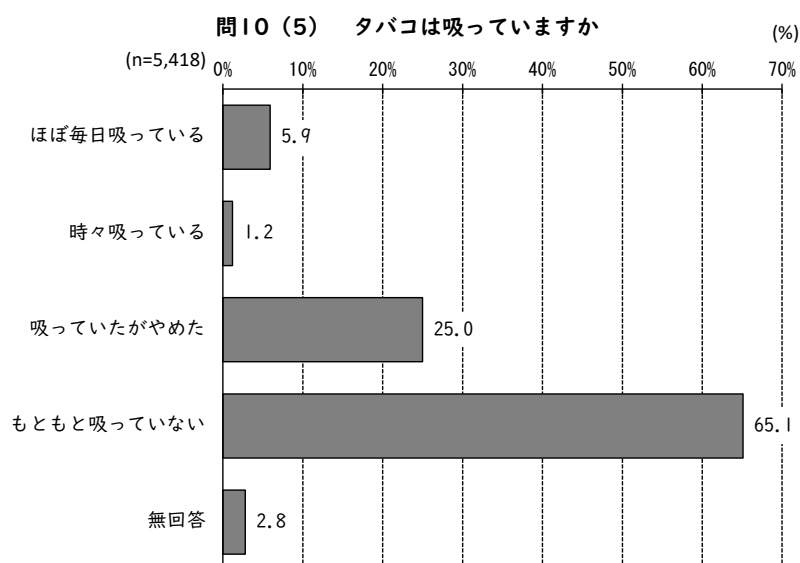
問10（4） この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたかについて、「はい」が27.9%、「いいえ」が67.5%となっています。

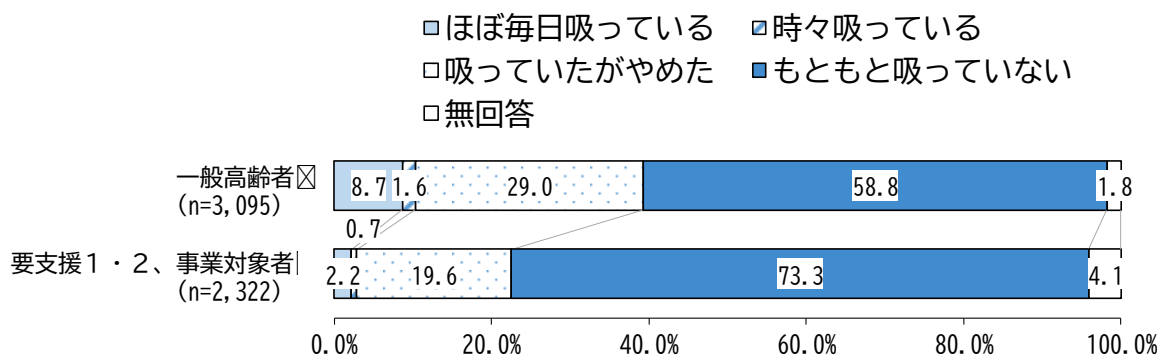


問10（5） タバコは吸っていますか

喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が65.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が25.0%、「ほぼ毎日吸っている」が5.9%となっています。

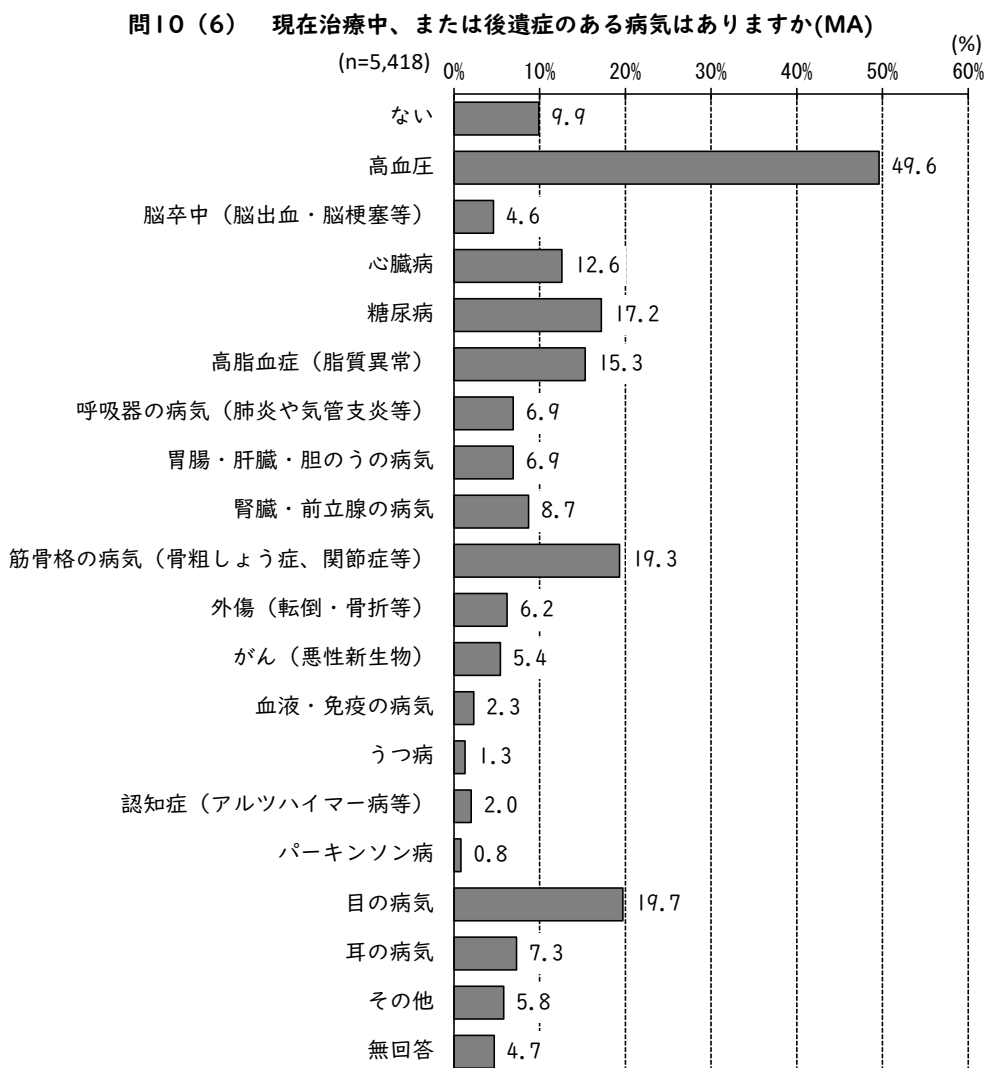


●対象者区分別



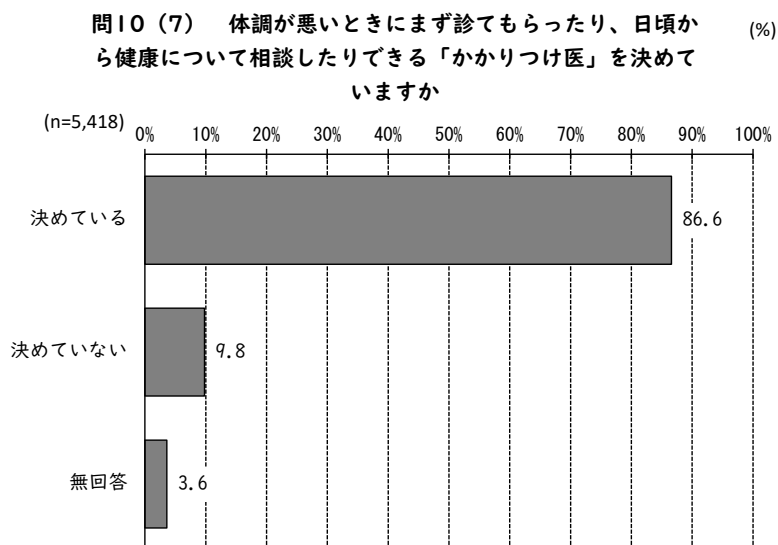
問10（6） 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 49.6%で最も多く、次いで「目の病気」が 19.7%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 19.3%となっています。



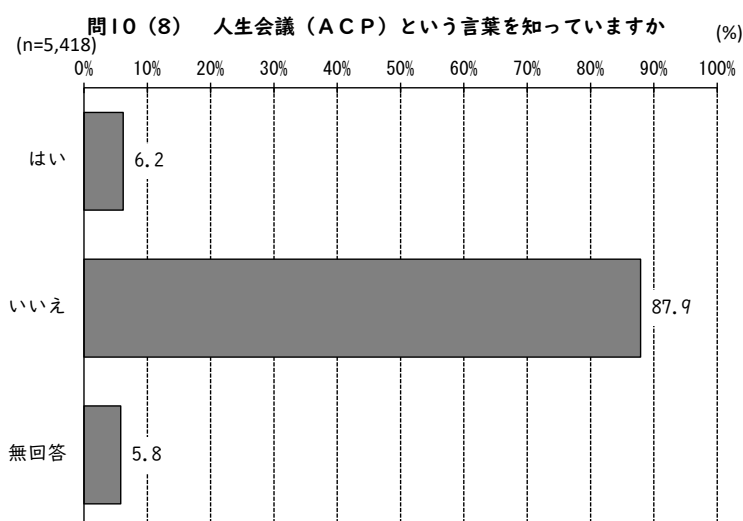
問10（7） 体調が悪いときにまず診てもらったり、日頃から健康について相談したりできる「かかりつけ医」を決めていますか

かかりつけ医を決めているかについて、「決めている」が 86.6%、「決めていない」が 9.8%となっています。



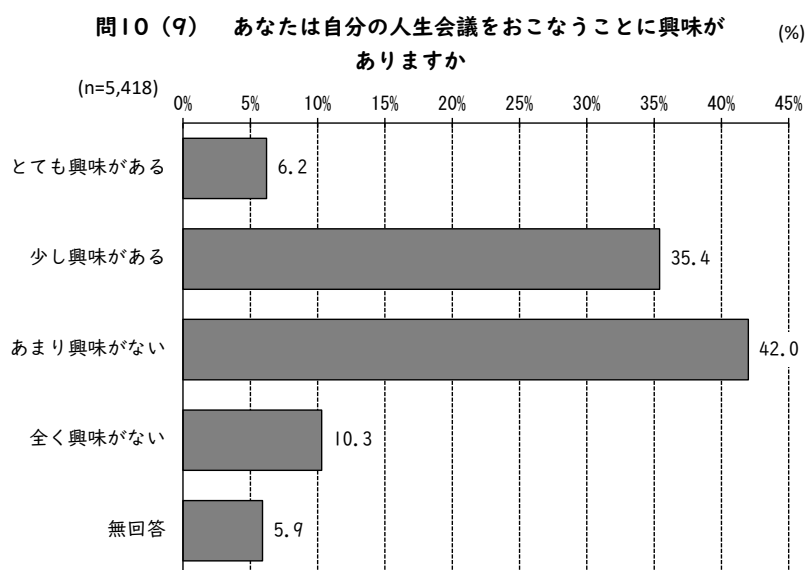
問10（8） 人生会議（ACP）という言葉を知っていますか

人生会議（ACP）という言葉について、知っている人が 6.2%、知らない人が 87.9%となっています。



問10（9） あなたは自分の人生会議をおこなうことに興味がありますか

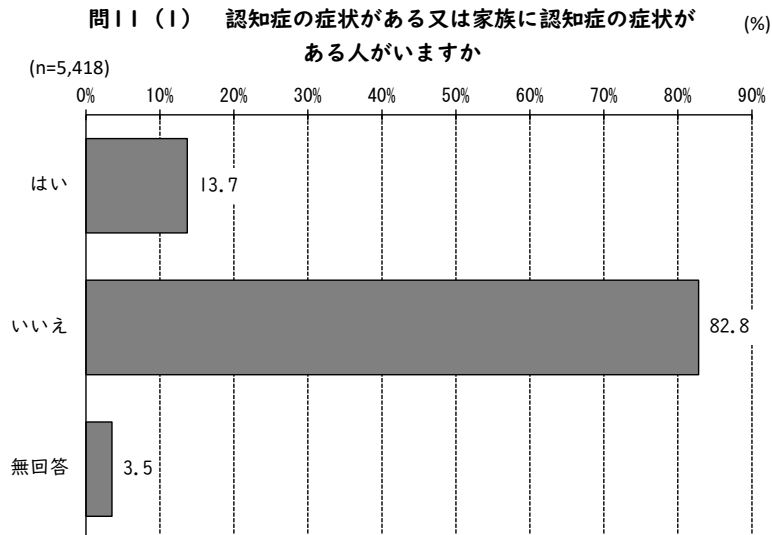
自分の人生会議をおこなうことへの興味について、「あまり興味がない」が 42.0%で最も多く、次いで「少し興味がある」が 35.4%、「全く興味がない」が 10.3%となっています。



問11 認知症について

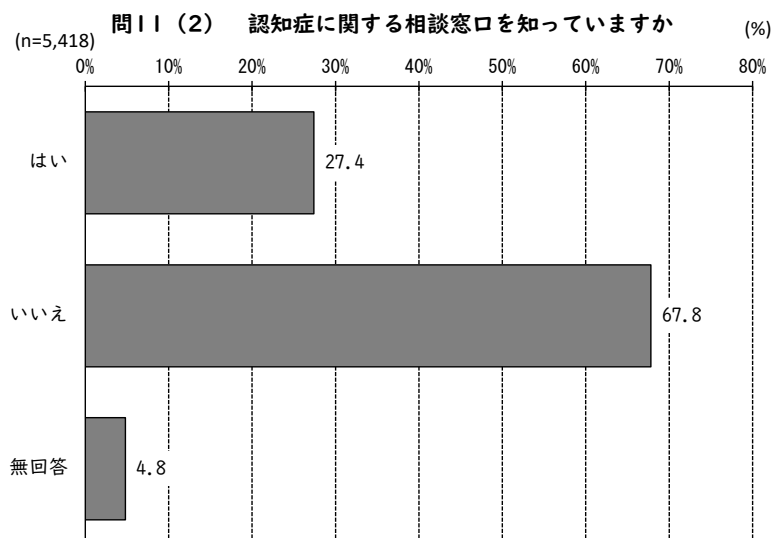
問11（１） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますかについて、「はい」が 13.7%、「いいえ」が 82.8%となっています。



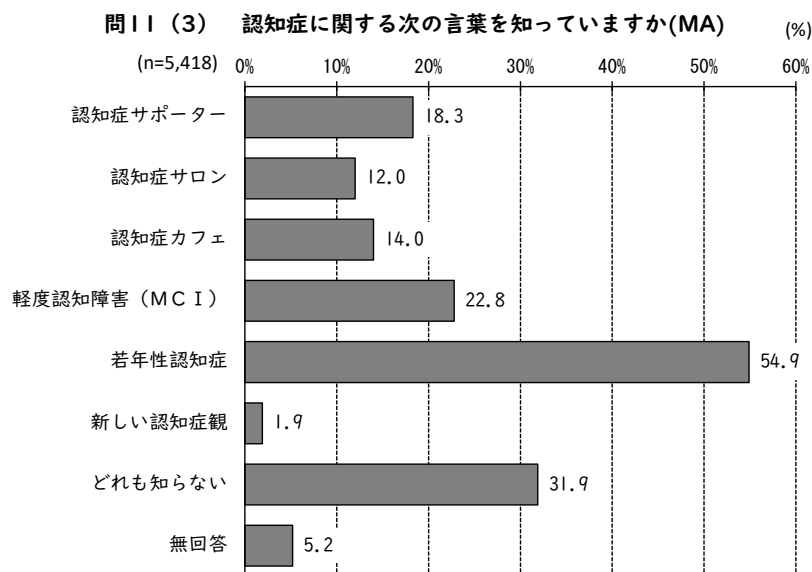
問11（２） 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っていますかについて、「はい」が 27.4%、「いいえ」が 67.8%となっています。



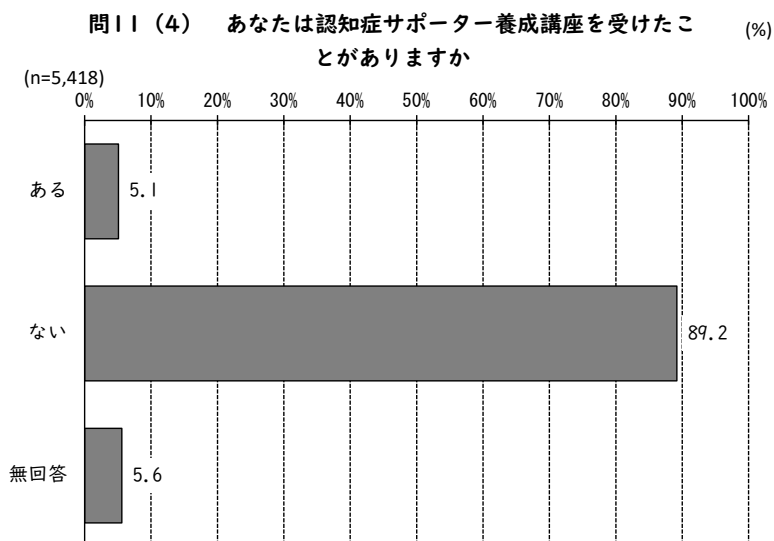
問11（3） 認知症に関する次の言葉を知っていますか（複数回答）

認知症に関して知っている言葉について、「若年性認知症」が 54.9%で最も多く、次いで軽度認知障害（MC I）」が 22.8%、「認知症サポーター」が 18.3%となっています。また、「どれも知らない」は 31.9%となっています。



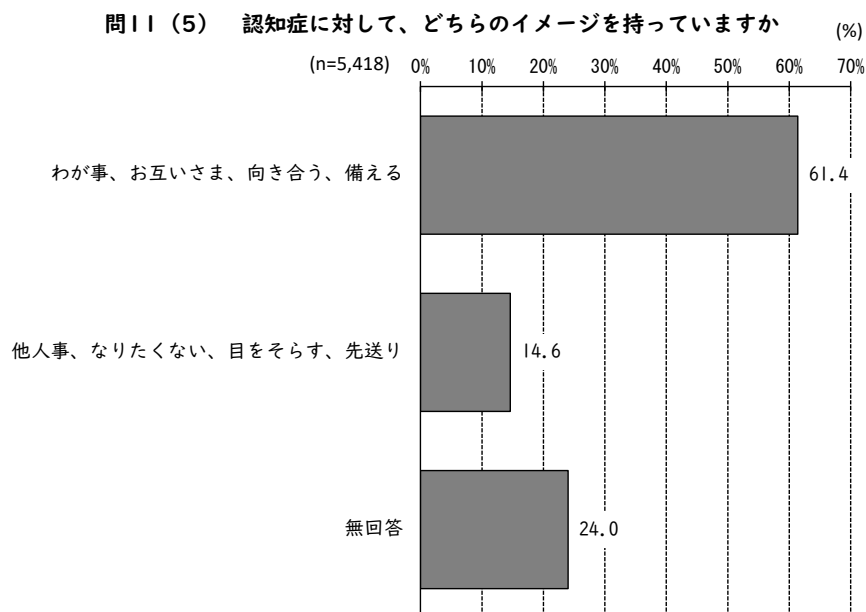
問11（4） あなたは認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか

認知症サポーター養成講座を受けたことが「ある」人は 5.1%で、「ない」人が 89.2%となっています。



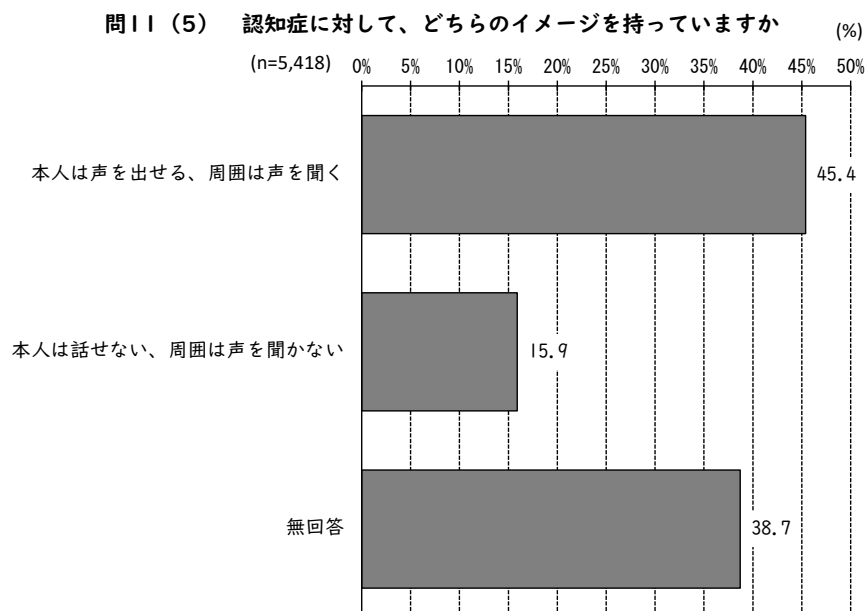
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか①

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「わが事、お互いさま、向き合う、備える」が61.4%、「他人事、なりたくない、目をそらす、先送り」が14.6%となっています。



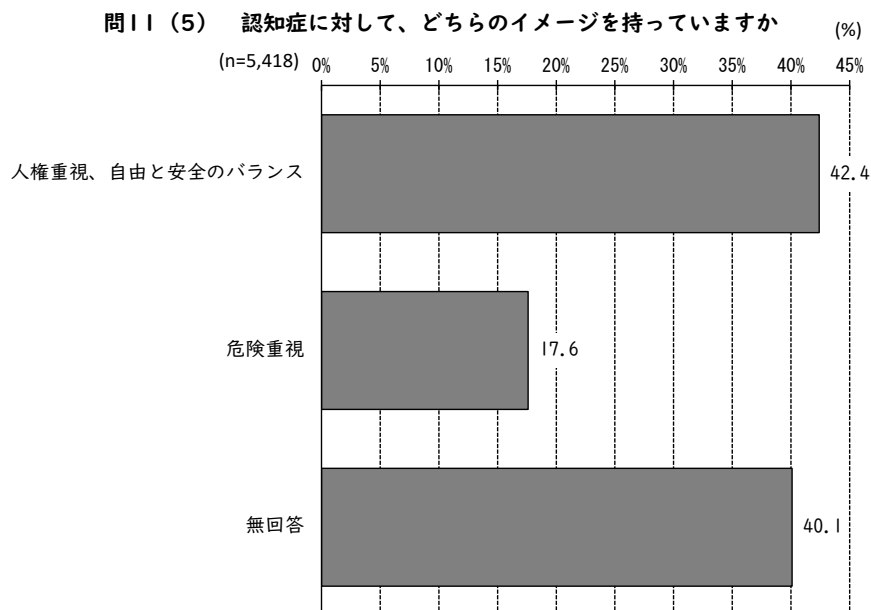
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか②

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「本人は声を出せる、周囲は声を聞く」が45.4%、「本人は話せない、周囲は声を聞かない」が15.9%となっています。



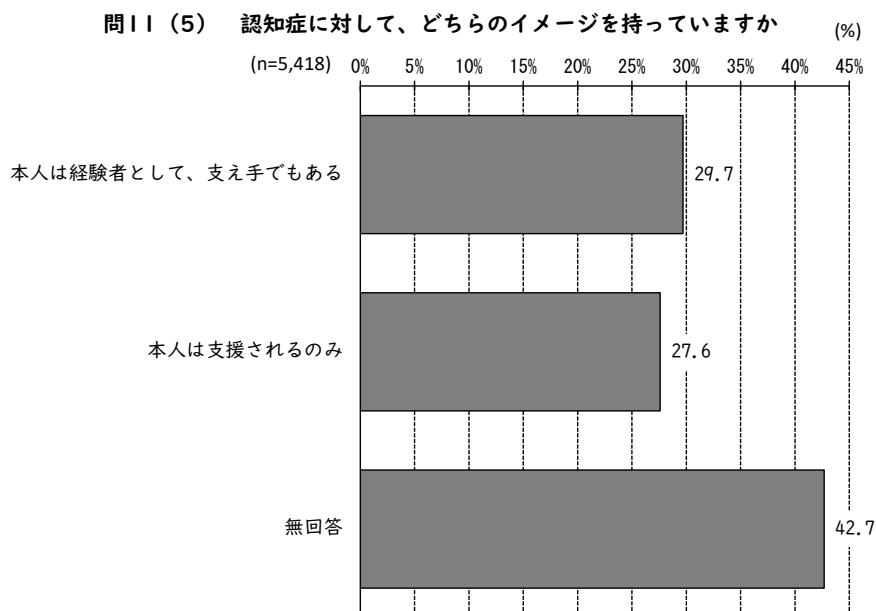
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか③

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「人権重視、自由と安全のバランス」が42.4%、「危険重視」が17.6%となっています。



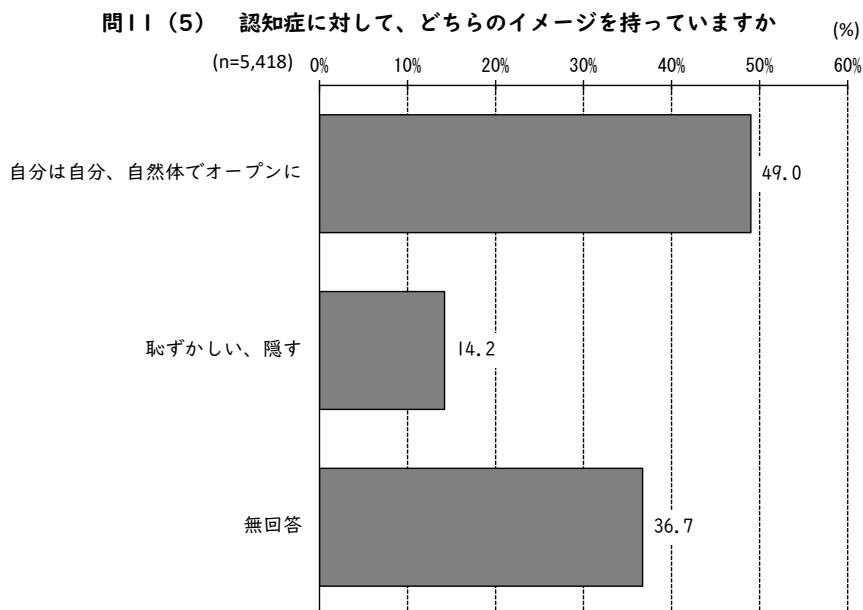
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか④

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「本人は経験者として、支え手でもある」が29.7%、「本人は支援されるのみ」が27.6%となっています。



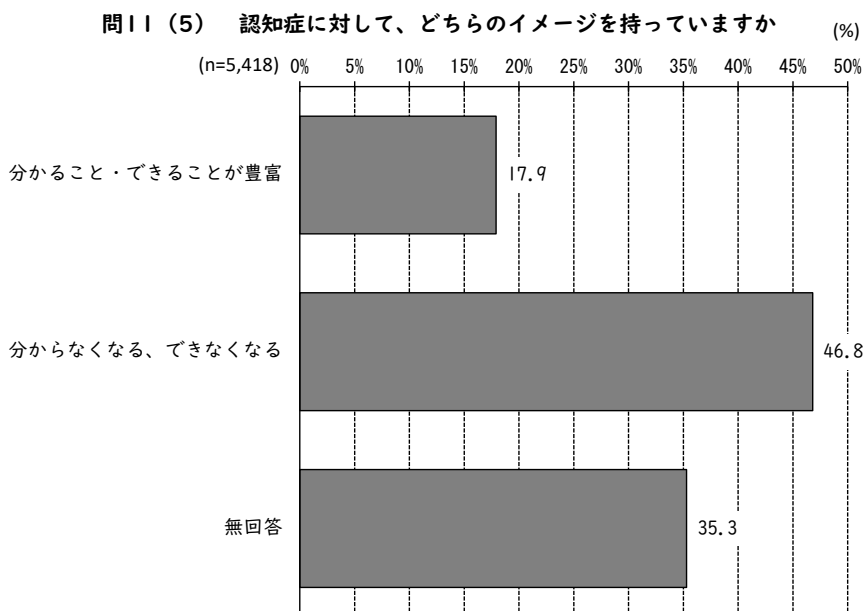
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑤

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「自分は自分、自然体でオープンに」が49.0%、「恥ずかしい、隠す」が14.2%となっています。



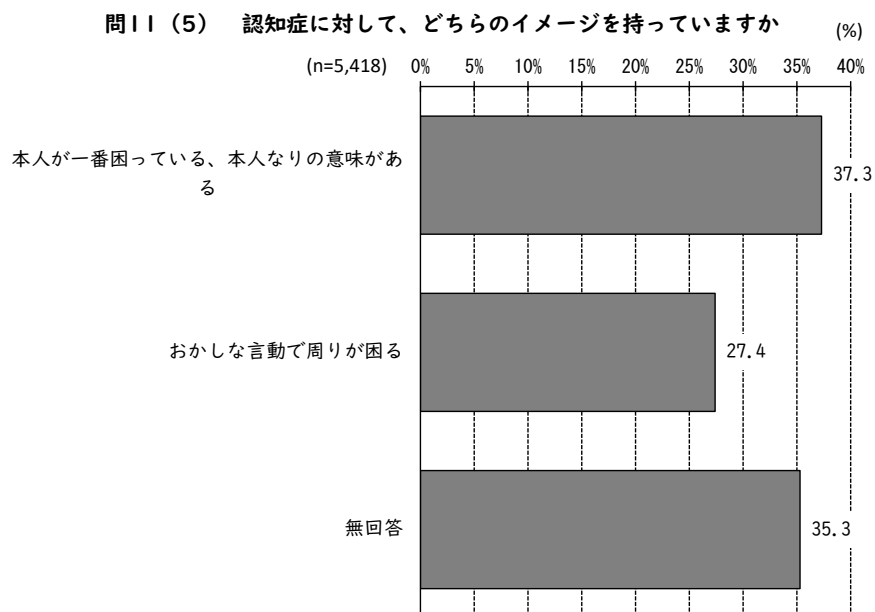
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑥

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「分かること・できることが豊富」が17.9%、「分からなくなる、できなくなる」が46.8%となっています。



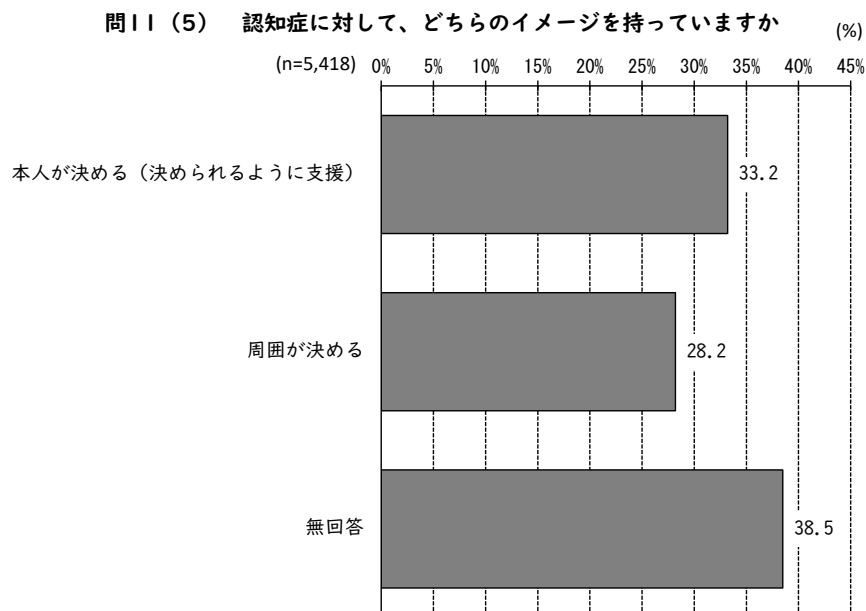
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑦

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「本人が一番困っている、本人なりの意味がある」が37.3%、「おかしい言動で周りが困る」が27.4%となっています。



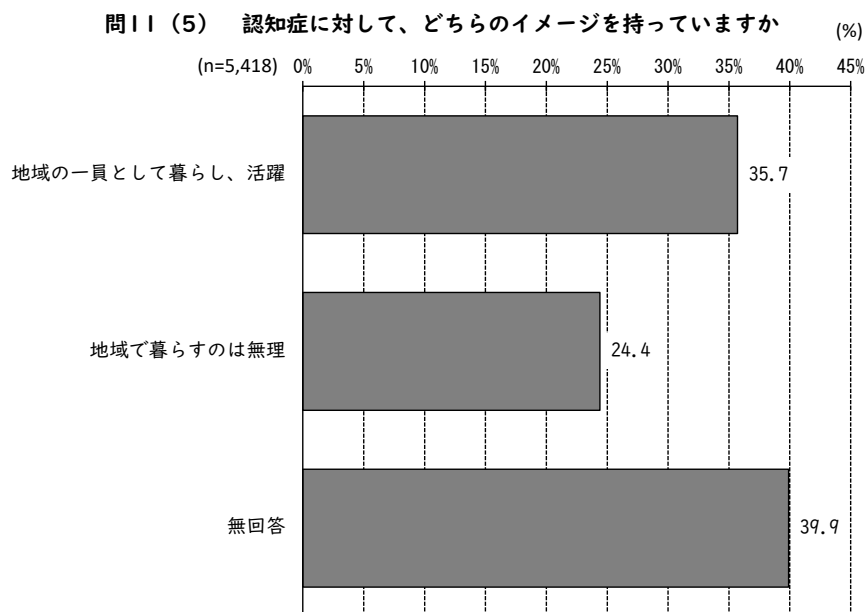
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑧

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「本人が決める（決められるように支援）」が33.2%、「周囲が決める」が28.2%となっています。



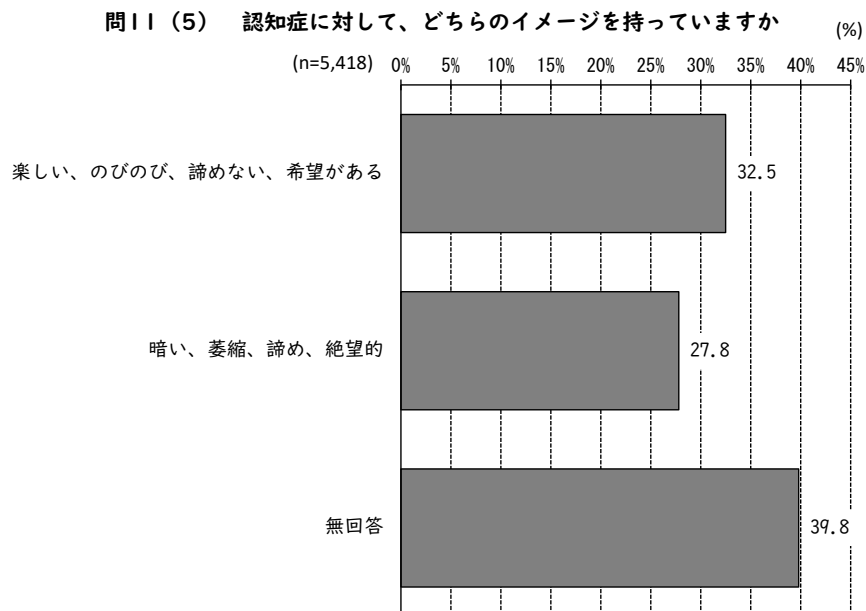
問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑨

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「地域の一員として暮らし、活躍」が35.7%、「地域で暮らすのは無理」が24.4%となっています。



問11（5） 認知症に対して、どちらのイメージを持っていますか⑩

認知症に対して、どちらのイメージを持っていますかについて、「楽しい、のびのび、諦めない、希望がある」が32.5%、「暗い、萎縮、諦め、絶望的」が27.8%となっています。

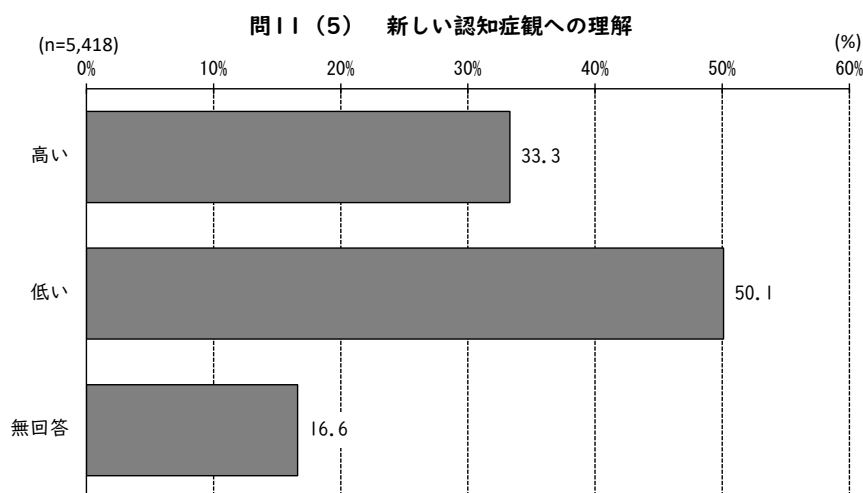


問11（5） 新しい認知症観への理解

問 11（5）の 10 項目は新しい認知症観への理解をはかる質問となっています。全 10 問で「1」が新しい認知症への理解が高い項目、「2」は理解が低い項目となっています。

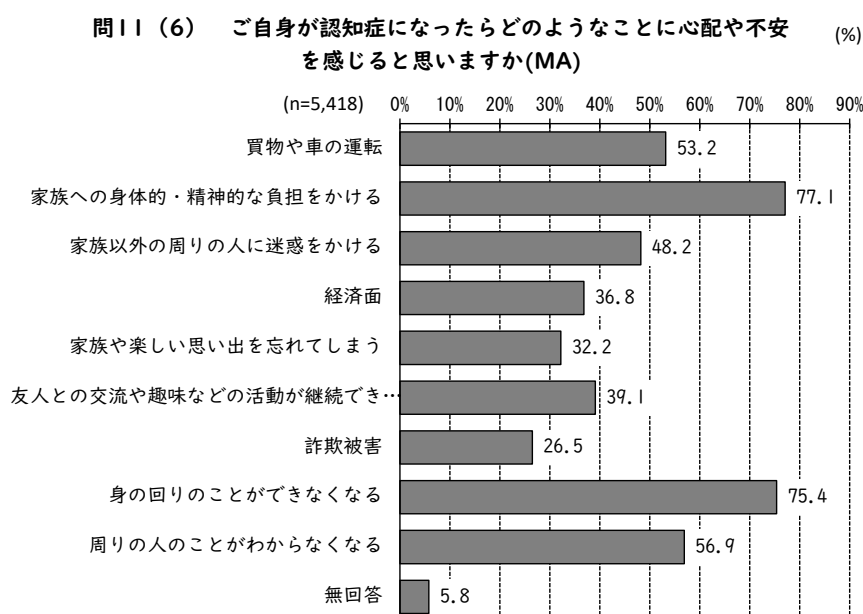
本項目では、「1」が6項目以上の回答者を新しい認知症観への理解が高い、5項目以下の回答者を低いと区分し、集計した結果を示しています。なお、10問すべてに無回答だった回答者については、無回答として取り扱っています。

新しい認知症観への理解として、「高い」が33.3%、「低い」が50.1%となっています。



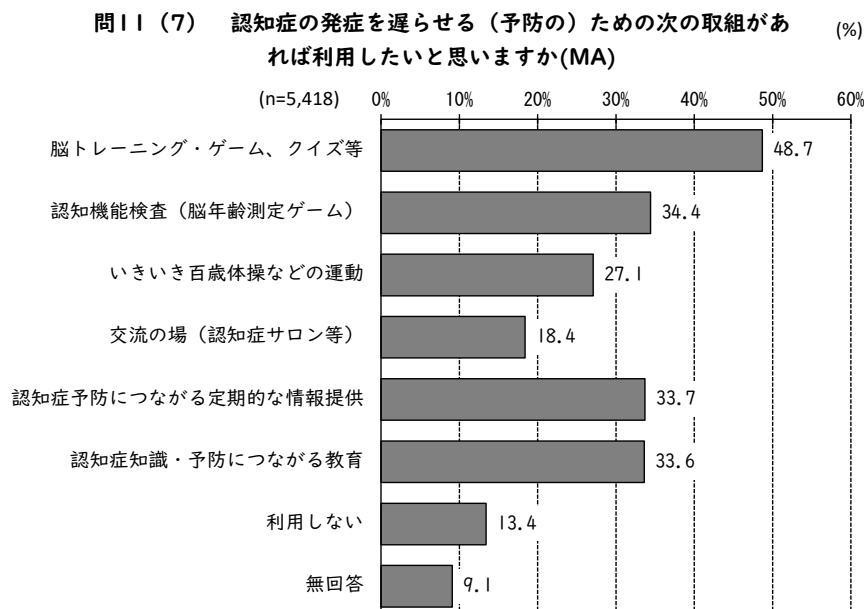
問11（6） ご自身が認知症になったらどのようなことに心配や不安を感じるとお思いますか（複数回答）

ご自身が認知症になったら心配や不安を感じることにについて、「家族への身体的・精神的な負担をかける」が77.1%で最も多く、次いで「身の回りのことができなくなる」が75.4%、「周りの人のことがわからなくなる」が56.9%となっています。



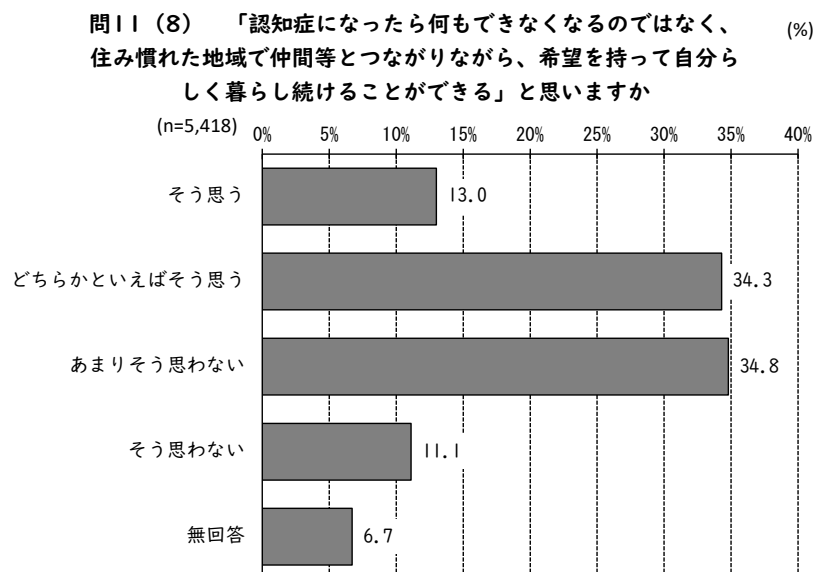
問11（7） 認知症の発症を遅らせる（予防の）ための次の取組があれば利用したいと思いますか（複数回答）

認知症の発症を遅らせる（予防の）ために利用したい取組として、「脳トレーニング・ゲーム、クイズ等」が48.7%で最も多く、次いで「認知機能検査（脳年齢測定ゲーム）」が34.4%、「認知症予防につながる定期的な情報提供」が33.7%、「認知症知識・予防につながる教育」が33.6%となっています。



問11（8） 「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と思いますか

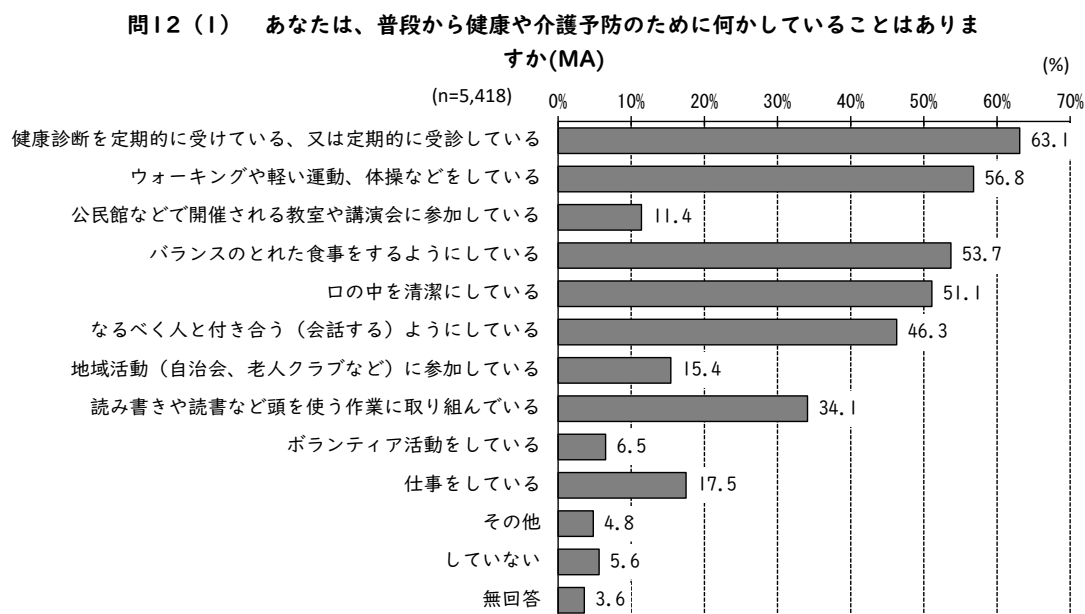
「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と思いますかについて、「あまりそう思わない」が34.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.3%、「そう思う」が13.0%となっています。



問12 介護予防への取組について

問12（1） あなたは、普段から健康や介護予防のために何かしていることはありますか（複数回答）

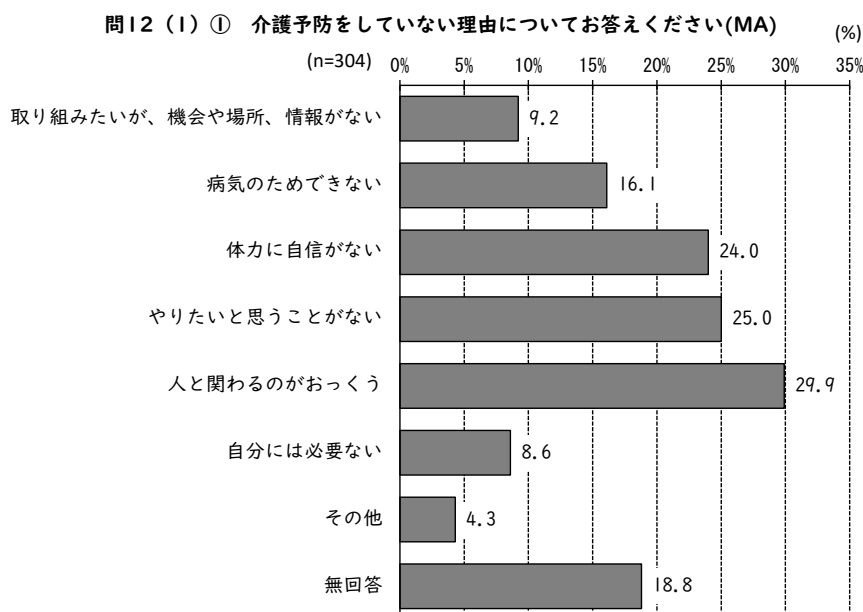
普段から健康や介護予防のためにしていることとして、「健康診断を定期的に受けている、又は定期的に受診している」が 63.1%で最も多く、次いで「ウォーキングや軽い運動、体操などを行っている」が 56.8%、「バランスのとれた食事をするようにしている」が 53.7%となっています。



【（1）で「12. していない」の方のみ】

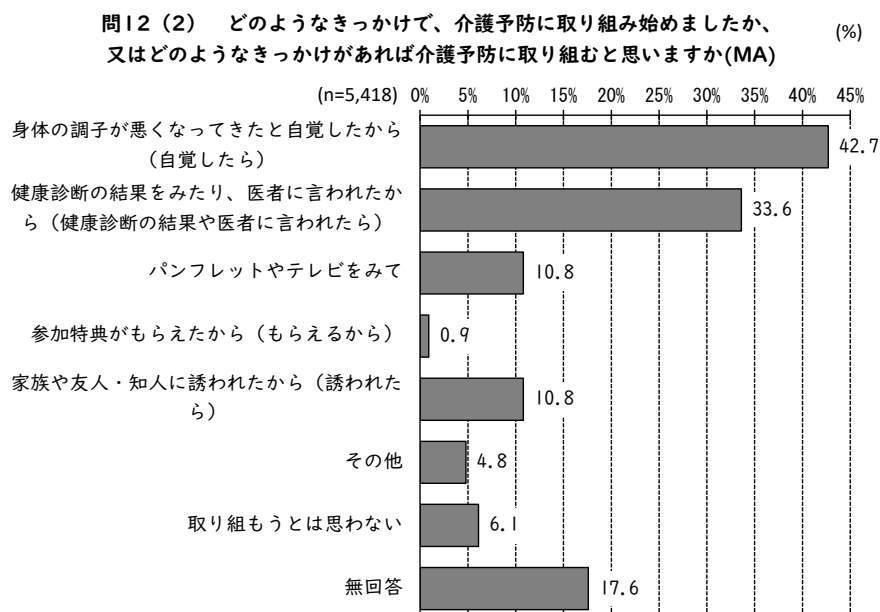
問12（1）① 介護予防をしていない理由についてお答えください（複数回答）

介護予防をしていない理由について、「人と関わるのがおっくう」が 29.9%で最も多く、次いで「やりたいと思うことがない」が 25.0%、「体力に自信がない」が 24.0%となっています。



問12（2） どのようなきっかけで、介護予防に取り組み始めましたか、又はどのようなきっかけがあれば介護予防に取り組むと思いますか（複数回答）

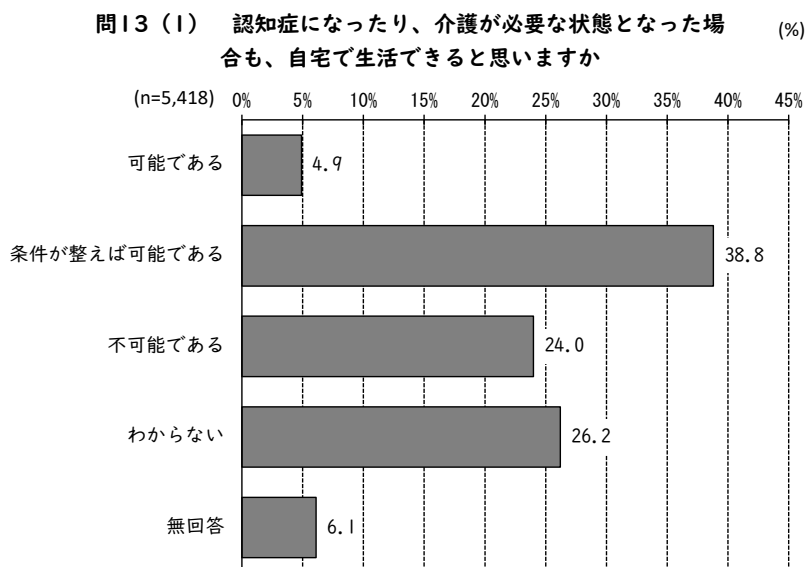
どのようなきっかけで、介護予防に取り組み始めましたか、又はどのようなきっかけがあれば介護予防に取り組むと思いますかについて、「身体の調子が悪くなってきたと自覚したから（自覚したら）」が42.7%で最も多く、次いで「健康診断の結果をみたり、医者に言われたから（健康診断の結果や医者に言われたら）」が33.6%、「パンフレットやテレビをみて」「家族や友人・知人に誘われたから（誘われたら）」が10.8%となっています。



問13 自宅での介護及び今後の生活場所について

問13（１） 認知症になったり、介護が必要な状態となった場合も、自宅で生活できると思いますか

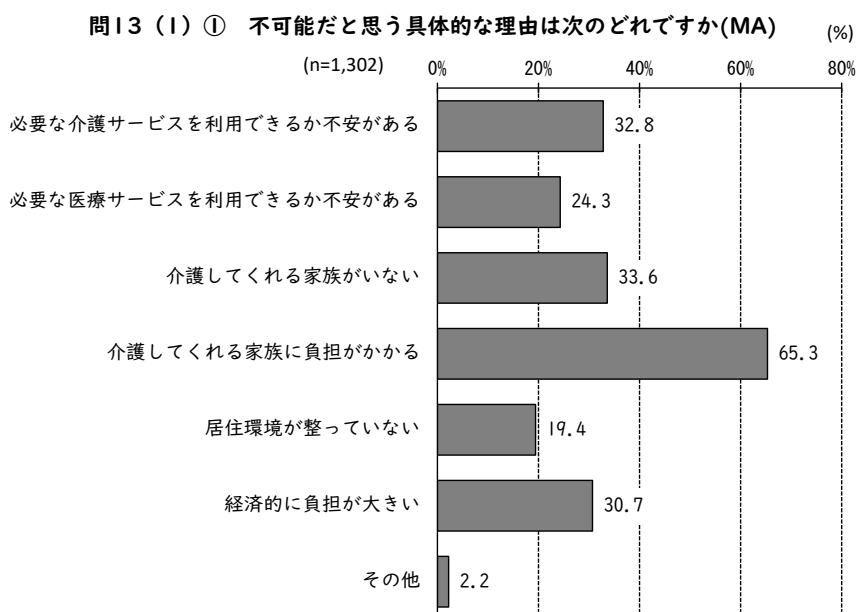
認知症になったり、介護が必要な状態となった場合も、自宅で生活できると思いますかについて、「条件を整えば可能である」が 38.8%で最も多く、次いで「わからない」が 26.2%、「不可能である」が 24.0%となっています。



【（１）において「３．不可能である」の方のみ】

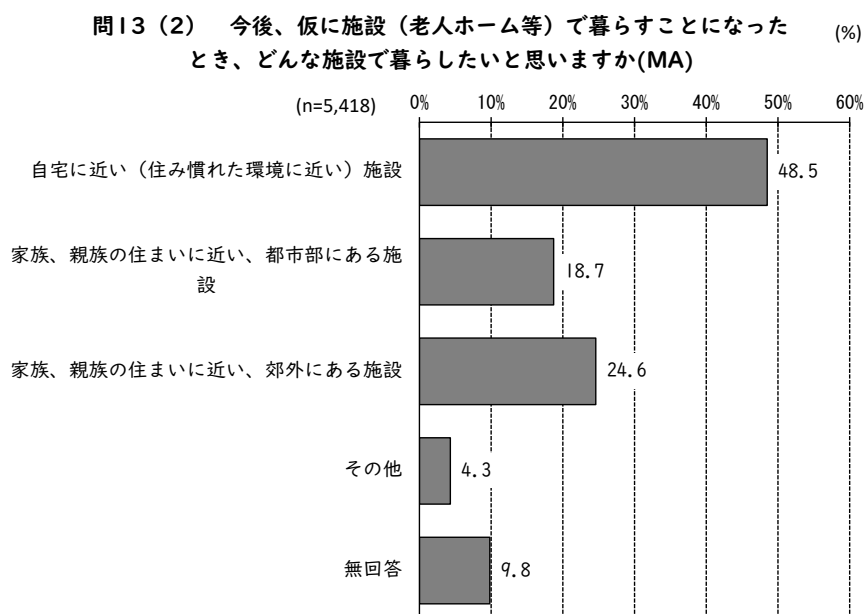
問13（１）① 不可能だと思う具体的な理由は次のどれですか（複数回答）

不可能だと思う具体的な理由について、「介護してくれる家族に負担がかかる」が 65.3%で最も多く、次いで「介護してくれる家族がいない」が 33.6%、「必要な介護サービスを利用できるか不安がある」が 32.8%となっています。



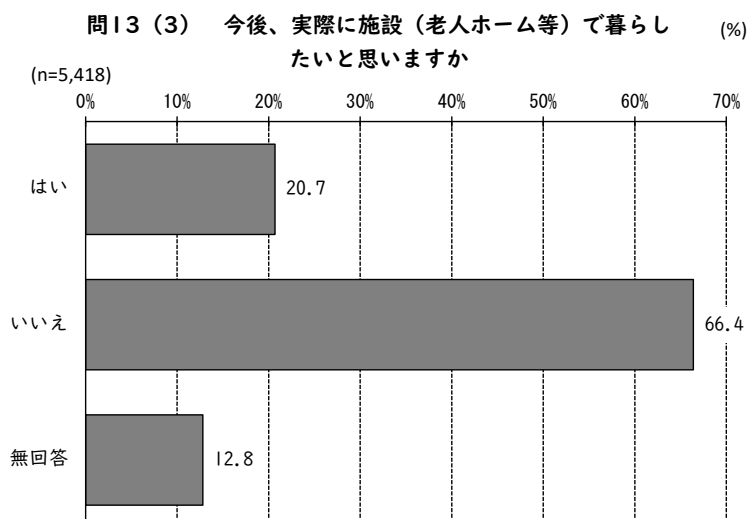
問13（２） 今後、仮に施設（老人ホーム等）で暮らすことになったとき、どんな施設で暮らしたいと思いますか（複数回答）

今後、仮に施設（老人ホーム等）で暮らすことになったとき、どんな施設で暮らしたいと思いますかについて、「自宅に近い（住み慣れた環境に近い）施設」が 48.5%で最も多く、次いで「家族、親族の住まいに近い、郊外にある施設」が 24.6%、「家族、親族の住まいに近い、都市部にある施設」が 18.7%となっています。



問13（３） 今後、実際に施設（老人ホーム等）で暮らしたいと思いますか

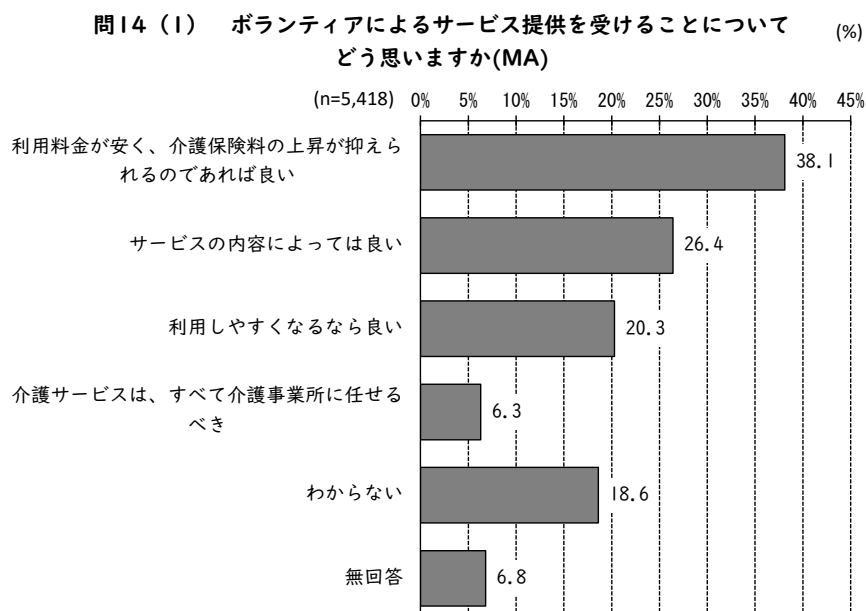
今後、実際に施設（老人ホーム等）で暮らしたいと思いますかについて、「はい」が 20.7%、「いいえ」が 66.4%となっています。



問14 ボランティアについて

問14（1） ボランティアによるサービス提供を受けることについてどう思いますか （複数回答）

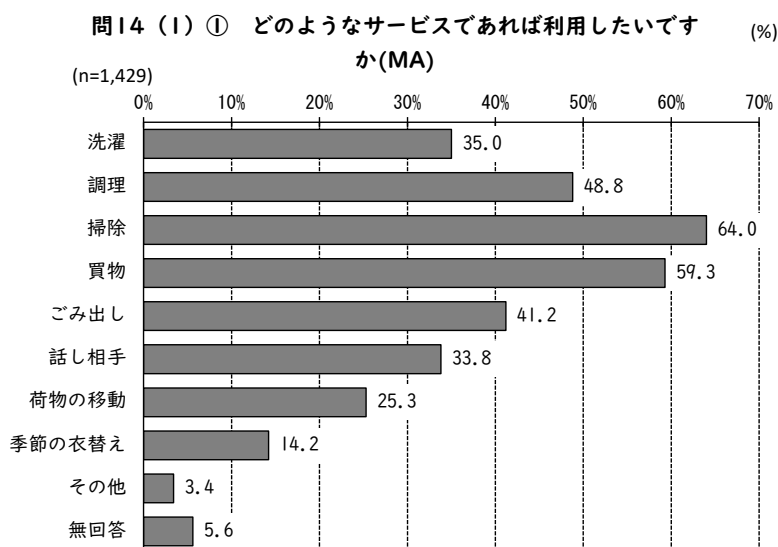
ボランティアによるサービス提供を受けることについてどう思いますかについて、「利用料金が安く、介護保険料の上昇が抑えられるのであれば良い」が 38.1%で最も多く、次いで「サービスの内容によっては良い」が 26.4%、「利用しやすくなるなら良い」が 20.3%となっています。



【（1）において「2. サービス内容によっては良い」の方のみ】

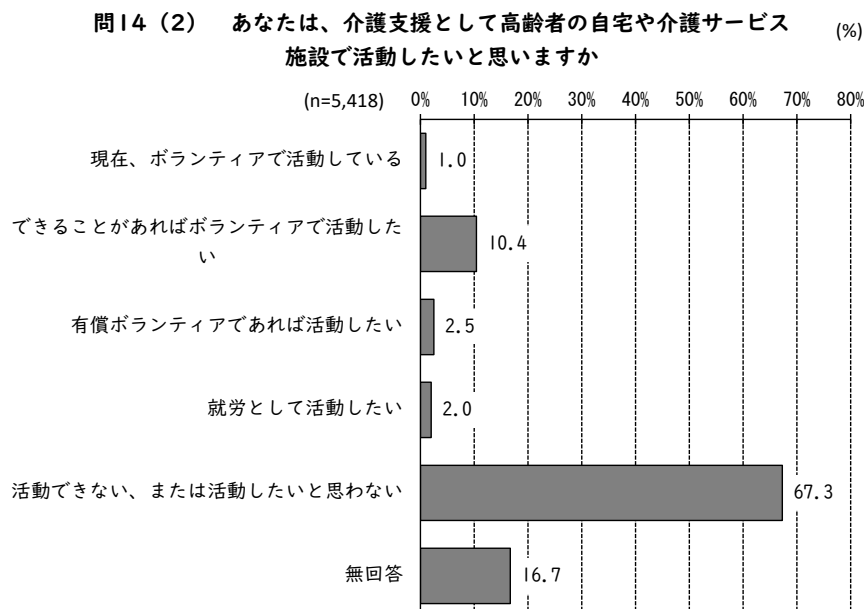
問14（1）① どのようなサービスであれば利用したいですか（複数回答）

どのようなサービスであれば利用したいですかについて、「掃除」が 64.0%で最も多く、次いで「買物」が 59.3%、「調理」が 48.8%となっています。



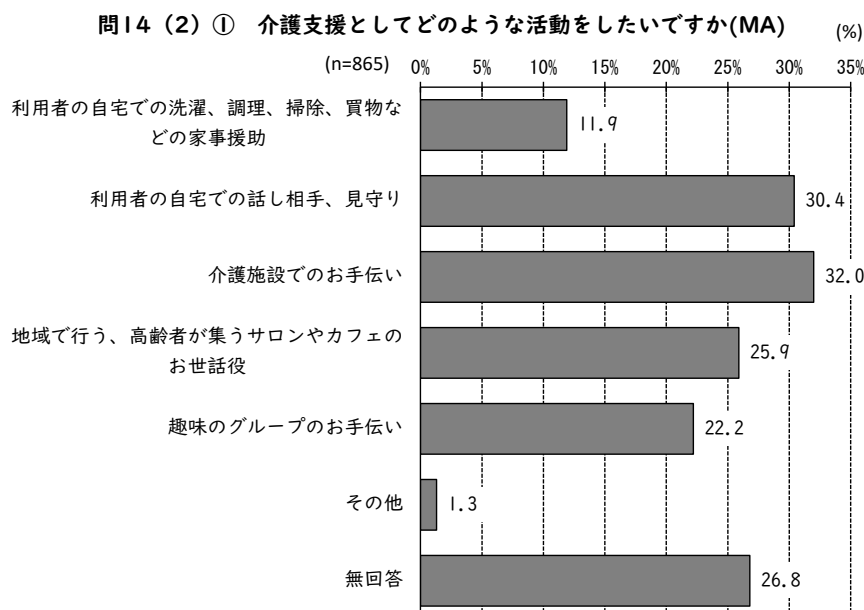
問14（2） あなたは、介護支援として高齢者の自宅や介護サービス施設で活動したいと思いますか

あなたは、介護支援として高齢者の自宅や介護サービス施設で活動したいと思いますかについて、「活動できない、または活動したいと思わない」が 67.3%で最も多く、次いで「できることがあればボランティアで活動したい」が 10.4%、「有償ボランティアであれば活動したい」が 2.5%となっています。



【(2)において「5. 活動できない、または活動したいと思わない」以外の方のみ】 問14（2）① 介護支援としてどのような活動をしたいですか（複数回答）

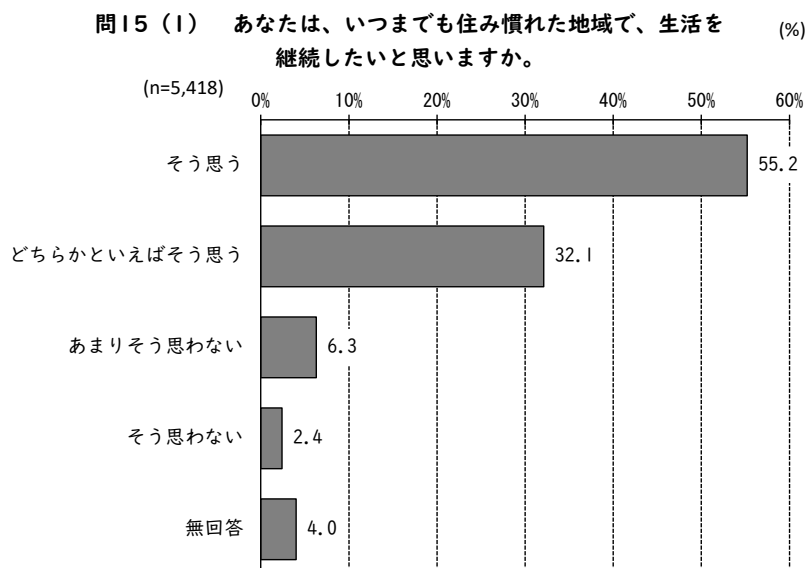
介護支援としてどのような活動をしたいですかについて、「介護施設でのお手伝い」が 32.0%で最も多く、次いで「利用者の自宅での話し相手、見守り」が 30.4%、「地域で行う、高齢者が集うサロンやカフェのお世話役」が 25.9%となっています。



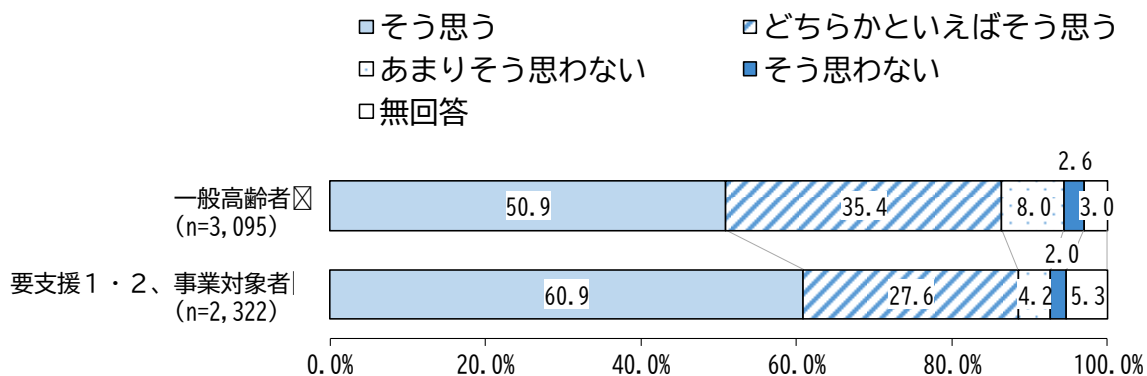
問15 地域包括ケアシステムについて

問15（１） あなたは、いつまでも住み慣れた地域で、生活を継続したいと思いますか。

いつまでも住み慣れた地域で、生活を継続したいと思うかについて、「そう思う」が 55.2%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.1%、「あまりそう思わない」が 6.3%となっています。

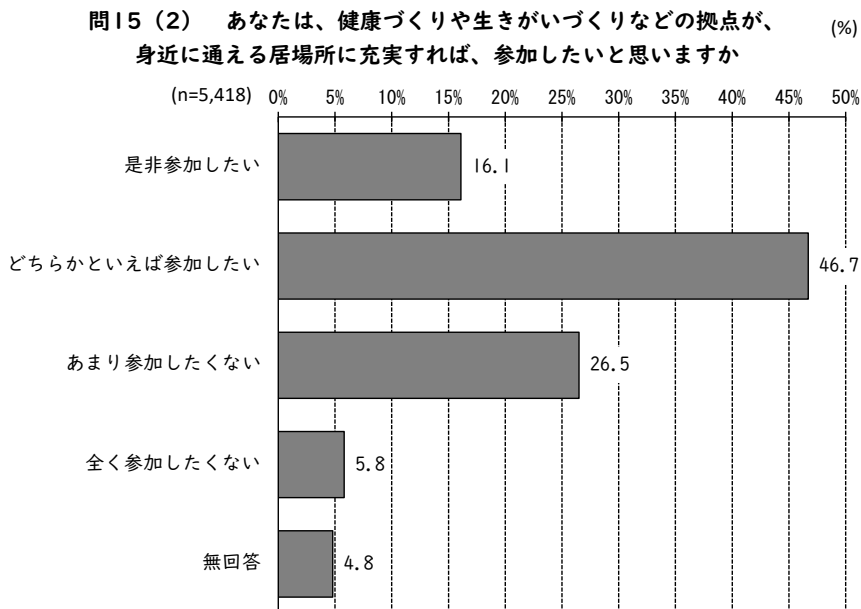


●対象者区分別

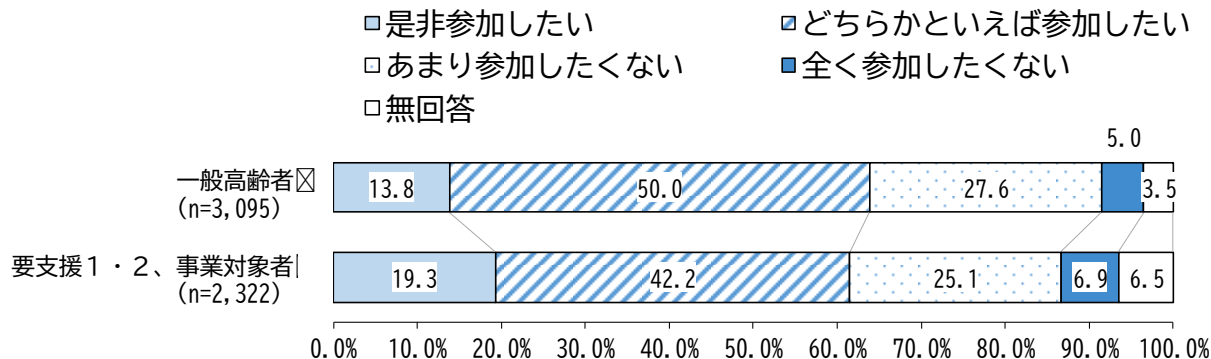


問15（２） あなたは、健康づくりや生きがいがづくりなどの拠点が、身近に通える居場所に充実すれば、参加したいと思いますか

あなたは、健康づくりや生きがいがづくりなどの拠点が、身近に通える居場所に充実すれば、参加したいと思いますかについて、「どちらかといえば参加したい」が 46.7%で最も多く、次いで「あまり参加したくない」が 26.5%、「是非参加したい」が 16.1%となっています。



●対象者区分別

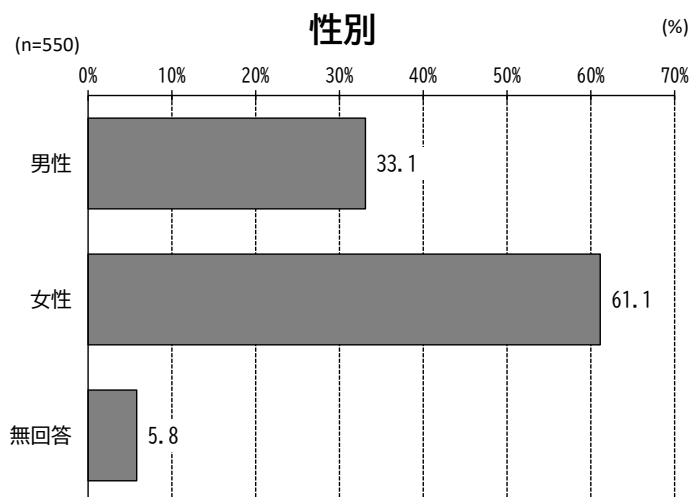


Ⅲ 在宅介護実態調査 調査結果

回答者の基本属性

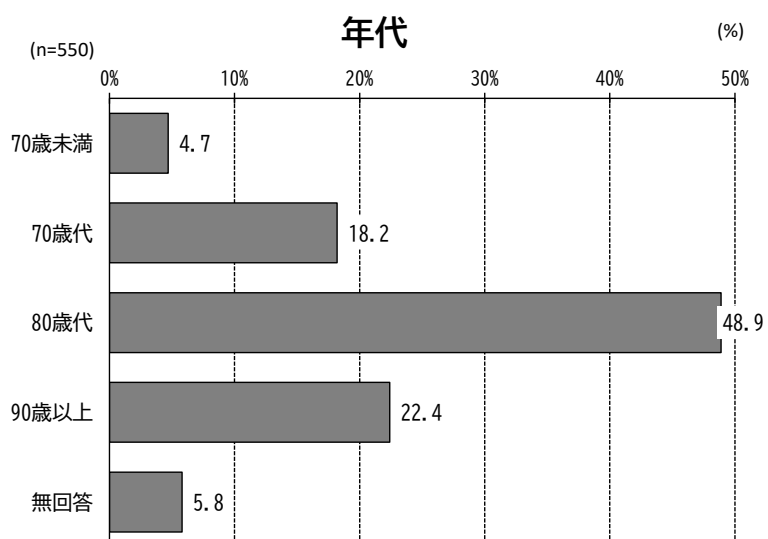
性別

回答者の性別についてみると、「女性」が61.1%と6割を超え、「男性」の33.1%を大きく上回っています。



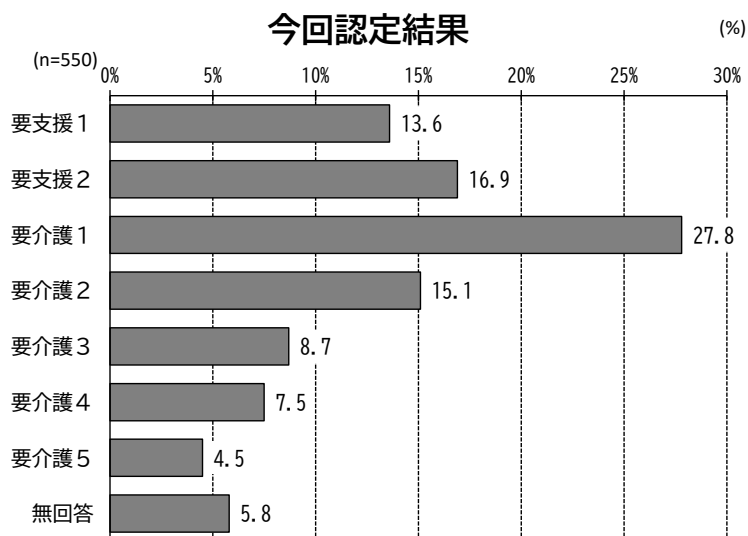
年代

年代別では、「80 歳代」が48.9%と約半数を占め、次いで「90 歳以上」が22.4%、「70 歳代」が18.2%となっており、80 歳以上の割合が全体の7割を超えています。



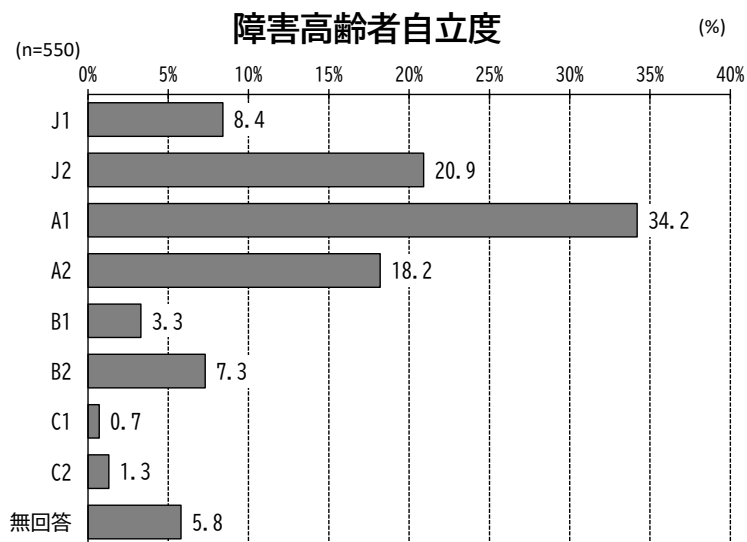
要介護度（今回認定結果）

現在の要介護度についてみると、「要介護1」が27.8%で最も多く、次いで「要支援2」（16.9%）、「要介護2」（15.1%）、「要支援1」（13.6%）の順となっています。



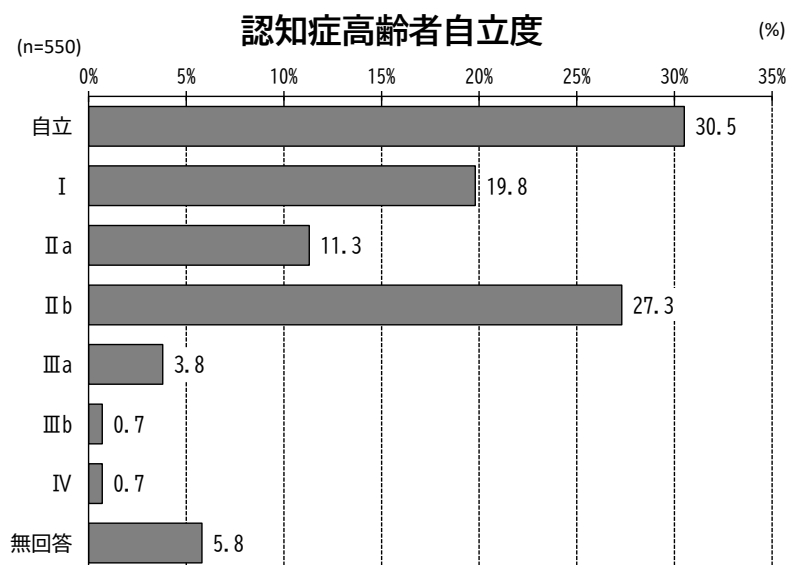
障害高齢者自立度

自立度についてみると、「A1（屋内での生活は概ね自立しているが介助なしには外出しない）」が34.2%と最も多く、次いで「J2（独力で外出できるが、隣近所程度まで）」が20.9%、「A2（介助なしには外出せず、屋内での生活も介助を要する）」が18.2%となっています。



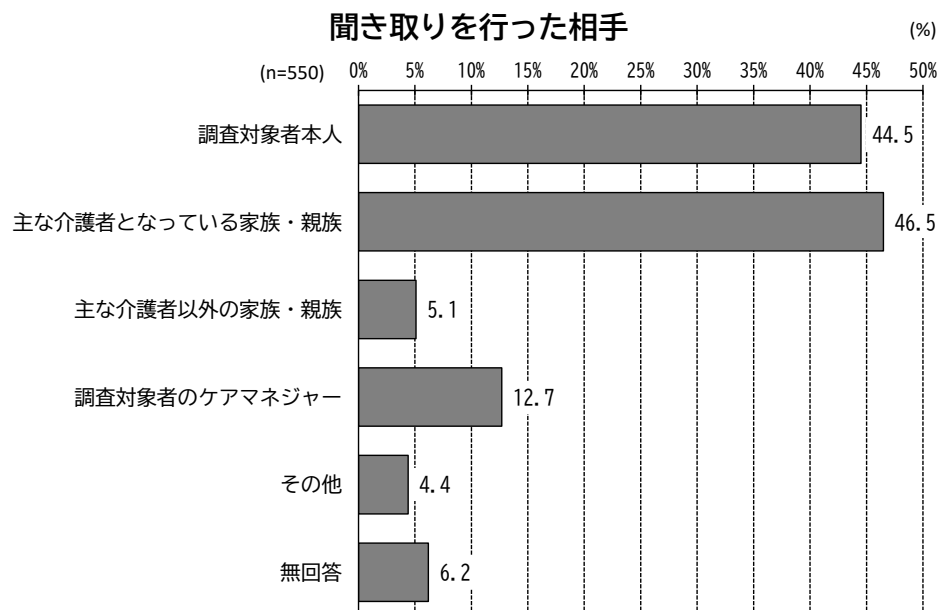
認知症高齢者自立度

認知症の状況についてみると、「自立（問題行動や症状が見られない）」が 30.5%と最も多いものの、日常生活に支障を来すおそれがある「Ⅰ」が 19.8%、「Ⅱa」が 11.3%、さらに介護を必要とする「Ⅱb」が 27.3%となっており、何らかの認知症状を有する割合が約 6 割に達しています。



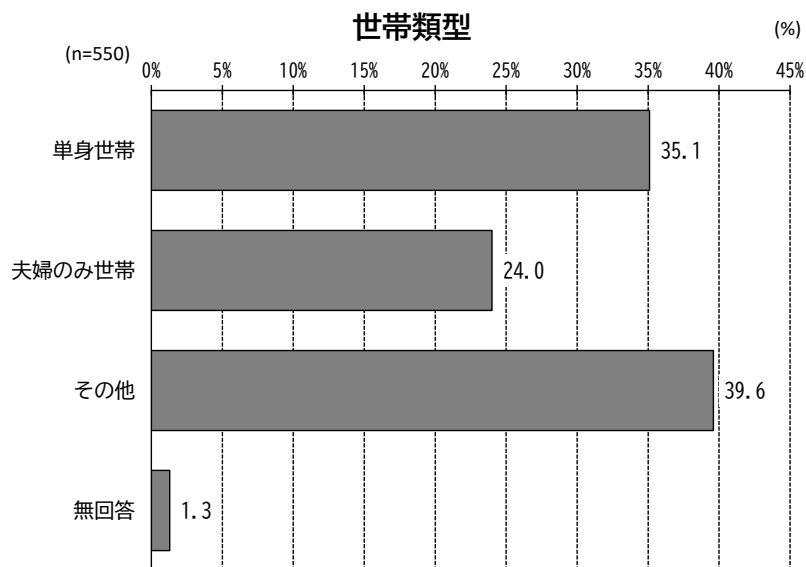
A票 基本調査項目

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）



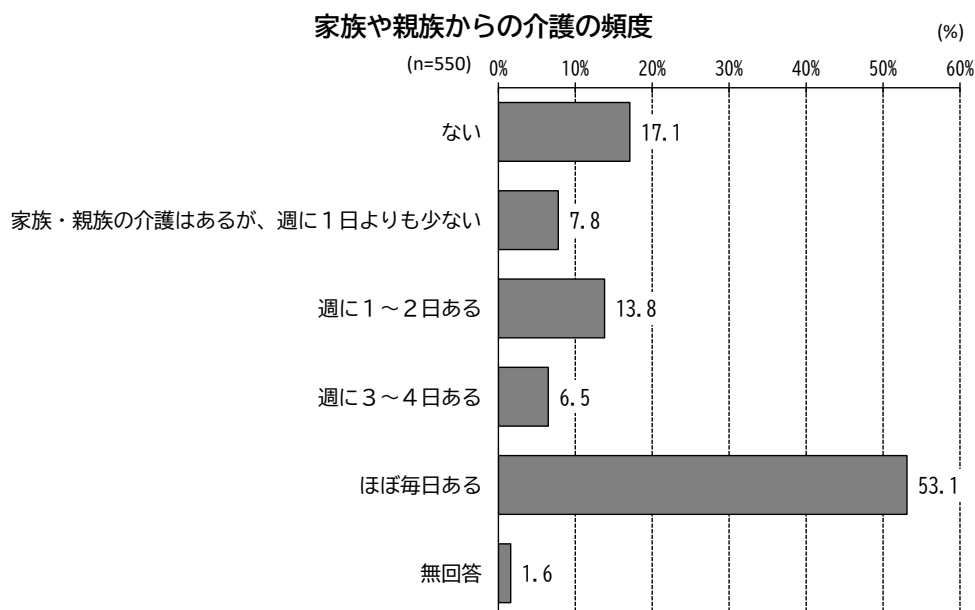
問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

世帯類型についてみると、次いで「単身世帯」が 35.1%、「夫婦のみ世帯」が 24.0%となっています。



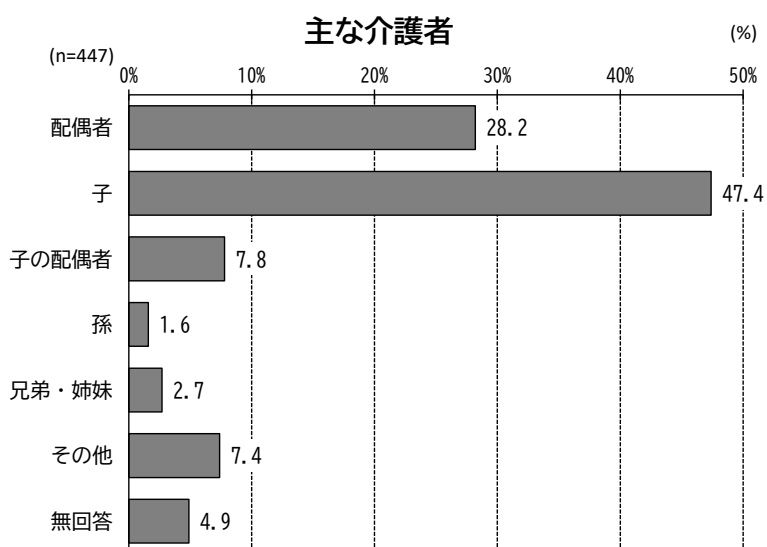
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居されていない子どもや親族等からの介護を含みます。)(1つを選択)

家族・親族からの介護の頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が53.1%と過半数を占めています。



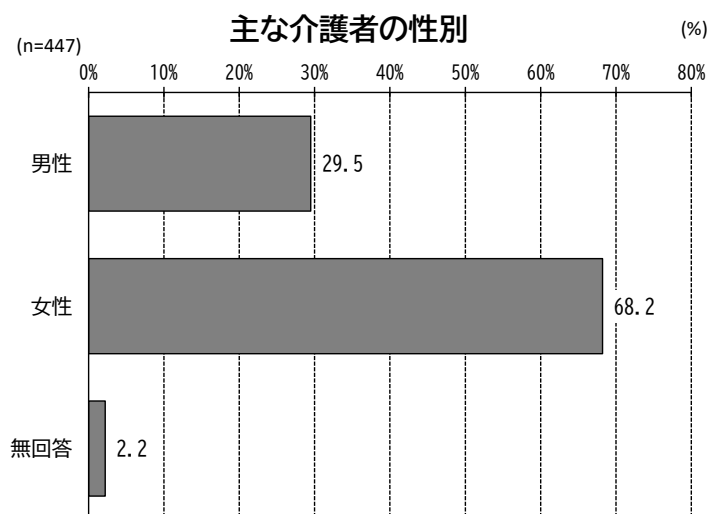
問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

主な介護者が誰であるかについてみると、「子」が47.4%で最も多く、次いで「配偶者」が28.2%、「子の配偶者」が7.8%となっています。



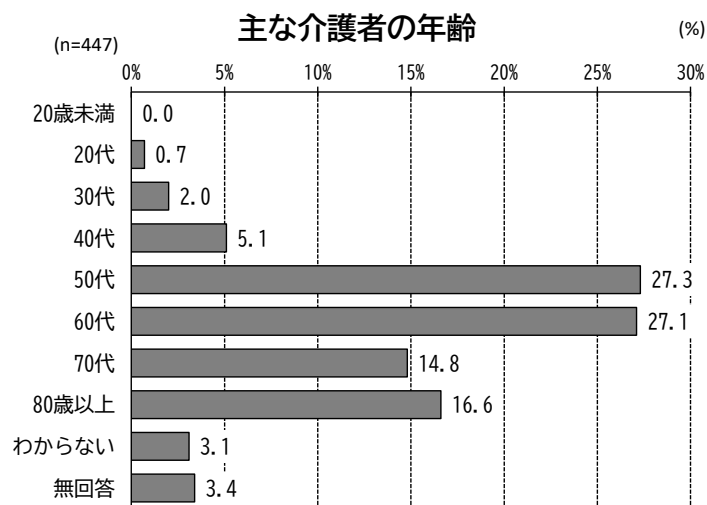
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

主な介護者の性別は「女性」が 68.2% を占めています。



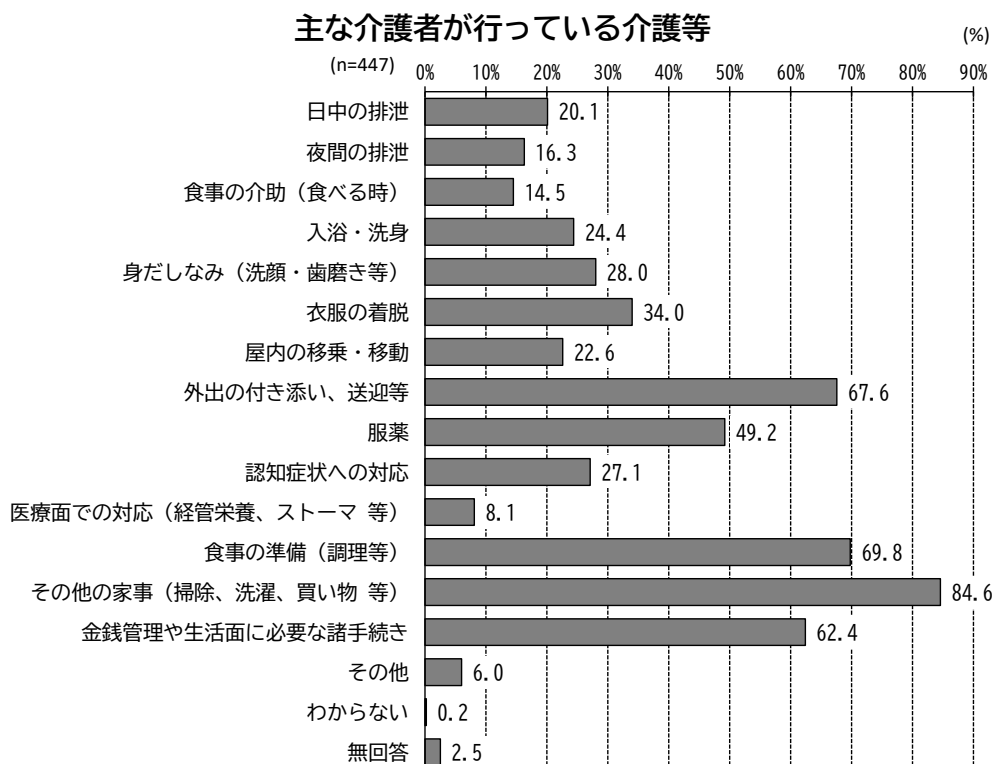
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

年齢層についてみると、「50代」が 27.3%、「60代」が 27.1% とほぼ並んで多く、次いで「80歳以上」が 16.6%、「70代」が 14.8% となっています。



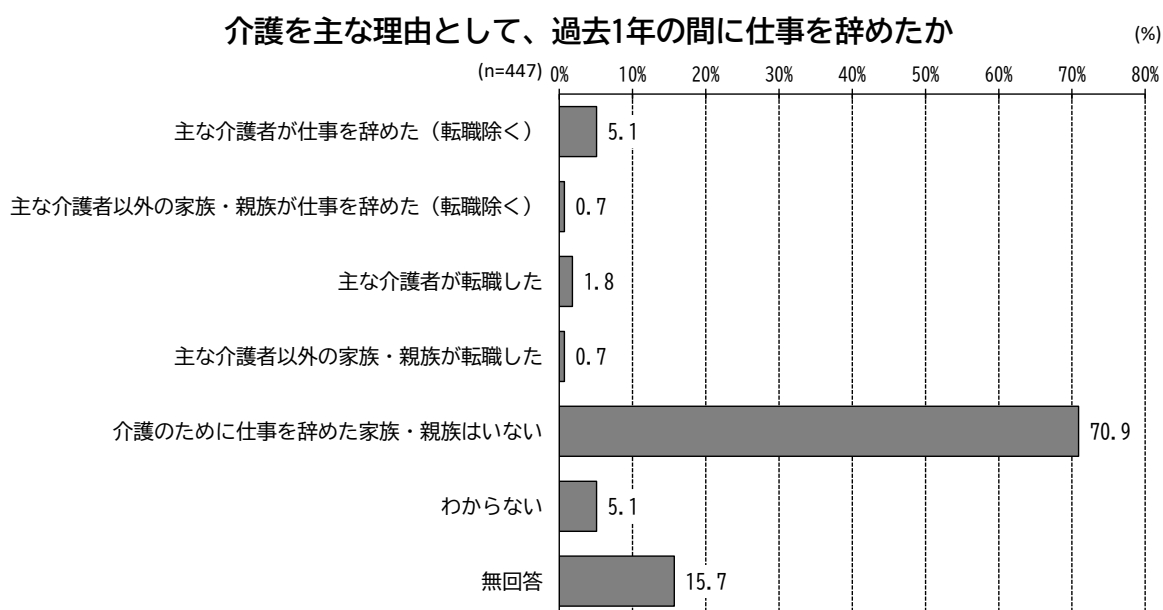
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

現在実施している介護等の内容（複数回答）についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.6%で最も高く、「食事の準備（調理等）」「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も6割を超えています。



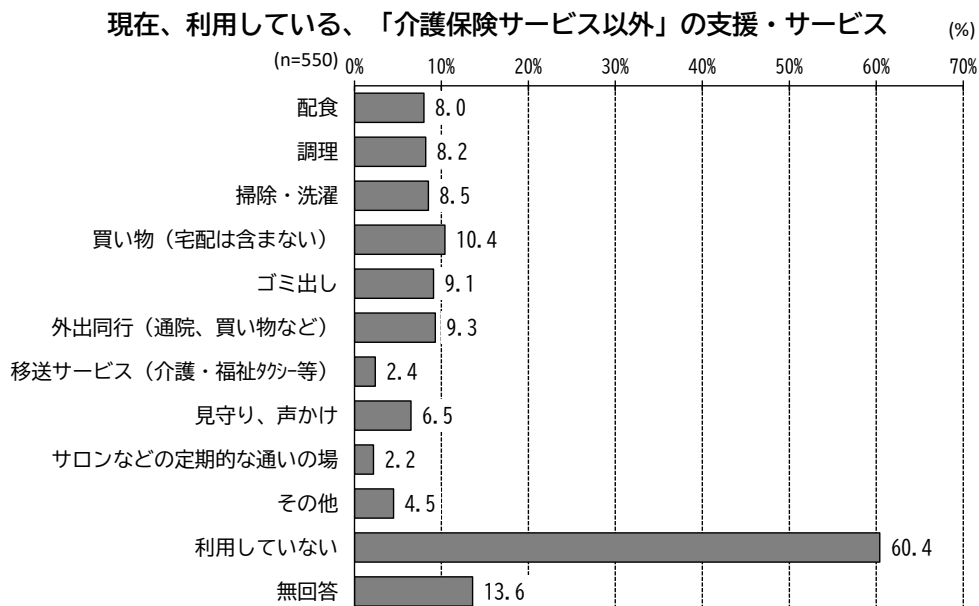
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方は、いらっしゃいますか。（複数選択可）

介護を理由とした離職については、介護のために仕事を辞めた家族・親族はいないという回答が7割を超え、主な介護者が仕事を辞めたのは5.1%となっています。



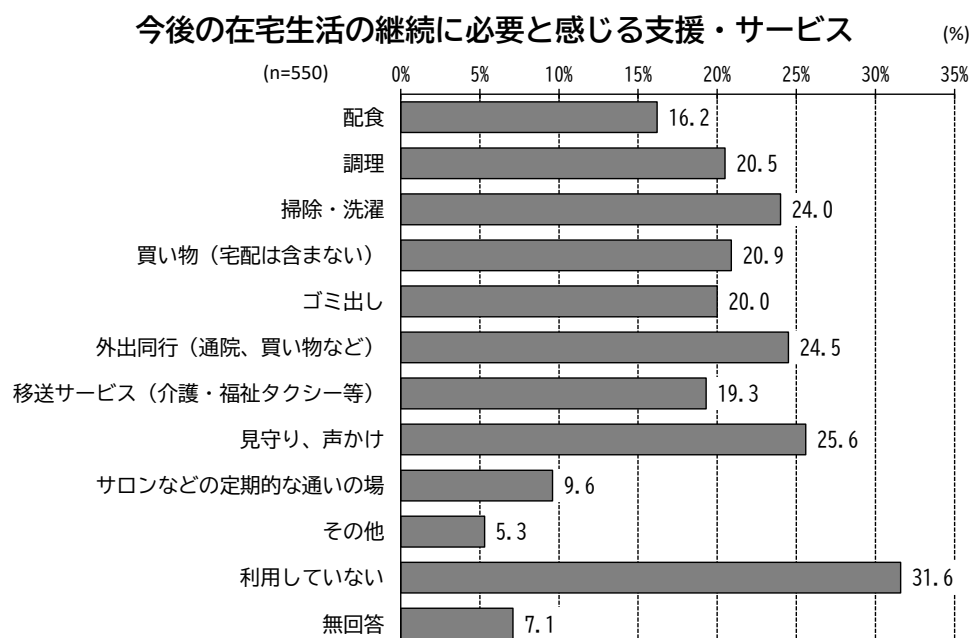
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

現在の介護保険サービス以外の支援・サービス（複数回答）については、利用していないが最も多く60.4%となっています。利用しているサービスでは、「買い物（宅配は含まない）」が10.4%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が9.3%、「ゴミ出し」が9.1%となっています。



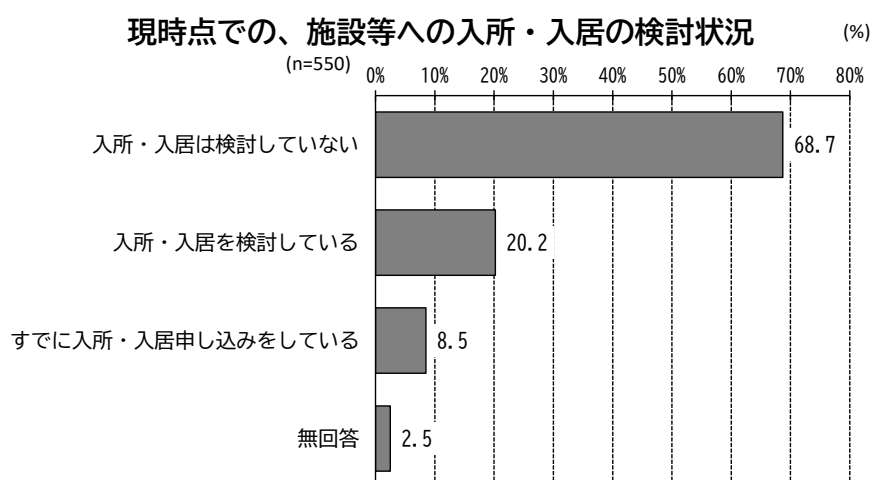
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用されているサービスで、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては「利用していない」が 31.6%と最も多いですが、選択された支援・サービスでは「見守り、声掛け」が 25.6%と最も多く、以下「外出同行（通院、買い物など）」「掃除・洗濯」と続いています。



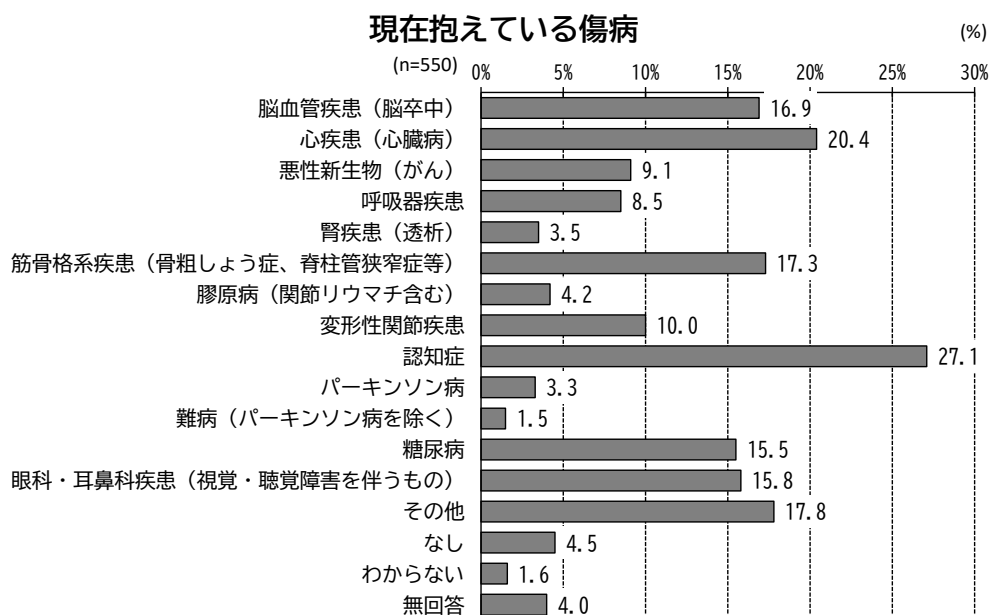
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

現時点での施設等への入所・入居の検討状況では、検討していないが 68.7%となっています。



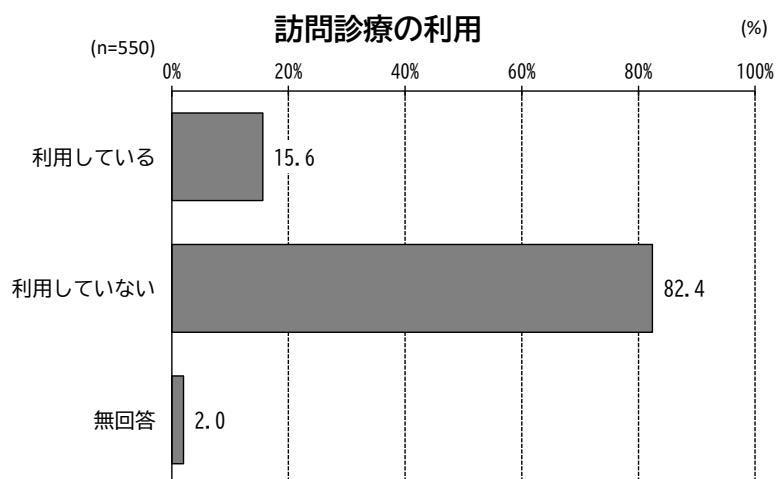
**問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）**

ご本人が現在抱えている疾病については「認知症」が最も多く 27.1%となっており、次いで心疾患（心臓病）が 20.4%となっています。



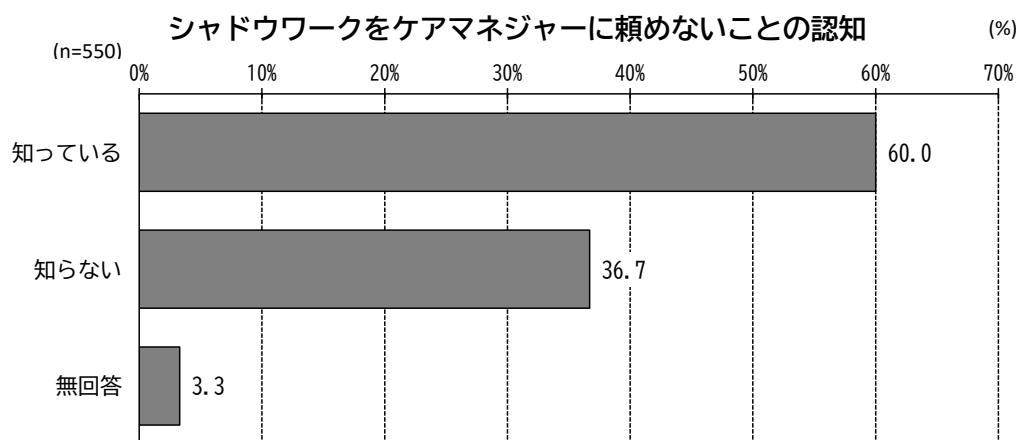
問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

訪問診療の利用状況では、利用していないが8割を超えています。



問13 掃除や買い物、税金等の支払いなどの代行（いわゆるシャドウワーク）は、ケアマネジャーに頼めないことを知っていますか。（1つを選択）

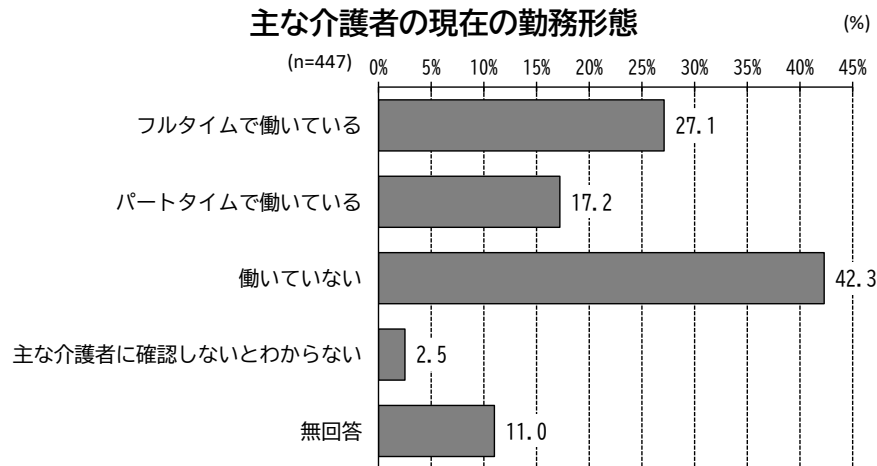
シャドウワークをケアマネジャーに頼めないことの認知では、知っている人が 60.0%で、36.7%の人が知らないという結果となっています。



B票 主な介護者の方について

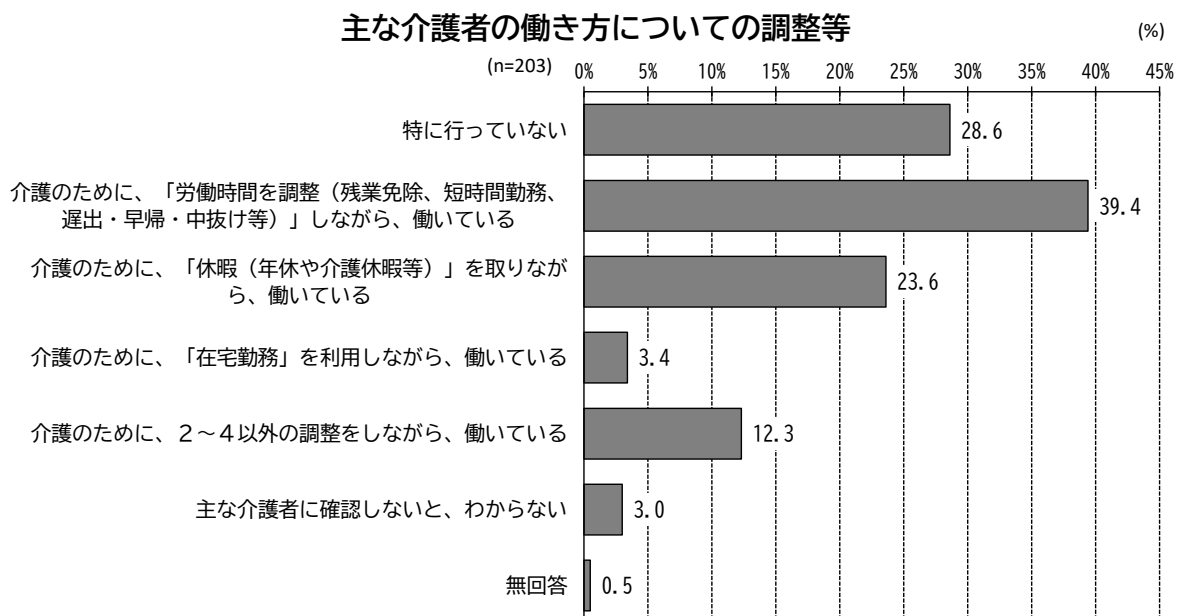
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

主な介護者の勤務形態についてみると、「働いていない」が 42.3%と最も多く、次いで「フルタイム（正社員・正職員）」が 27.1%、「パートタイム」が 17.2%となっています。



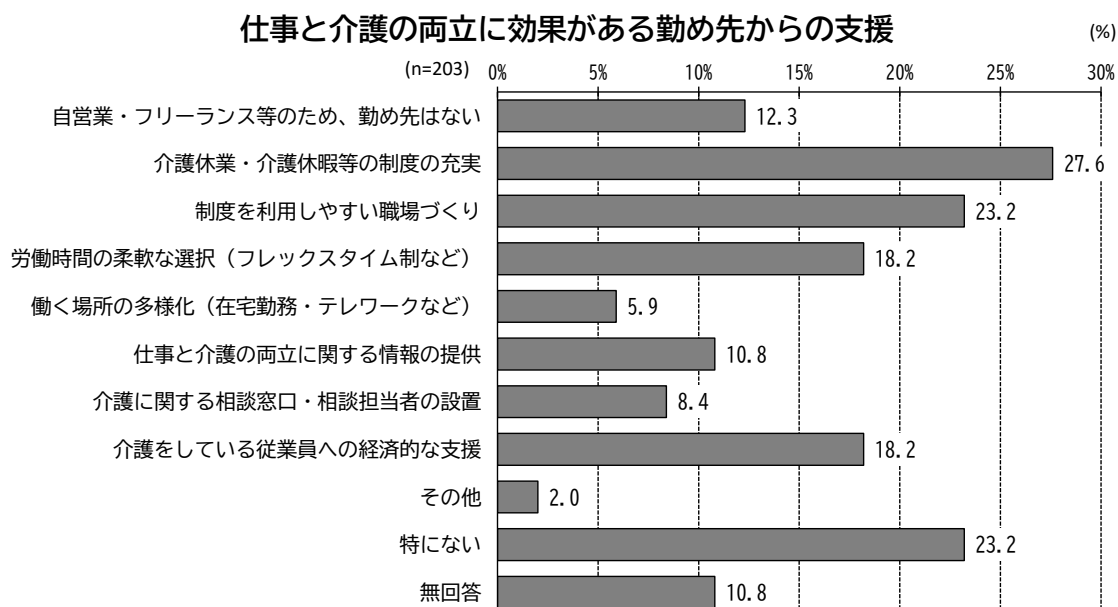
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

介護に伴う働き方の調整状況（複数選択）をみると、「介護のために労働時間を調整しながら働いている」が 39.4%と最も多く、「介護のために休暇を取りながら働いている」が 23.6%となっています。一方、「特に行っていない」は 28.6%となっています。



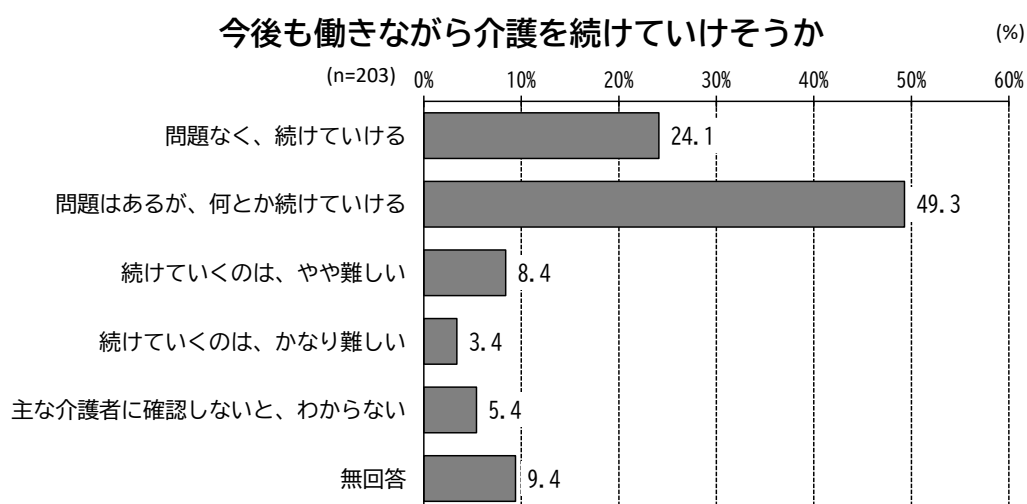
問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

職場に求める支援（3つまで選択可）としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.6%と最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.2%、「労働時間の柔軟な選択」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.2%となっていました。「特にない」は23.2%となっています。



問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（複数選択可）

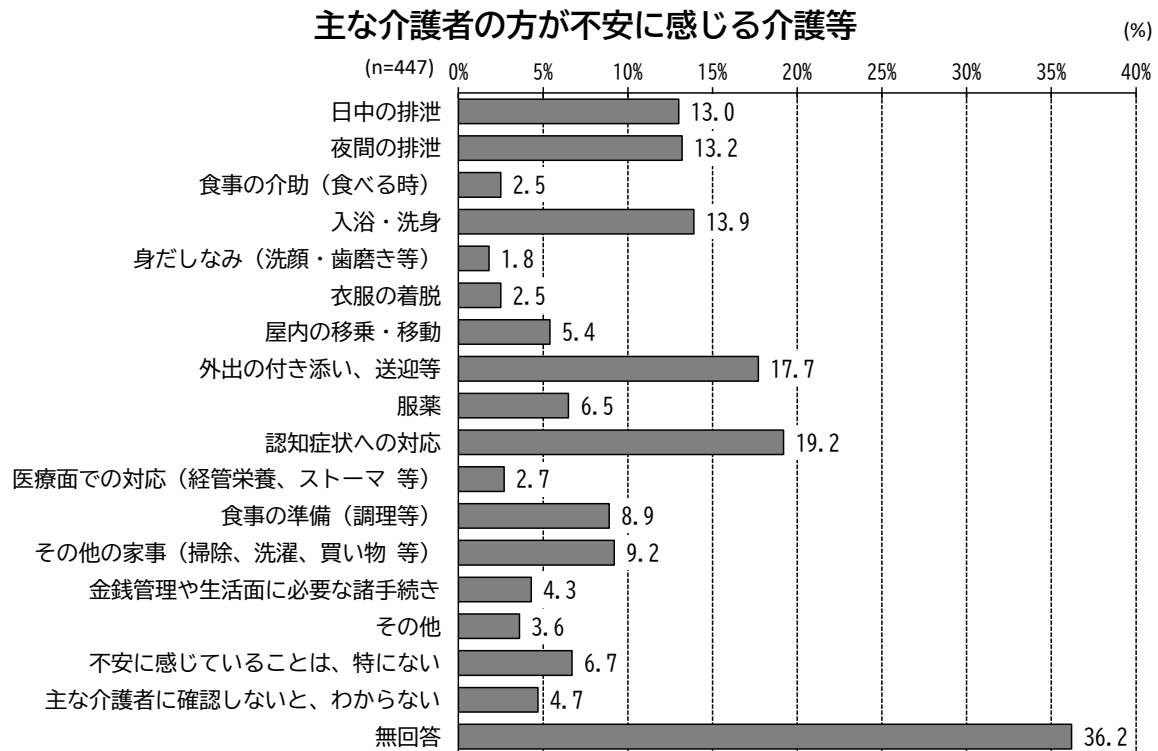
主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうか（複数選択）については、「問題はあるが、何とか続けていける」が49.3%と半数近くとなっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護（3 つまで選択可）では、認知症状への対応が 19.2%と最も多くなっています。続いて、「外出の付き添い、送迎等」が 17.7%、「入浴・洗身」が 13.9%となっています。

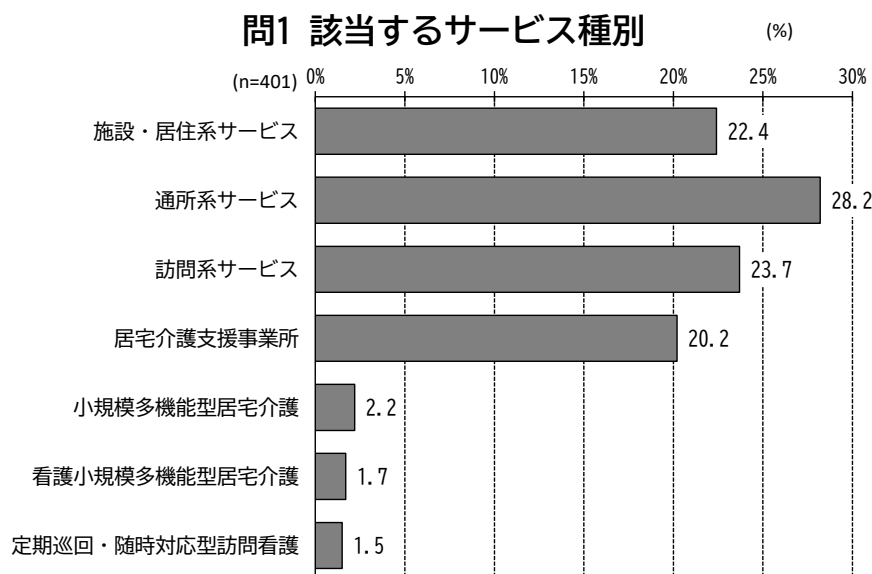
「不安に感じていることは、特にない」の回答は 6.7%となっています。



IV 介護人材実態調査 調査結果

問1 サービス種別

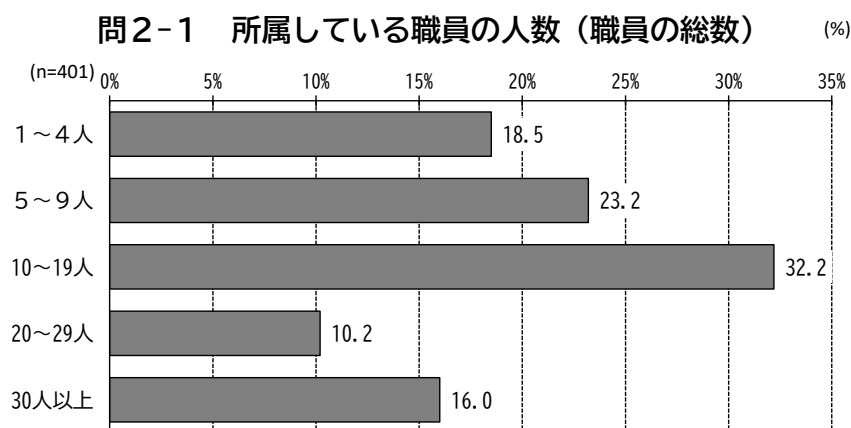
該当するサービス種別についてみると、「通所系サービス」が28.2%と最も多く、次いで「訪問系サービス」(23.7%)、「施設・居住系サービス」(22.4%)、「居宅介護支援事業所」(20.2%)の順となっています。



問2-1 所属職員数

【職員の総数】

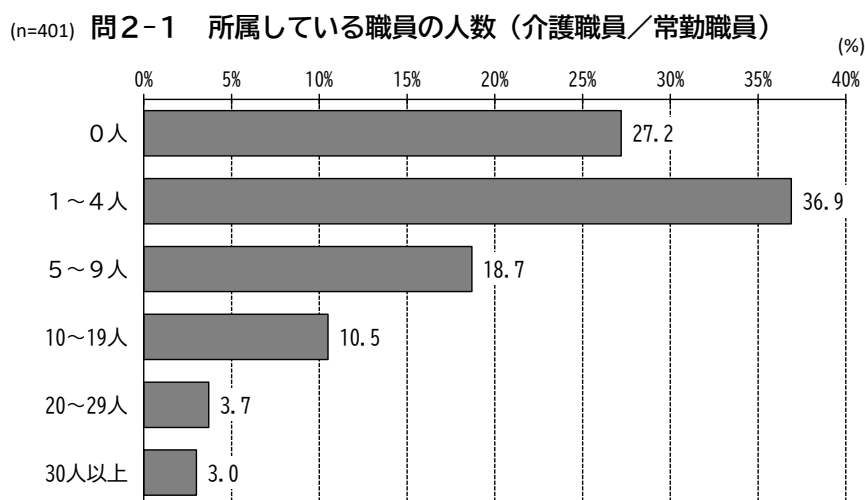
所属している職員の総数についてみると、「10～19人」が32.2%で最も多く、次いで「5～9人」が23.2%、「1～4人」が18.5%となっています。



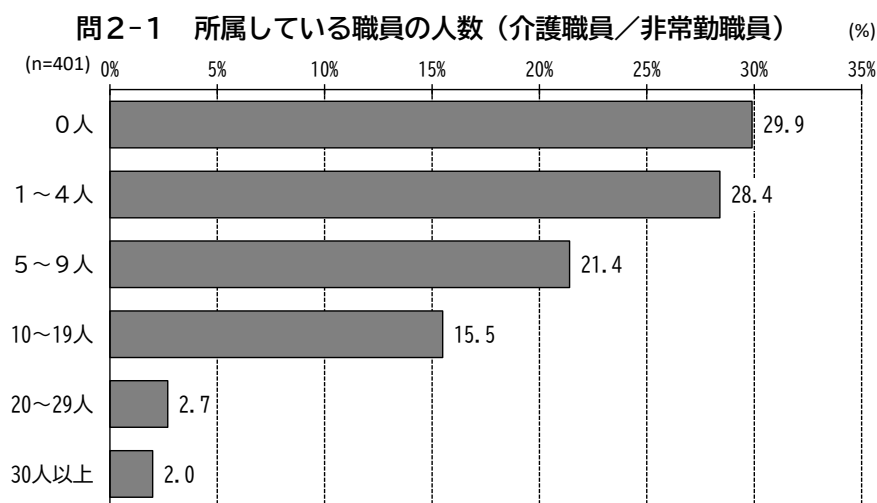
【所属職員数（職種、雇用形態別職員数）】

職種および雇用形態別の職員数についてみると、介護職員の常勤職員は「1～4人」が36.9%で最も多くなっています。介護支援専門員については、常勤職員が「0人」との回答が58.4%を占め、配置されている事業所でも「1～4人」が38.2%となっています。また、看護職員の常勤職員は「0人」が70.1%となっています。

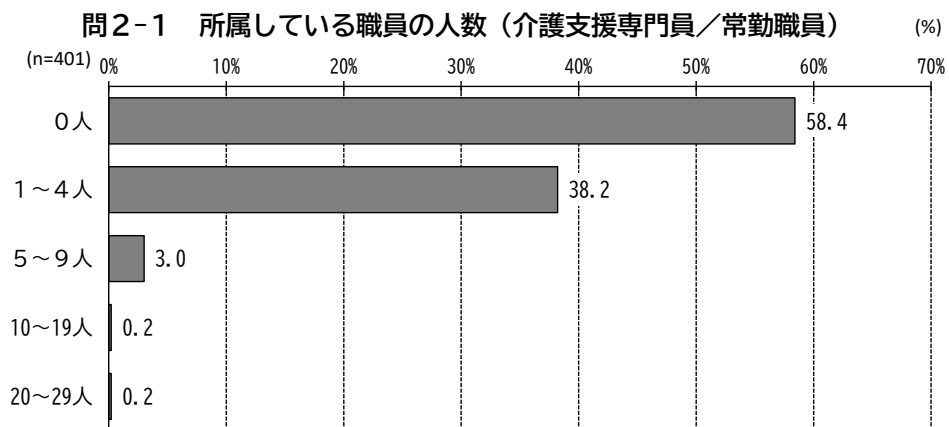
所属職員数（介護職員／常勤職員）



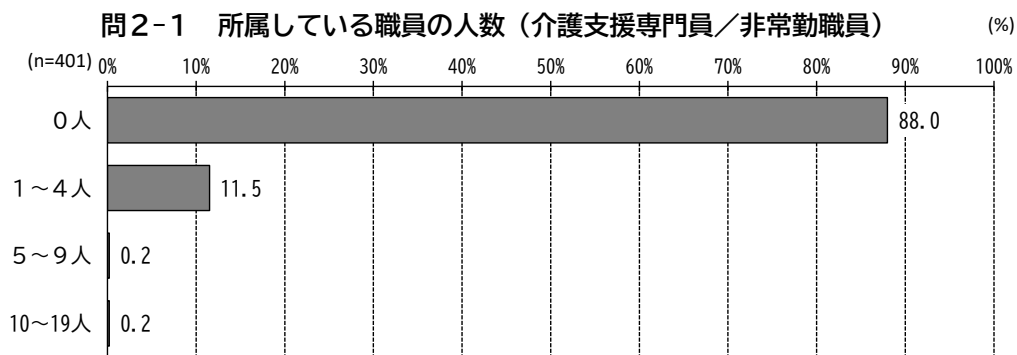
所属職員数（介護職員／非常勤職員）



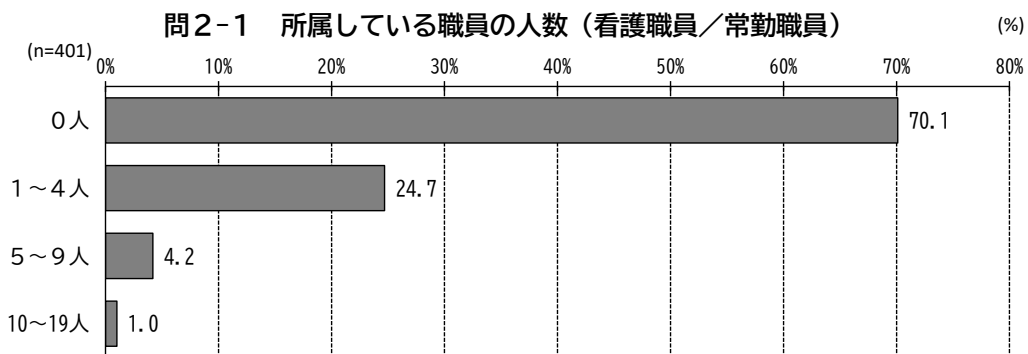
所属職員数（介護支援専門員／常勤職員）



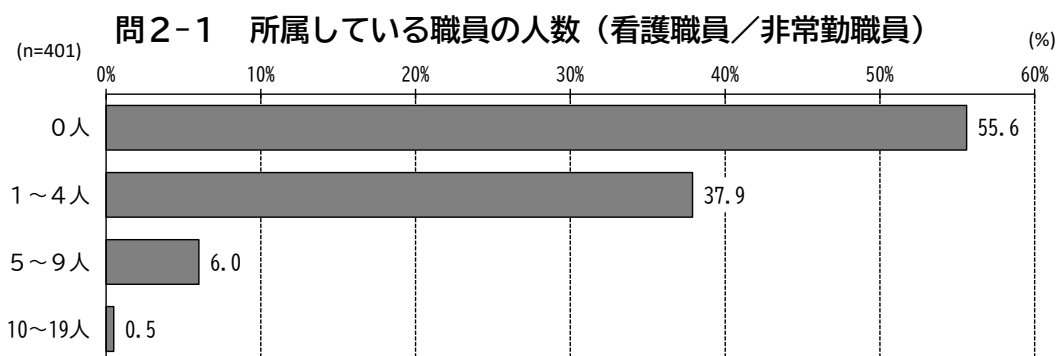
所属職員数（介護支援専門員／非常勤職員）



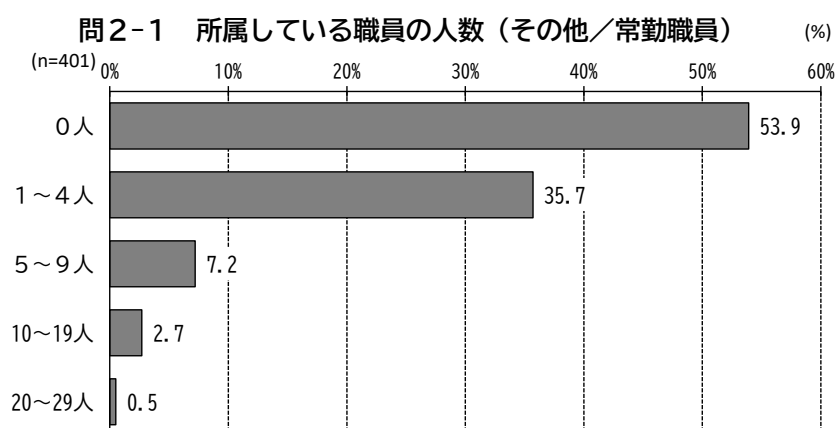
所属職員数（看護職員／常勤職員）



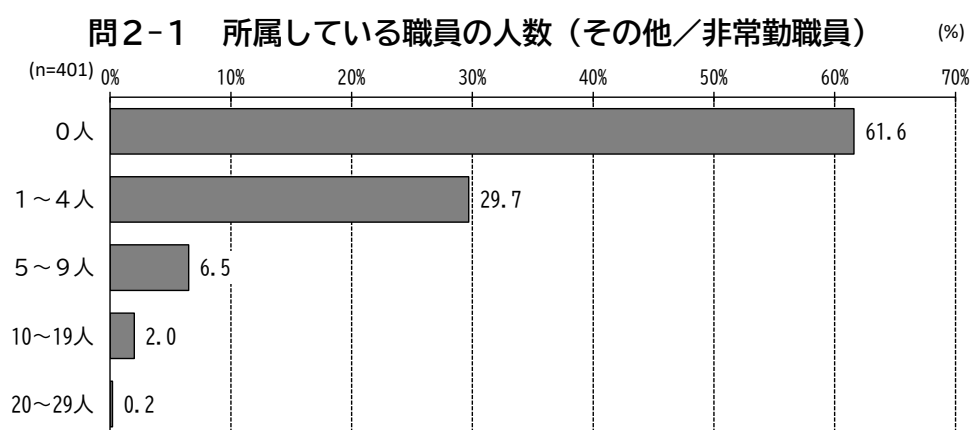
所属職員数（看護職員／非常勤職員）



所属職員数（その他／常勤職員）



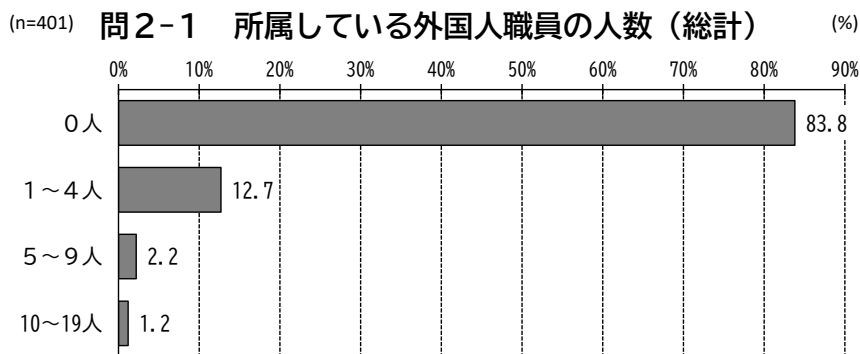
所属職員数（その他／非常勤職員）



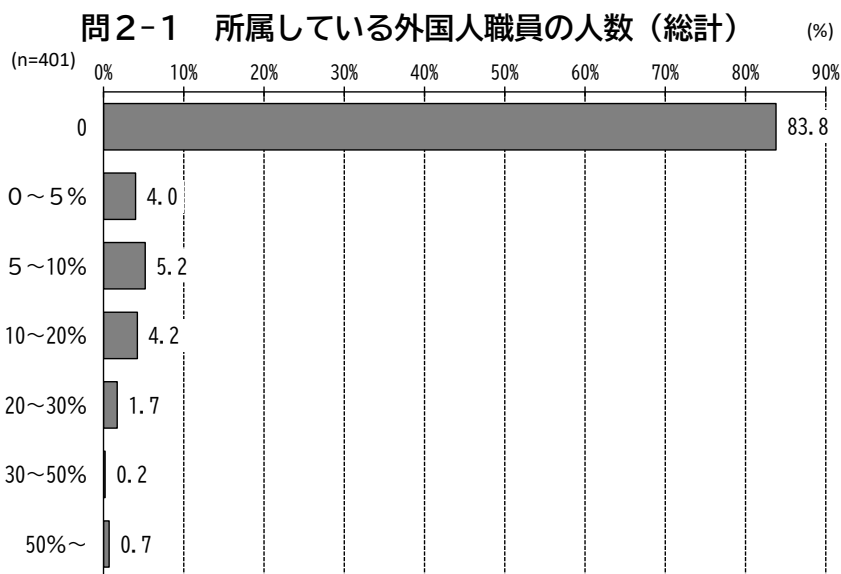
【外国人職員数（総計）】

外国人職員についての回答を総括すると、外国人職員が存在する事業所は65事業所（16.2%）で、職員数の合計は225人でした。

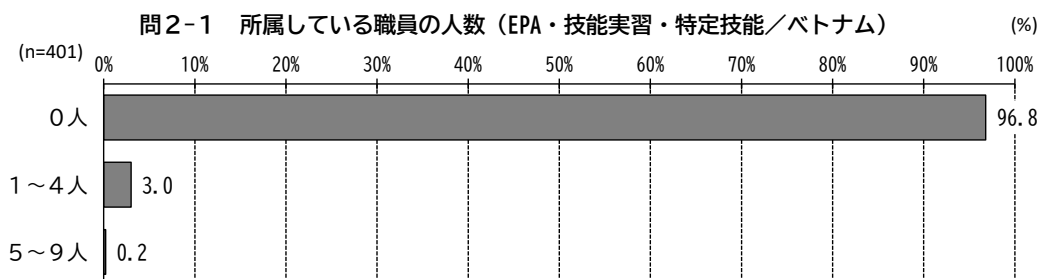
全体に占める割合では「0人」が83.8%と大半を占めていますが、外国人職員がいる事業所の内訳では「1～4人」が12.7%となっています。



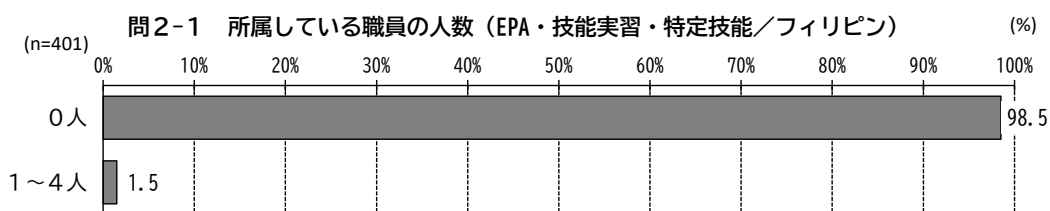
【外国人職員比率】



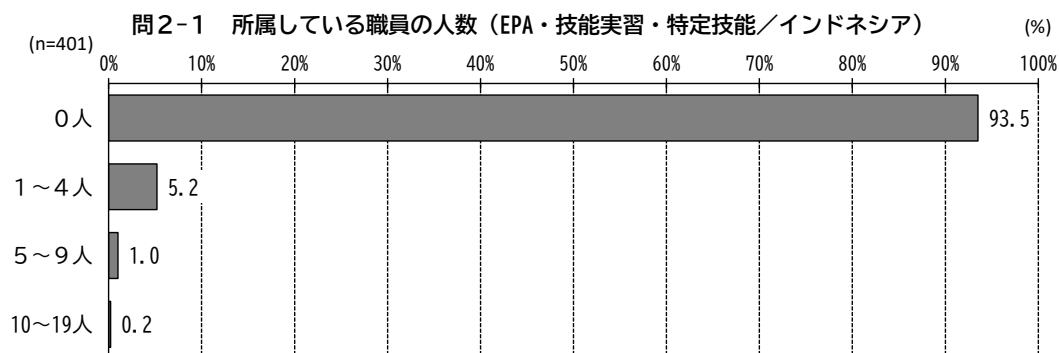
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／ベトナム）



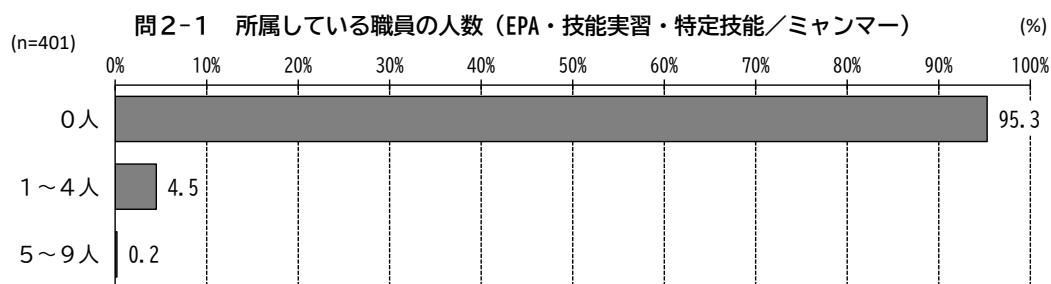
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／フィリピン）



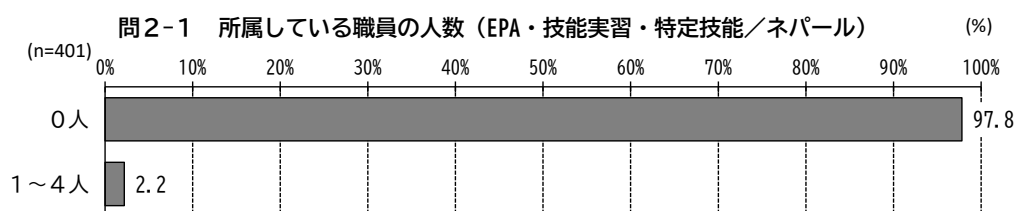
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／インドネシア）



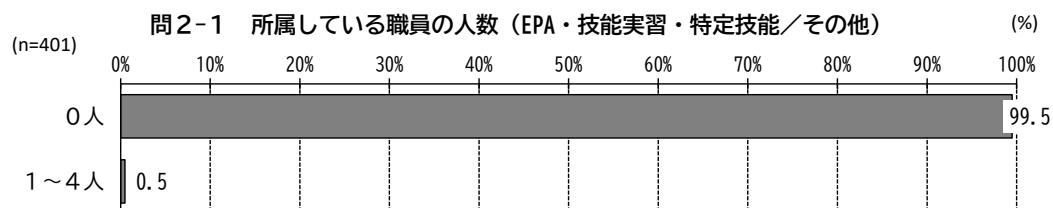
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／ミャンマー）



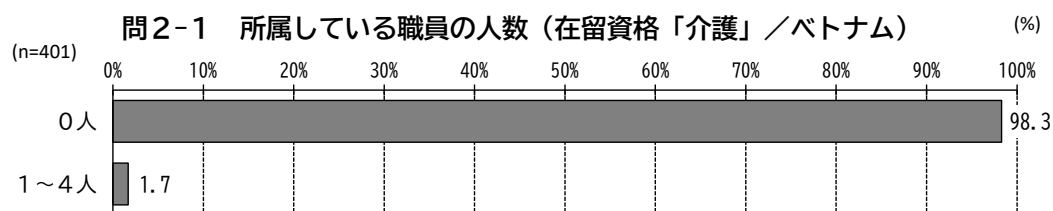
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／ネパール）



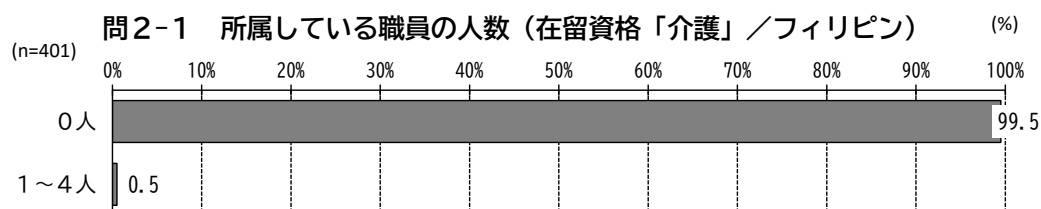
外国人職員数（EPA・技能実習・特定技能／その他）



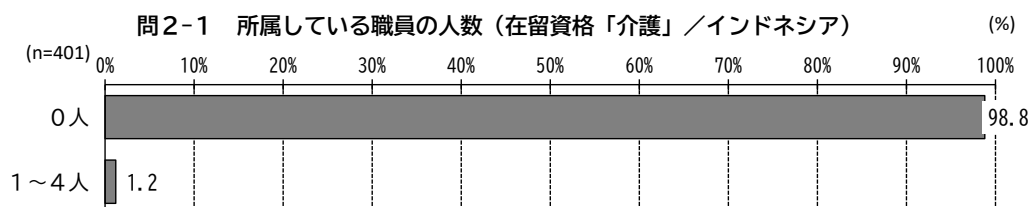
問2-1 外国人職員数（在留資格「介護」／ベトナム）



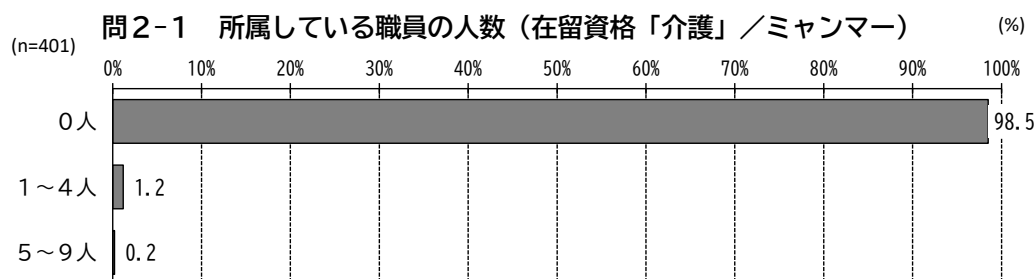
外国人職員数（在留資格「介護」／フィリピン）



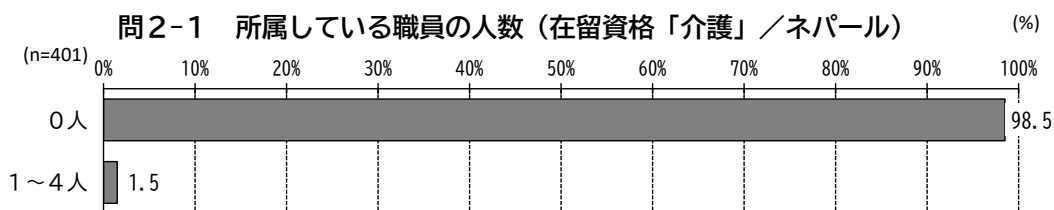
外国人職員数（在留資格「介護」／インドネシア）



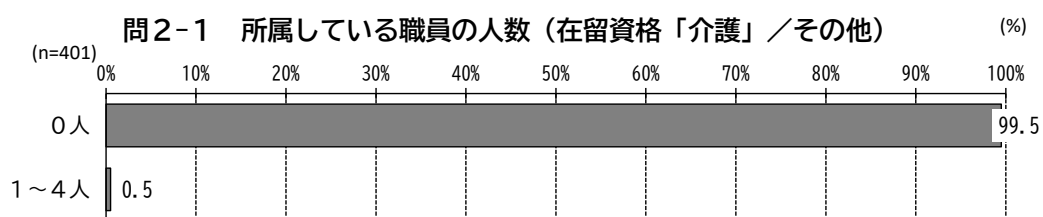
外国人職員数（在留資格「介護」／ミャンマー）



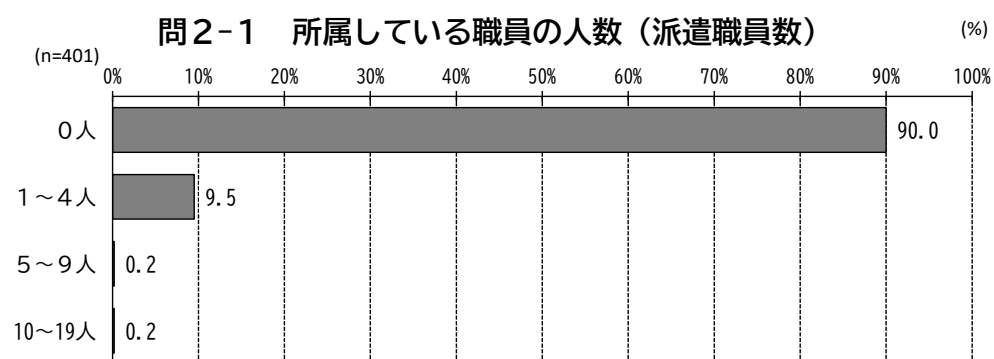
外国人職員数（在留資格「介護」／ネパール）



外国人職員数（在留資格「介護」／その他）

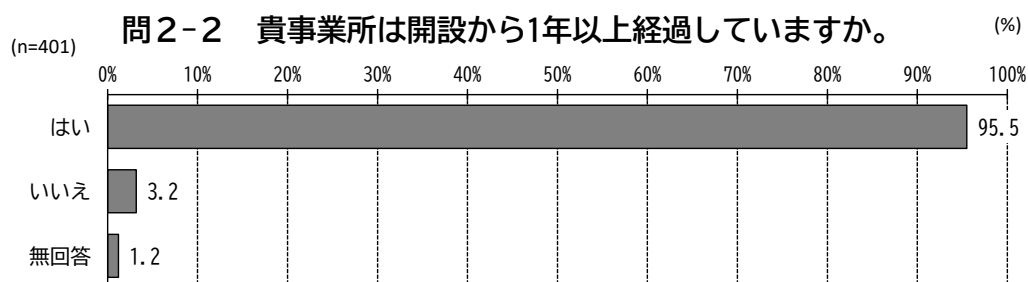


【所属職員数（派遣職員数）】



問2－2 開設から1年以上経過

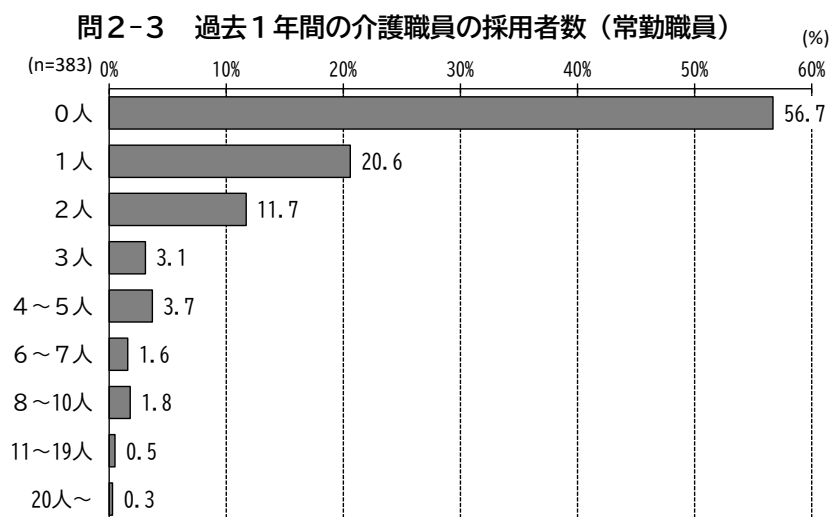
開設から1年以上経過している事業所が95.5%と多数を占めています。



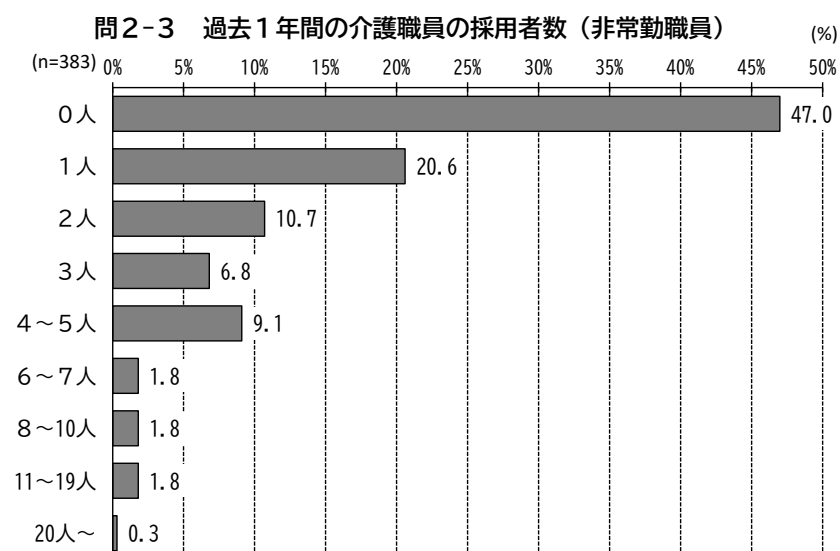
問2－3 過去1年間の採用者数

過去1年間の採用者数では、0人が常勤職員で56.7%と半数を超え、非常勤職員でも47.0%と半数近くとなっています。離職者数については、常勤（60.3%）・非常勤職員（54.8%）とも、過半数の事業所において離職者はいないという結果になっています。

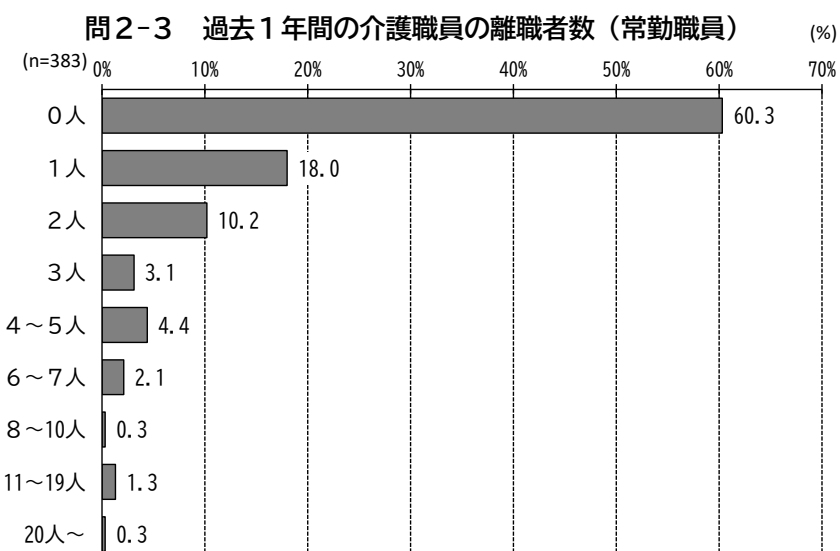
問2－3 過去1年間の採用者数（常勤職員）



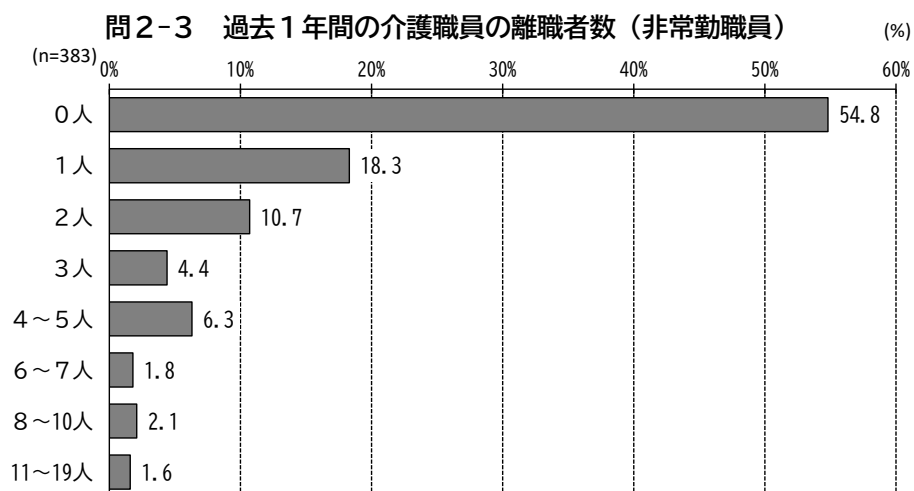
問2-3 過去1年間の採用者数（非常勤職員）



問2-3 過去1年間の離職者数（常勤職員）

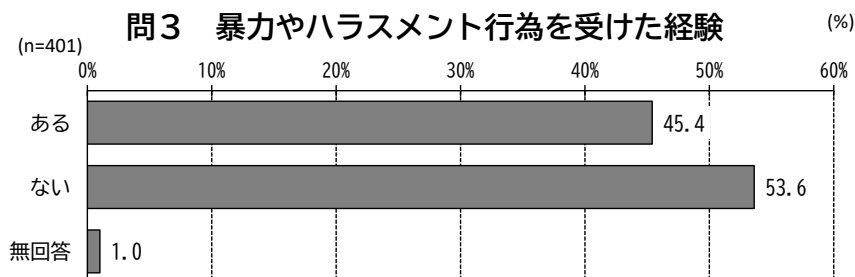


問2-3 過去1年間の離職者数（非常勤職員）



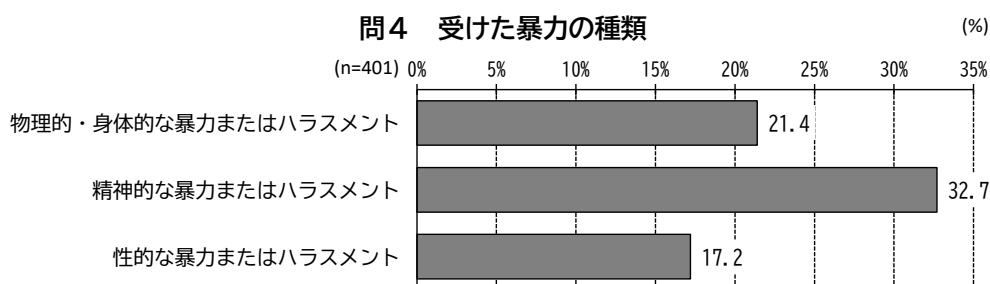
問3 暴力・ハラスメント経験

利用者やその家族からの暴力やハラスメント行為を受けた経験についてみると、「ある」と回答した事業所は45.4%、「ない」は53.6%となっています。



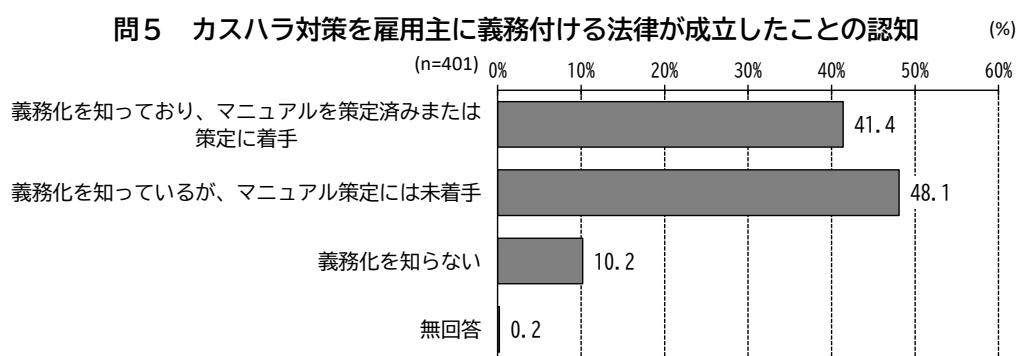
問4 受けた暴力の種類

受けた暴力やハラスメントの種類（複数回答）についてみると、「精神的な暴力またはハラスメント（暴言、威嚇など）」が32.7%で最も多く、次いで「物理的・身体的な暴力またはハラスメント（叩く、蹴るなど）」が21.4%、「性的な暴力またはハラスメント」が17.2%となっています。



問5 カスハラ対策を雇用主に義務付ける法律が成立したことの認知

カスハラ対策を雇用主に義務付ける法律が成立したことについては、89.5%の事業所が知っていました。ただ、48.1%の事業所はマニュアル策定には未着手となっています。



問6 運営上の課題

運営上の課題（複数回答）についてみると、「現行の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない・賃上げができない」が72.8%と最も高く、次いで「良質な人材の確保が難しい」が66.6%、「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている」が52.4%の順となり、この3項目が50%以上となっています。

